

活用ガイド

Windows 8.1 Pro Update 64ビット

■ はじめに..... 6	■ トラブル解決Q&A..... 307
本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。 最初にご覧ください。	本機をお使いになっているときのトラブル事例や解決法について記載しています。
■ 本機の機能..... 27	■ 仕様一覧（タイプ別仕様詳細）..... 456
本機の各部の名称やインターフェイスについて記載しています。	Webにて、仕様の詳細情報を公開しています（インターネットへの接続環境が必要です）。
■ システム設定..... 230	
本機のBIOSセットアップユーティリティの使い方、設定項目一覧などを記載しています。	
■ 便利な機能とアプリケーション..... 246	
本機にインストール、また添付されているアプリケーションの概要やインストール、アンインストール方法について記載しています。	

はじめに	6	タッチパッドの使い方.....	86
はじめに.....	7	タッチパッドの設定.....	87
本マニュアルの表記について.....	8	タッチパッドのドライバを変更する.....	92
「ユーザー アカウント制御」について.....	10	タッチパッドドライバへ戻す.....	94
基本操作.....	11	マウス	96
サポート技術情報について.....	13	マウスを使用する.....	97
ご注意.....	14	マウスを接続するための設定方法.....	99
Windows 8.1の画面操作について	16	水平スクロール機能の設定を切り替える.....	101
チャーム (チャーム バー).....	17	マウスを接続する前の設定に戻す.....	102
アプリ バー、ナビゲーション バー.....	19	液晶ディスプレイ	104
画面やアプリを切り替える.....	21	使用上の注意.....	105
2つのアプリを並べて表示する.....	24	画面表示の調整.....	106
アプリを終了する.....	25	液晶ディスプレイの回転.....	107
本機の機能	27	画面の回転.....	110
各部の名称	28	表示できる解像度と表示色.....	111
各部の名称と説明.....	29	ディスプレイストレッチ機能.....	112
表示ランプ.....	35	外部ディスプレイ	113
電源	36	使用上の注意.....	114
電源の入れ方と切り方.....	37	外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色.....	115
電源の状態.....	39	HDMIコネクタ.....	118
スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	40	Intel® WiDi.....	121
スリープ状態.....	42	外部ディスプレイ接続時の表示機能.....	125
休止状態.....	45	表示先、表示機能の設定.....	126
電源の設定.....	46	画面の出力先を切り替える.....	129
電源の自動操作.....	50	ディスプレイに合わせた設定.....	131
省電力機能	51	Webカメラ	133
省電力機能について.....	52	Webカメラについて.....	134
ECOモード機能.....	53	ハードディスク	135
ピークシフト機能.....	57	使用上の注意.....	136
Intel SpeedStep® テクノロジー.....	60	光学ドライブ	138
バッテリー	61	使用上の注意.....	139
バッテリー (二次電池) について.....	62	外付け光学ドライブの取り付け.....	140
使用上の注意.....	63	各部の名称と役割.....	141
バッテリーの充電.....	64	使用できるディスク.....	142
バッテリーの使い方と設定.....	65	読み込みと再生.....	143
バッテリーリフレッシュ.....	67	書き込みとフォーマット.....	145
バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール.....	68	非常時のディスクの取り出し方.....	146
タッチパネル	73	SD (SDHC/SDXC) メモリーカードスロット	147
使用上の注意.....	74	使用上の注意.....	148
タッチパネルでの操作方法.....	75	セットのしかた／取り出し方.....	150
タッチパネルの設定.....	77	サウンド機能	152
キーボード	79	音量の調節.....	153
キーの名称.....	80	マイクの設定.....	155
キーの使い方.....	82	Dolby® Digital Plus Home Theater.....	156
キーボードの設定.....	84	LAN機能	158
タッチパッド	85	本機を安全にネットワークに接続するために.....	159

使用上の注意.	161	アプリケーションの種類と機能.	247
LANへの接続.	162	アプリケーションのインストール/アンインストールに ついて.	249
LAN機能の設定.	164	Office Home and Business 2013.	251
無線LAN機能.	166	Office Home & Business Premium.	256
概要.	167	ハードディスク・アクティブプロテクション ・システム.	261
本機を安全にネットワークに接続するために.	169	Access Connections.	264
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関 するご注意.	171	DeviceLock Lite.	270
使用上の注意.	173	Adobe Reader.	272
無線LAN機能のオン／オフ.	175	ECOモード設定ツール.	275
無線LANの設定と接続.	178	ピークシフト設定ツール.	276
無線LANに関する用語一覧.	185	画面表示設定切替ツール.	278
USBコネクタ.	188	オンスクリーン表示の設定.	281
使用上の注意.	189	Roxio Creator LJB.	283
USB機器の取り付け／取り外し.	191	CyberLink PowerDVD.	287
メモリ.	192	フリック入力補助ツール.	291
取り付け前の確認.	193	拡張ディスプレイ操作ツール.	294
メモリの取り付け／取り外し.	194	マカフィー リブセーフ.	297
メモリ変更時の確認.	205	WinZip.	303
Bluetooth機能.	206	トラブル解決Q&A.	307
概要.	207	電源.	308
セキュリティに関するご注意.	209	はじめに確認してください.	309
使用上の注意.	210	電源が入らない.	310
Bluetooth機能の設定と接続.	212	ディスプレイに何も表示されない.	311
Bluetooth機能のオン／オフ.	217	Windowsが起動しない.	313
セキュリティ機能.	219	「自動修復」画面が表示された.	314
セキュリティ機能について.	220	「パスワードが正しくありません。入力し直して ください。」と表示された.	315
スーパバイザパスワード.	221	パスワードを忘れてしまった.	316
ハードディスクパスワード機能.	222	電源が切れない.	318
I/O制限.	223	自動的にスリープ状態にならない.	319
盗難防止用ロック.	224	スリープ状態または休止状態から復帰しようと したらWindowsのサインイン画面が表示された.	320
DEP (Data Execution Prevention) 機能.	225	スリープ状態にできない.	321
暗号化ファイルシステム (EFS)	226	スリープ状態から復帰できない、復帰に 失敗した.	322
ウイルス検出・駆除.	227	休止状態にできない.	323
ハードディスク・アクティブプロテクション ・システム.	228	チャーム バーの「電源」から休止状態に できない.	324
DeviceLock Lite.	229	休止状態から復帰できない、復帰に失敗した.	325
システム設定.	230	Windowsの電源設定ができない.	326
BIOSセットアップユーティリティについて.	231	本機を一定時間放置すると、スリープ状態になっ てしまう.	327
BIOSセットアップユーティリティの起動.	232	USBマウスでスリープ状態から 復帰する／しないを設定したい.	328
BIOSセットアップユーティリティの基本操作.	233	バッテリー.	329
BIOSセットアップユーティリティの終了.	234	タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示さ れない.	330
工場出荷時の設定値に戻す.	235	タッチパッド.	331
設定項目一覧.	236	タッチパッドが動作しない.	332
「Main」メニュー.	237		
「Config」メニュー.	238		
「Date/Time」メニュー.	240		
「Security」メニュー.	241		
「Startup」メニュー.	244		
便利な機能とアプリケーション.	246		

タッチパッドの反応が鈍い.	335	ネットワークに接続できない.	375
タッチパッドの拡張機能を使用したい.	336	ドライブやフォルダが共有できない.	376
文字入力中に、タッチパッドのタップ機能が動作し たり、マウスカーソルが移動してしまう.	337	動作が不安定になった.	379
一時的にタッチパッドを無効にしたい.	338	無線LAN機能.	380
タッチパネル.	339	はじめに確認してください.	381
タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネ ルに反応しない領域がある.	340	通信ができない.	382
マウス.	341	通信がとぎれる、または通信速度が遅い.	383
はじめに確認してください.	342	「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示され ない.	385
マウスを動かしても、何も反応しない.	343	「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダ ブルクリックしても内容が表示されない.	386
マウスの動きが悪い.	344	接続している無線LANアクセスポイントから、い つのまにか切断されてしまう.	387
表示.	345	サウンド.	388
はじめに確認してください.	346	はじめに確認してください.	389
電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗に なる.	347	音が出ない.	390
表示できるはずの高解像度を選択できない.	348	HDMI接続した機器から音声が出力されない.	391
ディスプレイに何も表示されない.	349	音楽CDの再生音を調節したい.	393
ディスプレイが突然明るくなる、暗くなる.	351	音楽CDが再生されない.	394
画面が回転しない.	352	音楽CDの再生中に音飛びする.	395
画面の色調を調整したい.	353	印刷.	396
再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生され ない.	354	はじめに確認してください.	397
動画の再生中に画面が消えてしまう.	355	プリンタから印刷が正しくできない.	398
CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない.	356	PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない.	399
CyberLink PowerDVDでディスクが認識 されない.	357	ハードディスク.	400
画面の表示位置やサイズがおかしい.	358	ハードディスクの動作速度が遅い.	401
外部ディスプレイで画面が流れるように表示さ れる.	359	ハードディスクに障害が起きた.	402
HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像 が表示されない.	360	ハードディスクに保存できない.	403
HDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ 出してしまい、表示されない部分がある.	361	ハードディスクの空き領域が足りない.	404
デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう	362	領域作成できる容量が、カタログなどに記載され ている値より少ない.	405
文字入力.	363	複数のパーティションを利用したい.	406
はじめに確認してください.	364	ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい.	408
キーボードのキーを押しても、何も反応しな い.	365	光学ドライブ.	409
記号などで入力できない文字がある.	366	はじめに確認してください.	410
別売のキーボードを接続したが、キーを押しても 反応しない。使えないキーがある.	367	「コンピューター」に光学ドライブが表示され ない.	411
文字入力中に、タッチパッドのタップ機能が動作した り、マウスカーソルが移動してしまう.	368	光学ドライブのディスクトレイを出し入れできな い.	412
ファイル保存.	369	DVD、CDをセットしても自動再生しない.	413
はじめに確認してください.	370	DVD、CDからデータを読み出せない.	414
ハードディスクに保存できない.	371	DVD、CDの読み取りエラーメッセージが表示され た.	415
DVD、CDにデータを書き込めない (保存できない)	372	DVD、CDにデータを書き込めない (保存できない)	416
LAN機能.	373	DVD、CDへの書き込み中にエラーになった.	417
はじめに確認してください.	374	Roxio Creator LJBでデータディスクを作成でき ない.	418
		ドライブ文字がおかしい.	419
		光学ドライブから異常な音がする.	420

添付されていたDVD、CDが使えなくなった、壊れた.....	422	アプリケーションをインストールできない.....	443
CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない..	423	アプリケーションを強制的に終了させたい.....	444
CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない.....	424	アプリケーションが本機で利用できるか知りたい.....	445
音楽CDの再生中に音飛びする.....	425	使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい..	446
音楽CDが再生されない.....	426	Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい.....	447
周辺機器	427	Internet Explorerが起動しない.....	448
はじめに確認してください.....	428	再セットアップ	449
別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった.....	429	「再セットアップをすることはできません。」と表示される.....	450
周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない.....	433	その他	451
Bluetooth機能	434	日付や時刻が正しく表示されない.....	452
はじめに確認してください.....	435	クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった.....	453
アプリケーション	437	本機が動かなくなった（フリーズした）.....	454
はじめに確認してください.....	438	マニュアルをなくしてしまった.....	455
表示されなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある.....	439	仕様一覧（タイプ別仕様詳細）	456
CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない..	441	仕様一覧（タイプ別仕様詳細）.....	457
CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない.....	442		

[010000-28]

➤ はじめに.....	7
➤ 本マニュアルの表記について.....	8
➤ 「ユーザー アカウント制御」について.....	10
➤ 基本操作.....	11
➤ サポート技術情報について.....	13
➤ ご注意.....	14
➤ Windows 8.1の画面操作について.....	16

はじめに

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、トラブル発生時などの対応方法を記載したQ&A、サポートに関する情報など、本機を利用する上での情報が記載されています。

本マニュアルは、Windowsの基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。

もし、あなたがコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

本マニュアルの表記について

[010003-28]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

■ 本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
 参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

■ 本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Pro 64ビット	Windows 8.1 Pro Update 64ビット
Internet Explorer、Internet Explorer 11	Internet Explorer 11
Microsoft IME	Microsoft® IME 2012
Windows Media Player	Microsoft® Windows Media® Player 12
Office Home and Business 2013	Microsoft Office Home and Business 2013
Office Home & Business Premium	Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス
Adobe Reader	Adobe® Reader® XI
CyberLink PowerDVD	CyberLink PowerDVD
WinZip	WinZip® 18

■ 本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
--------	----

本機、本体	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
光学ドライブ	DVDスーパーマルチドライブを指します。
光学ドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブが添付されているモデルを指します。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブが添付されているモデルを指します。
無線LANモデル	無線LANが搭載されているモデルを指します。
ワイヤレス機能	無線LAN機能、Bluetooth機能を指します。ご購入時に選択したモデルによって異なります。
Office Home and Business 2013モデル	Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがあらかじめインストールされているモデルを指します。
Office Home & Business Premiumモデル	Office Home & Business Premiumのセットアップ モジュールがあらかじめインストールされているモデルを指します。
アプリケーションディスク	本機に添付されているアプリケーションを格納したディスクを指します。
CyberLink PowerDVD ディスク	「CyberLink PowerDVD ディスク」または「CyberLink PowerDVD / Roxio Creator LJB ディスク」を指します。
Roxio Creator LJB ディスク	「CyberLink PowerDVD / Roxio Creator LJB ディスク」を指します。
SDカード、SDメモリーカード	「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」を指します。特定のSDカードを指す場合、個別に記載します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「BIOS Setup」と表示されます。
「コントロール パネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」	「コントロール パネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」を順にクリックする操作を指します。
チャーム バー	チャームの載った右端から表示されるバーを指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】 + 【Y】と表記してある場合、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。
ECOボタン	【Fn】 + 【F4】を指します。

■ 本マニュアルで使用している画面、記載内容について

- 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」について

[010005-08]

アプリケーションを表示したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。



チェック

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者（Administrator）権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

基本操作

[010006-08]

➤ アプリ画面の開き方.	11
➤ コントロール パネルの開き方.	11
➤ デバイス マネージャの開き方.	12

アプリ画面の開き方

メールやフォトなどのアプリを使用するときは、はじめにアプリ画面を表示します。

タッチ操作の場合

- 1** デスクトップにある「スタート」ボタン () をタップし、スタート画面を表示する
- 2** スタート画面を上へスライド、またはスタート画面にある  をタップ
アプリ画面が表示されます。



メモ

スタート画面からは、手順2の操作を行ってください。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 75\)](#)」

マウス操作の場合

- 1** デスクトップにある「スタート」ボタン () をクリックしてスタート画面を表示し、  をクリック
アプリ画面が表示されます。



メモ

スタート画面からは、  をクリックします。

コントロール パネルの開き方

コントロール パネルは、Windowsの各機能や画面の表示のしかた、アプリケーションのインストール／アンインストールなど、さまざまな設定ができます。

1 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「コントロール パネル」をクリック

コントロール パネルが表示されます。

デバイス マネージャの開き方

デバイス マネージャは、本機を構成している部品やディスプレイなどの周辺機器が正常に認識されていることを確認したり、ドライバの更新をしたりすることができます。

1 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「コントロール パネル」をクリック

コントロール パネルが表示されます。

3 「システムとセキュリティ」をクリック

4 「システム」をクリック

5 「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

サポート技術情報について

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。

サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してください。

マイクロソフト サポート

<http://support.microsoft.com/>



チェック

サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

ご注意

[010004-28]

1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、または121コンタクトセンターへご連絡ください。
4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
6. 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。
サービスの詳細や対応機種については、以下のホームページをご覧ください。

<http://121ware.com/navigate/rescue/ultracare/jpn/index.html>

7. 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のDVD-ROM、CD-ROMは、本機のみでしかご使用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
10. 本製品には、Designed for Windows® programのテストにパスしないソフトウェアを含みます。
11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。（ただし、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種については、日本への引取修理サービスを実施致します。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC*¹ will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC*¹ does not provide maintenance service or technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for Ultracare Services can be provided with acceptance service of repair inside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Personal Computers, Ltd.

* * *

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、Intel、Intel SpeedStep、インテル Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

DeviceLockおよびDeviceLockロゴは、DeviceLock, Inc.の登録商標です。

WebSAMは日本電気株式会社の登録商標です。

Access Connectionsは、米国とその他の国々のいずれかまたはその両方におけるLenovoの商標です。

WinZip は WinZip International LLC の登録商標です。

Corel、Corel のロゴ、Roxio のロゴ、Roxio CreatorはCorel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

Dolby、ドルビー、ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。

© NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

Windows 8.1の画面操作について

[010100-08]

Windows 8.1のスタート画面やアプリの画面での基本操作などを紹介します。

➤ チャーム（チャーム バー）	17
➤ アプリ バー、ナビゲーション バー	19
➤ 画面やアプリを切り替える	21
➤ 2つのアプリを並べて表示する	24
➤ アプリを終了する	25

チャーム（チャーム バー）

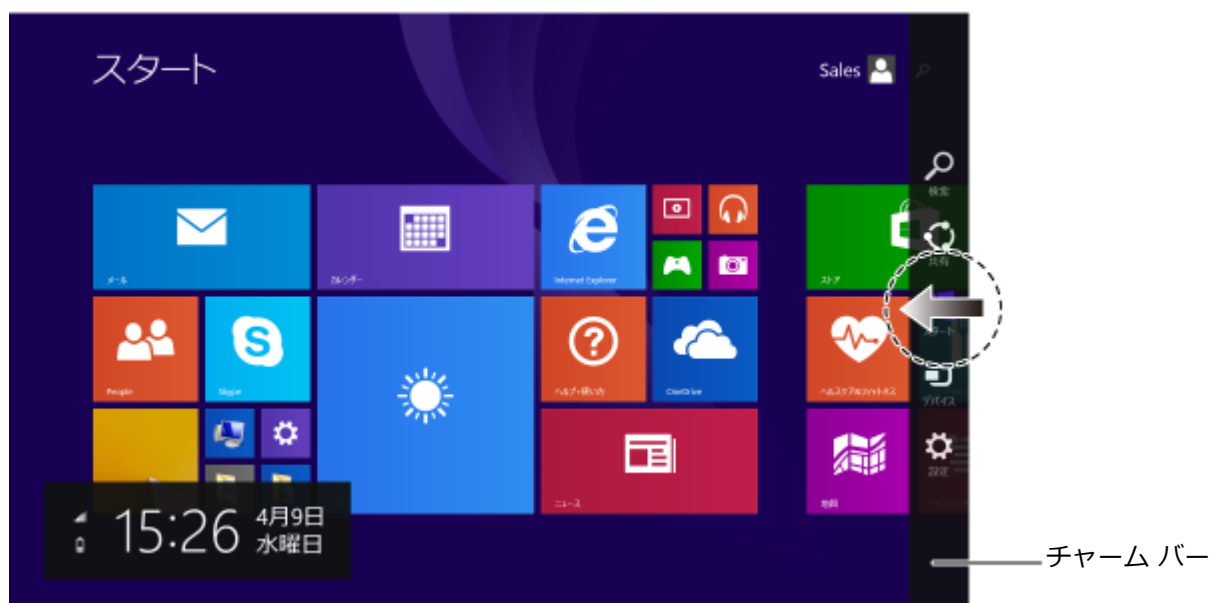
[010101-28]

チャーム バーは、よく使う機能を集めたメニューです。表示しているアプリに応じて、いろいろな機能を利用できます。

チャーム バーを表示する

タッチ操作の場合

チャーム バーを表示するには、画面の右端から、左にスワイプします。



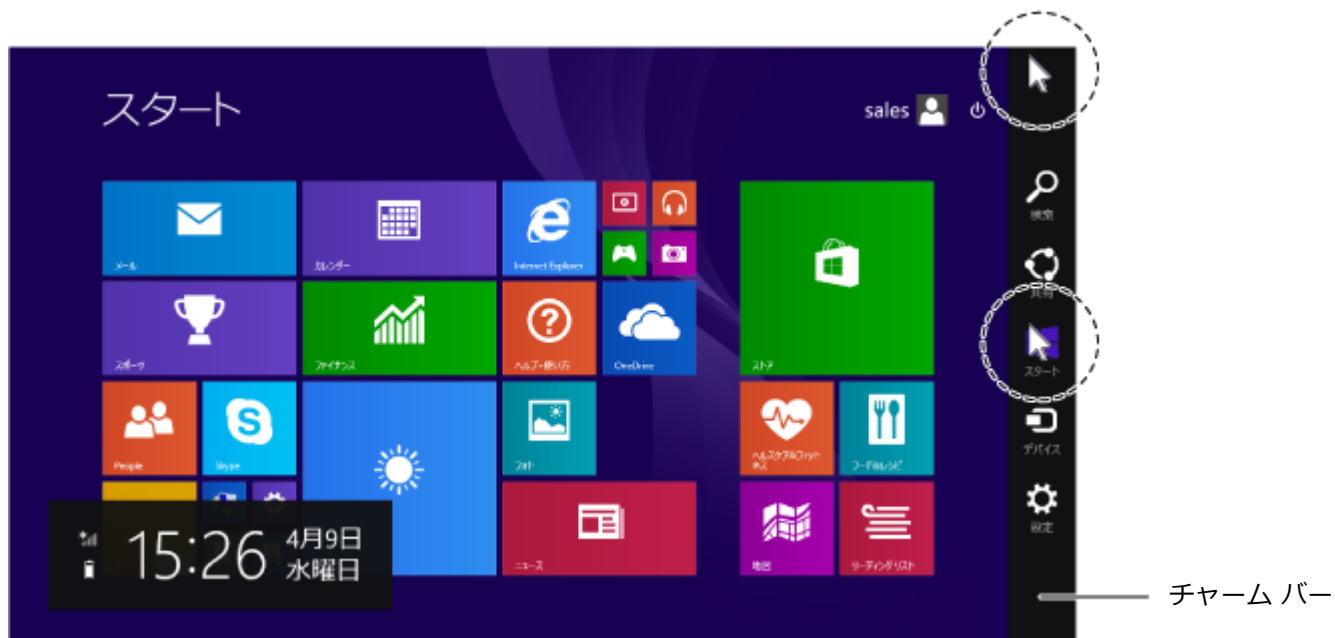
参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 75)」

マウス操作の場合

チャーム バーを表示するには、右上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かします。



メモ

チャーム バーを表示すると、画面の左下に次の情報も表示されます。

- 時間・日付
- ネットワーク状態（電波強度など）
- バッテリーの残量（バッテリー使用時）

チャーム バーのアイコン

アイコン	説明
	検索とアプリの表示に使います。検索対象はアプリによって変わります。
	ファイルや情報を他のアプリで利用するときに使います。
	スタート画面を表示します。
	他の機器にデータを送ります。印刷するときなどに使います。
	表示しているアプリの設定を行います。スタート画面では「Windows 全般の設定」ができます。

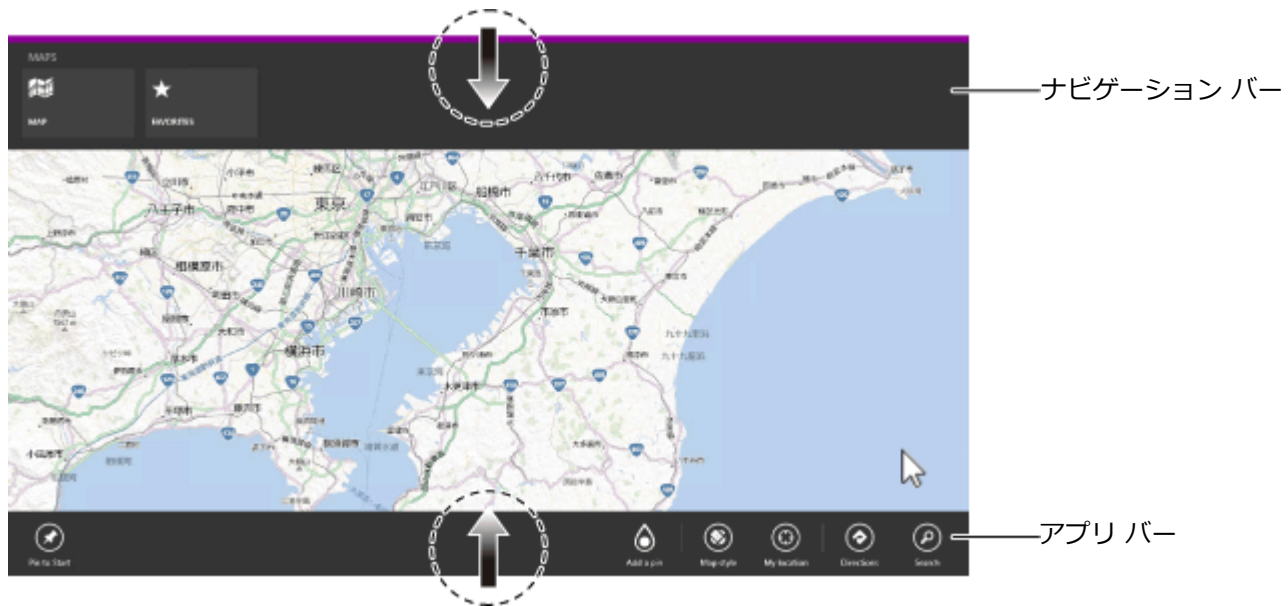
アプリ バー、ナビゲーション バー

[010102-28]

アプリ バーとナビゲーション バーは、表示しているアプリに対してさまざまな操作を行うためのバーです。アプリ バーは画面下側に、ナビゲーション バーは画面上側に表示され、それぞれが表示されるかどうかはアプリによって異なります。表示されるメニューや機能はアプリの状況により変化します。

タッチ操作の場合

アプリ バーやナビゲーション バーを表示するには、アプリの画面の上端または下端から内側へスワイプします。



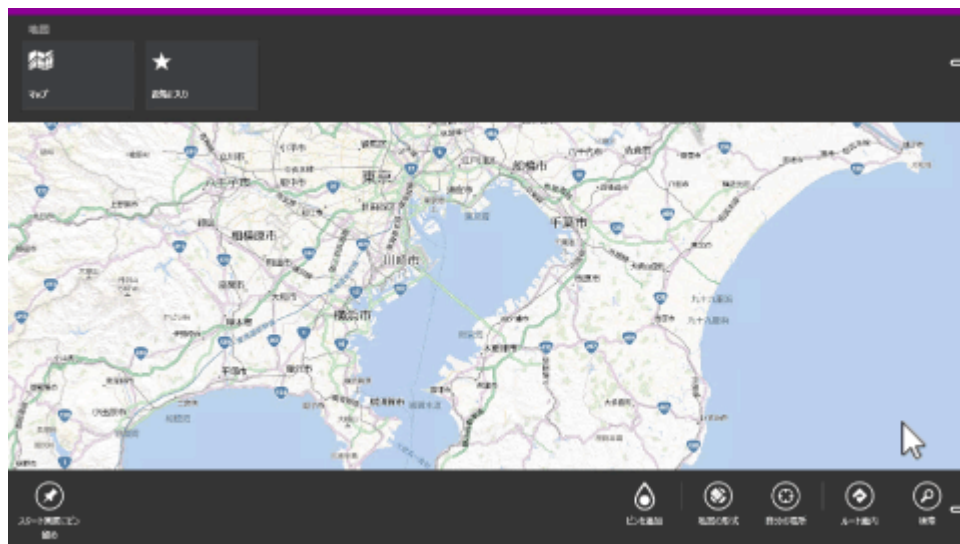
参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 75)」

マウス操作の場合

アプリ バーやナビゲーション バーを表示するには、アプリの画面の任意の位置でマウスを右クリックします。



ナビゲーション バー

アプリ バー

画面やアプリを切り替える

[010103-28]

Windows 8.1では、いろいろなアプリを切り換えて使うことができます。
ここでは画面やアプリの切り換えの主な方法を紹介します。

最近使用したアプリを順番に切り替える

二つのアプリを切り替えるときに便利です。

タッチ操作の場合

画面の左端から右へスワイプします。スワイプするたびにアプリが順番に切り換わります。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 75)」

マウス操作の場合

左上の隅にマウスポインタを合わせてクリックします。クリックするたびにアプリが順番に切り換わります。



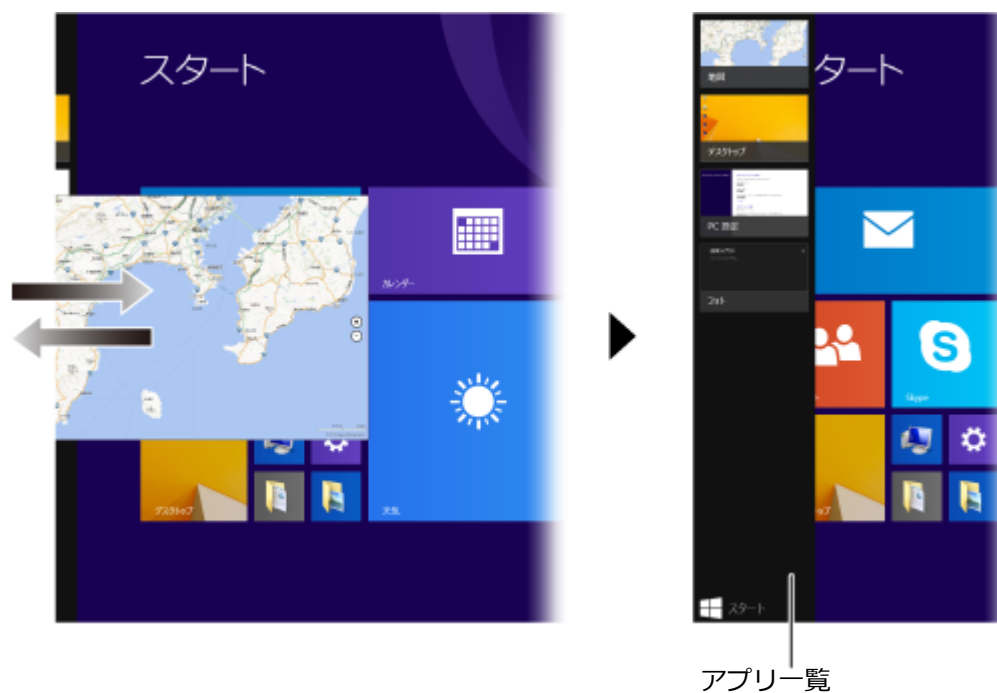
最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ

二つ以上のアプリを使用していて、特定のアプリに切り替えたいときに便利です。

タッチ操作の場合

最近使用したアプリの一覧を表示するには、画面の左端から右へスライドし、一旦指をとめ、そのまま画面から離さずに左端へ戻します。

最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 75)」

マウス操作の場合

最近使用したアプリの一覧を表示するには、左上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かします。
最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



2つのアプリを並べて表示する

[010104-28]

2つのアプリを、画面の左右に並べて表示できます。これを「スナップする」といいます。
境界線をスライド（またはドラッグ）すると、画面の分割位置を変えるなどの調整ができます。

2つの画面にする

2つの画面にするには、アプリのサムネイルを画面の左に表示（「[最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ \(P. 22\)](#)」）してから、アプリのサムネイルを目的の位置までドラッグまたはスライドし、区切り線が表示されたら指を離します。



メモ

- 2つのアプリを並べて表示をやめたいときは、各アプリを終了します。
- スナップできるアプリの最大数は、ディスプレイのサイズと画面の解像度によって異なります。



参照

- **アプリの終了について**
「[アプリを終了する \(P. 25\)](#)」
- **タッチパネルの操作について**
「[本機の機能](#)」 - 「[タッチパネル](#)」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 75\)](#)」

アプリを終了する

[010105-28]

タッチ操作の場合

アプリを終了するには、画面の上端を、画面の下端までドラッグまたはスライドします。画面の下半分が下端にかくれたら、2秒間そのままにします。小さな画像が回転したら指を離します。



メモ

画面の下端で2秒間待たずに、枠外までスライド（またはドラッグ）すると、アプリをサスペンド（一時停止）できます。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 75\)](#)」

マウス操作の場合

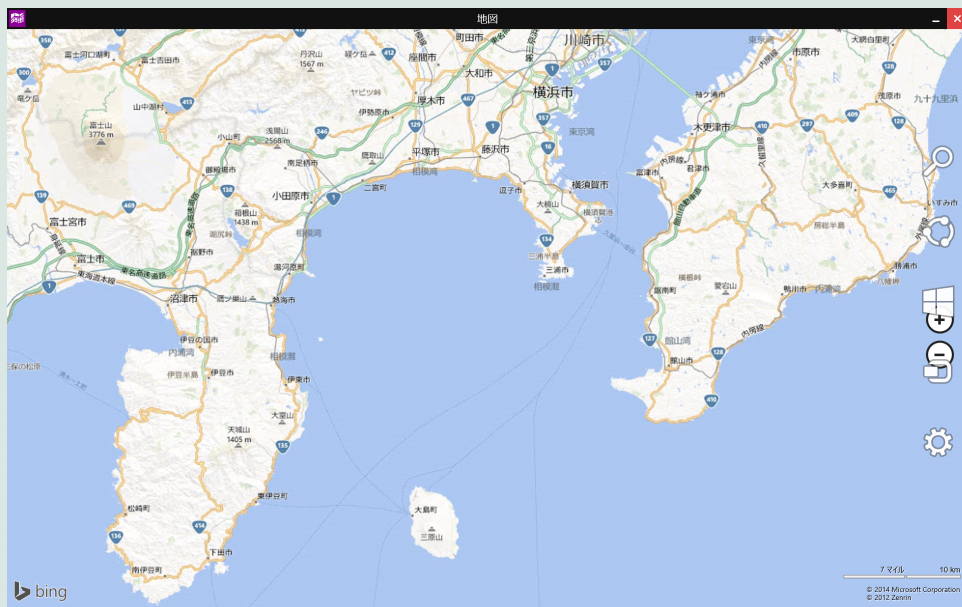
アプリを終了するには、画面の上端を、画面の下端までドラッグします。画面の下半分が下端にかくれたら、2秒間そのままにします。小さな画像が回転したらマウスから指を離します。



メモ

アプリをサスペンド（一時停止）したい場合は、次のいずれかの方法があります。

- 画面の下端で2秒間待たずに、枠外までドラッグする。
- 画面の右上へマウスポインタを移動し、が表示されたらクリックする。



各部の名称	28
電源	36
省電力機能	51
バッテリー	61
タッチパネル	73
キーボード	79
タッチパッド	85
マウス	96
液晶ディスプレイ	104
外部ディスプレイ	113
Webカメラ	133
ハードディスク	135
光学ドライブ	138
SD (SDHC/SDXC) メモリーカードスロット	147
サウンド機能	152
LAN機能	158
無線LAN機能	166
USBコネクタ	188
メモリ	192
Bluetooth機能	206
セキュリティ機能	219

各部の名称

[020100-28]

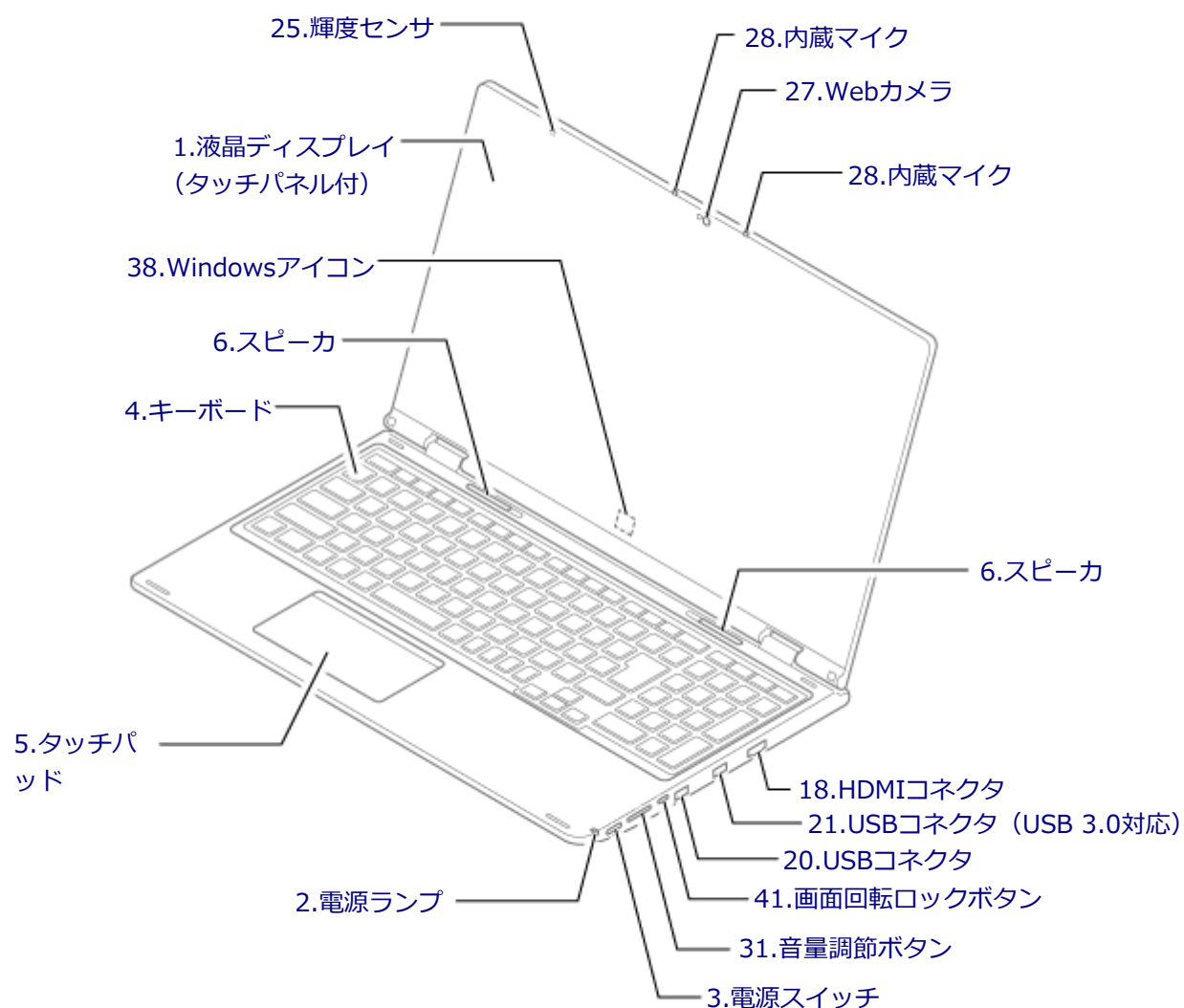
➤ 各部の名称と説明.....	29
➤ 表示ランプ.....	35

各部の名称と説明

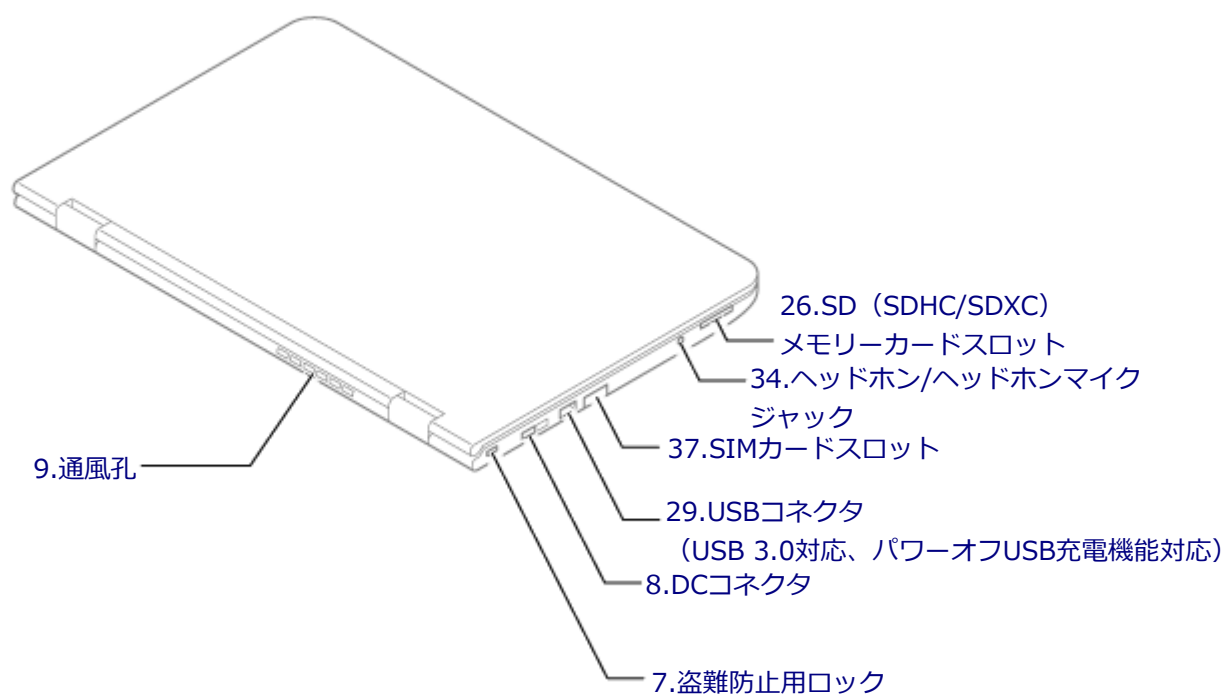
[020101-28]

各部の名称

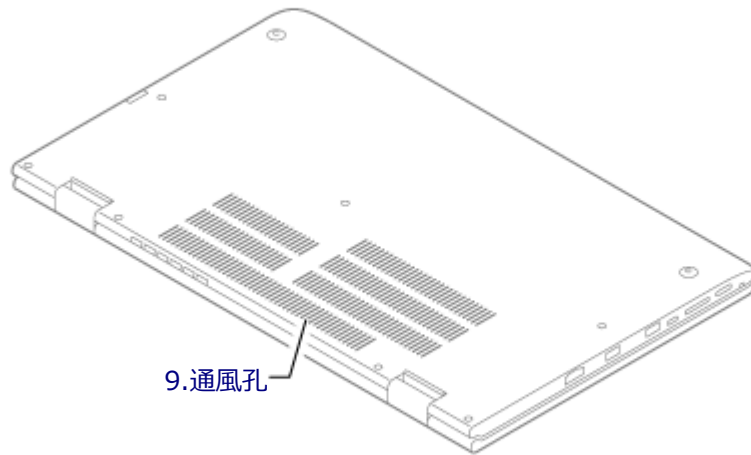
本体前面／右側面



本体背面／左側面



本体底面



9.通風孔

各部の説明

1.液晶ディスプレイ（タッチパネル付）

本機のディスプレイです。タッチパネルが搭載され、Windowsの操作を指で行うことができます。

→「液晶ディスプレイ (P. 104)」

→「タッチパネル (P. 73)」

2.電源ランプ (🔆)

本機の電源の状態を表します。

→「表示ランプ (P. 35)」

3.電源スイッチ (🔌)

電源のオン／オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。

→「電源 (P. 36)」

4.キーボード

文字の入力や画面の操作をします。

→「キーボード (P. 79)」

5.タッチパッド

Windowsでマウスカーソルの移動やクリックなどの操作をする際に使用します。

→「タッチパッド (P. 85)」

6.スピーカ

内蔵のステレオスピーカです。

→「サウンド機能 (P. 152)」

7.盗難防止用ロック (🔒)

別売のセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

→「セキュリティー機能 (P. 219)」

8.DCコネクタ (==)

添付のACアダプタを接続するための端子です。

9.通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。



チェック

布や手などでふさがないようにしてください。

18.HDMIコネクタ

HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。

→「外部ディスプレイ (P. 113)」

21.USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS⇄)

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。

USB 3.0の転送速度を出すためには、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。

→「USBコネクタ (P. 188)」

25.輝度センサ

画面の明るさを自動調整する機能を使用するときに、周辺の明るさを検知するためのセンサです。

→「ディスプレイが突然明るくなる、暗くなる (P. 351)」

26.SD (SDHC/SDXC) メモリーカードスロット

SDメモリーカードを読み書きするためのスロットです。

→「SD (SDHC/SDXC) メモリーカードスロット (P. 147)」

27.Webカメラ

テレビ電話をするときなどに使用します。Webカメラ使用時は、Webカメラ横のランプが点灯します。

→「Webカメラ (P. 133)」

28.内蔵マイク

テレビ電話をするときなどに使用するマイクです。



チェック

このマイクを使用して録音している場合、録音している音を同時にスピーカなどで再生することはできません。

29.USBコネクタ（USB 3.0対応、パワーオフUSB充電機能対応）

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0の転送速度を出すためには、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。

→「USBコネクタ (P. 188)」

またこのUSBコネクタは、パワーオフUSB充電機能に対応しています。USBケーブルを使って充電できる機器を充電するとき、このUSBコネクタでは電源が切れた状態でも充電できます。

この機能を使用するには、BIOSセットアップユーティリティの「Config」メニューで設定が必要です。



参照

「Config」メニューの設定について

「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「「Config」メニュー (P. 238)」

31.音量調整ボタン

内蔵スピーカや、ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから出力される音量を調節するためのボタンです。+を押すと音量が大きくなり、-を押すと音量が小さくなります。

→「サウンド機能 (P. 152)」

34.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック

ヘッドフォンやヘッドフォンマイク（4極ミニプラグ）、または外付けスピーカやオーディオ機器を接続し、音声信号を出力、入力するための端子です。

→「サウンド機能 (P. 152)」



チェック

入力機能としてはヘッドフォンマイク（4極ミニプラグ）のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

37.SIMカードスロット

本機では使用しません。

38.Windowsアイコン

現在のワークスペースとスタート画面を切り替えたり、スリープ状態から復帰するには、このアイコンを押します。
また、Windowsアイコンと、電源ボタンや音量調整ボタン（+／-）の組み合わせで次の機能が使用できます。

- Windowsアイコン+電源ボタン：【Ctrl】+【Alt】+【Delete】
- Windowsアイコン+音量調整ボタン（+）：音声ガイドON/OFF
- Windowsアイコン+音量調整ボタン（-）：スクリーンショット

41.画面回転ロックボタン（)

画面の自動回転のロック／ロック解除を切り替えることができます。

→「液晶ディスプレイ (P. 104)」

表示ランプ

[020102-28]

④ 電源ランプ

ランプの状態		本機の状態
緑	点灯	電源が入っている
	点滅※1	スリープ状態
消灯		電源が切れている、または休止状態

※1 約3秒に1回点滅

本機の電源の入れ方と切り方、スリープ状態や休止状態などについて説明しています。

➤ 電源の入れ方と切り方.....	37
➤ 電源の状態.....	39
➤ スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	40
➤ スリープ状態.....	42
➤ 休止状態.....	45
➤ 電源の設定.....	46
➤ 電源の自動操作.....	50

電源の入れ方と切り方

[020301-28]

電源を入れる

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。



チェック

- 光学ドライブなどにディスクがセットされた状態で電源を入れると、Windowsが起動しない場合があります。その場合は、セットされているディスクを取り出してから、電源を入れなおしてください。
- いったん電源を切った後で、電源を入れなおす場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。
- メモリを変更した場合、メモリの組み合わせによっては、初期化のために電源を入れてから画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

1 周辺機器の電源を入れる

2 本機の電源スイッチを押す

電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。



チェック

- Windowsやアプリケーションの表示中は、本機の電源を切らないでください。
- アプリケーションのエラーなどでWindowsの操作ができない場合の電源の強制切断方法については、「トラブル解決Q&A」の「電源」-「電源が切れない」-「[強制的に電源を切る \(P. 318\)](#)」をご覧ください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。

1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 スタート画面でをクリック

3 「シャットダウン」をクリック

シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。



チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。また、シャットダウン処理中に液晶ディスプレイを閉じると設定によってはスリープ状態または休止状態に移行してしまう場合があります。

4 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

「高速スタートアップ」について

「高速スタートアップ」とは、電源の切れた状態からすばやく起動するための機能です。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。

◆「高速スタートアップ」の機能を無効にする

周辺機器の取り付け／取り外しをする際は、次の手順で「高速スタートアップ」の機能を無効にし、シャットダウンしてから行ってください。

チェックを外さずに周辺機器の取り付け／取り外しを行った場合、周辺機器を認識しないことがあります。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

4 「シャットダウン設定」の「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックを外す

5 「変更の保存」ボタンをクリック

電源の状態

[020302-28]

本機の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」「休止状態」「電源が切れている状態」の4つの状態があります。

- **電源が入っている状態**

通常、本機を使用している状態です。

- **スリープ状態**

作業中のメモリの状態を保持したまま、ハードディスクやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、メモリの状態を保持しているため、すぐに作業を再開できます。

- **ハイブリッドスリープ**

スリープ状態に移行する際に、ハードディスクにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。ハードディスクにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもハードディスクから復帰することができます。

- **休止状態**

メモリの情報をすべてハードディスクに保存してから、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。

- **電源が切れている状態**

本機の電源を完全に切った状態です。

電源の状態は、本機の電源ランプで確認することができます。



参照

電源ランプについて

「各部の名称」の「[表示ランプ \(P. 35\)](#)」

スリープ状態／休止状態使用上の注意

[020303-28]

スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- 本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがありますので、次のような場合は、スリープ状態または休止状態にしないでください。
 - プリンタへ出力中
 - 通信を行うアプリケーションを実行中
 - LANまたは無線LANを使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
 - 音声または動画の再生中
 - ハードディスク、DVD、CDなどにアクセス中
 - 「システムのプロパティ」画面を表示中
 - Windowsの起動／終了処理中
 - スリープ状態または休止状態に対応していないUSB機器などの周辺機器やアプリケーションを使用中
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態のときに次のことが起こると、作業中のデータが失われますので、ご注意ください。
 - バッテリーのみで使用している状態で、バッテリーが切れた
 - バッテリー駆動に十分なバッテリー残量が無いときに、停電やACアダプタが抜けるなどの理由で、バッテリーのみで使用している状態になった
 - 電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切った
- スリープ状態または休止状態への移行、復帰などの電源状態の変更は、5秒以上の間隔をあけてから行ってください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 通信を行うアプリケーションを使用中の場合は、通信を行うアプリケーションを終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- バッテリーのみで使用する場合は、あらかじめバッテリーの残量を確認しておいてください。また、バッテリー残量が少なくなってきた場合の本機の動作について設定しておくこともできます。



参照

バッテリーについて

「バッテリー」の「[バッテリーの使い方と設定 \(P. 65\)](#)」

- スリープ状態または休止状態への移行中は、各種ディスク、SDメモリーカードなどの各種メモリーカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- スリープ状態または休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更を行うと、正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を外してください。USB機器を接続した状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。

- スリープ状態時や休止状態時、スリープ状態や休止状態への移行中、スリープ状態や休止状態からの復帰中は、USB機器を抜き差ししないでください。
- 「電源オプション」で各設定を変更する場合は、管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 光学ドライブにディスクをセットしたまま休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにディスクから起動してしまうことがあります。休止状態にする場合は、ディスクを取り出してください。
- 光学ドライブにPhoto CDをセットしたままスリープ状態または休止状態にすると、復帰に時間がかかることがあります。
- スリープ状態または休止状態から復帰したときに、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイが逆になったり、外部ディスプレイの設定情報を読み込めない場合があります。外部ディスプレイを再設定してください。
- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、タッチパッドを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次のような場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。
 - アプリケーションが動作しない
 - スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
 - タッチパッド、キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、スリープ状態または休止状態にしないでください。電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」

スリープ状態

[020304-28]

作業中のメモリの内容を保持したまま、ハードディスクやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、内容が保持されているので、すぐに作業を再開できます。



チェック

- スリープ状態への移行およびスリープ状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
- 本機を長時間使用しない場合は電源を切るか、ACアダプタを接続したうえでスリープ状態にしてください。バッテリーのみで長時間スリープ状態にしておくと、バッテリー残量がなくなることがあります。
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態でバッテリーの残量がなくなると、作成中のデータが失われたり、データが壊れたりすることがあります。

スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態にするには、次の方法があります。

「電源」からスリープ状態にする

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 をクリック

3 「スリープ」をクリック

Windowsが終了し、スリープ状態になります。Windowsの終了処理中は電源スイッチを押したり、液晶ディスプレイを閉じたりしないでください。

本機がスリープ状態になると、電源ランプが点滅します。

液晶ディスプレイを閉じる

電源スイッチを押す



チェック

電源スイッチでスリープ状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電源が切れて、保存していないデータは失われてしまいます。

スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次の方法があります。



チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- スリープ状態で長時間経過した場合やバッテリー残量が少なくなった場合、自動的に本機が休止状態になっている場合があります。その場合は、電源スイッチで復帰させてください。

電源スイッチを押す



チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

液晶ディスプレイを開く

液晶ディスプレイを閉じてスリープ状態にした場合は、液晶ディスプレイを開くことでスリープ状態から復帰できます。

USBマウスを操作する

設定を行うことで、USBマウス接続時、USBマウスを操作することでスリープ状態から復帰できます。



チェック

USBマウス操作でスリープ状態から復帰できない場合は、他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。



参照

USBマウスでスリープ状態から復帰する/しないようにする設定について

「トラブル解決Q&A」の「電源」-「[USBマウスでスリープ状態から復帰する/しないを設定したい \(P. 328\)](#)」

【Fn】キーを押す

Windowsアイコンを押す

ハイブリッドスリープ

スリープ状態に移行する際に、ハードディスクにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。ハードディスクにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもハードディスクから復帰することができます。



チェック

工場出荷時は、ハイブリッドスリープを使用しない設定になっています。使用するには設定の変更が必要です。



参照

電源プランの設定の変更について

「[電源の設定 \(P. 46\)](#)」

休止状態

[020305-28]

メモリの情報をすべてハードディスクに保存し、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元しますので、本機での作業を長時間中断する場合、消費電力を抑えるのに有効です。



チェック

休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

休止状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順で行います。

1

チャームバーを表示し、「設定」をクリック

2

をクリック

3

「休止状態」をクリック

休止状態への移行処理後、電源が自動で切れます。電源スイッチを押さないでください。
本機が休止状態になると、電源ランプが消灯します。



チェック

工場出荷時は「電源」のメニューに「休止状態」は表示されません。「休止状態」を表示するには、「電源の設定」の「[電源メニューに休止状態を表示させる \(P. 48\)](#)」の手順で設定を変更してください。

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、電源スイッチを押してください。



チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

電源の設定

[020306-28]

電源の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。

「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用するプランを選択するほか、新規のプランを作成することができます。

また、プランごとに電源の状態を変更する操作の設定や、電源の状態が変更されるまでの時間を設定することができます。

電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 表示されているプランから使用したいプランを選択する

表示されているプラン以外から選択したい場合は、「追加プランの表示」をクリックし、表示されたプランから選択してください。

4 ボタンをクリック

以上で電源プランの選択は完了です。

電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック

4 表示された画面で設定を行う

電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明
ディスプレイの電源を切る	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの電源を切ります。

コンピューターをスリープ状態にする	指定した時間、何も入力がない場合、本機がスリープ状態になります。
プランの明るさを調整	ディスプレイの輝度を設定します。



チェック

設定時間を変更したときに、「コンピューターをスリープ状態にする」時間が「ディスプレイの電源を切る」時間よりも短くならないように、設定時間が自動的に変更される場合があります。個別に設定する場合は「詳細な電源設定の変更」をクリックして設定してください。



メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な設定が行えます。
- 「このプランの既定の設定を復元」を選択すると、設定値が既定の値に戻ります。

5 「変更の保存」 ボタンをクリック

以上で電源プランの設定の変更は完了です。

電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
- 3 左のメニューから「電源プランの作成」をクリック
- 4 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを選択する
- 5 「プラン名」欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」 ボタンをクリック
- 6 表示される画面で設定を行う
- 7 「作成」 ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。

作成した電源プランは、「電源プランの選択 (P. 46)」の手順で選択できます。

電源の状態を変更する操作の設定

電源スイッチを押す、液晶ディスプレイを閉じるなどの操作により移行する電源の状態を変更する場合は、次の手順で行います。



チェック

この手順で設定を行った場合、現在登録されているすべての電源プランの設定が変更されます。電源プランごとに設定を行いたい場合は、それぞれの電源プランの設定画面の「詳細な電源設定の変更」から行ってください。

1

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2

「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3

「電源ボタンとカバーの設定」欄で、動作を設定する

- 電源スイッチを押すことで移行する電源の状態を設定する場合
「電源ボタンを押したときの動作」欄で設定します。
- 液晶ディスプレイを閉じることで移行する電源の状態を設定する場合
「カバーを閉じたときの動作」欄で設定します。



チェック

工場出荷時の設定は次のようになっています。

- 「電源ボタンを押したときの動作」: 「スリープ状態」
- 「カバーを閉じたときの動作」: 「スリープ状態」

4

「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

電源メニューに休止状態を表示させる



をクリックすると表示されるメニューに「休止状態」を追加する場合は次の手順で行います。

1

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2

「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3

「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

4 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェックを付ける

5 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

電源の自動操作

[020307-28]

タイマによって、自動的に電源の操作を行うことができます。



チェック

タイマの自動操作によるスリープ状態からの復帰を行った場合、本体はスリープ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、タッチパッドなどのポインティングデバイス进行操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

タイマ機能（電源オプション）

設定した時間を経過しても、タッチパッドやキーボードからの入力やハードディスクへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電源を切ったり、スリープ状態、休止状態にすることができます。

工場出荷時は次のように設定されています。

使用している電源	電源プランの名称	ディスプレイの電源を切る	ハードディスクの電源を切る	スリープ状態にする	休止状態にする
ACアダプタ	標準	約10分	約10分	約25分	なし
バッテリー		約2分	約3分	約5分	約15分



メモ

工場出荷時は、省電力のためスリープ状態になるように設定してあります。

本機の省電力機能について説明しています。

➤ 省電力機能について.	52
➤ ECOモード機能.	53
➤ ピークシフト機能.	57
➤ Intel SpeedStep® テクノロジー.	60

省電力機能について

[020401-28]

Windowsには、一定時間本機を使用していない場合などに電源の状態を変更し、消費電力を抑えるように設定できる電源管理機能があります。

また、Windowsの電源管理機能に加え、本機には次の省電力機能があります。

- **ECOモード機能**

ECOボタンまたはホットキーを押すことで、簡単にECOモード機能のモードを切り替えることができます。

- **ピークシフト機能**

設定した時間帯の間、バッテリーにより動作し、AC電源の使用を抑えることで、電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を他の時間帯に移行することができます。

- **Intel SpeedStep® テクノロジー**

処理の負荷などによって、CPUの動作性能を切り替える機能です。



参照

- **Windowsの電源管理機能について**
「電源 (P. 36)」
- **ECOモード機能について**
「ECOモード機能 (P. 53)」
- **ピークシフト機能について**
「ピークシフト機能 (P. 57)」
- **Intel SpeedStep® テクノロジーについて**
「Intel SpeedStep® テクノロジー (P. 60)」

ECOモード機能

[020402-28]

本機では、2つの省電力設定から利用シーンにあわせて、最適な設定に切り替えることができます。
工場出荷時の設定では、ECOモード機能で切り替えることのできるモードには次の2つがあり、「標準」が選択された状態になっています。

◆モードの種類

モード	通知領域のアイコンおよび色	説明
標準	 (青)	本機のを速度を優先させる設定ですが、操作がない状態で一定の時間が経過した場合、スリープ状態に移行します。電源プランは「標準」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は56%に設定されています。
ECO	 (緑)	電力をもっとも節約する設定で、標準よりも早い時間でスリープ状態に移行します。電源プランは「ECO」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は10%に設定されています。



チェック

- 表中のアイコンは工場出荷時の設定のものです。実際に表示されるアイコンはモードに割り当てている電源プランにより異なります。
- 電源プラン「ECO」は固定的に割り当てられるモードのため変更はできません。
- Windowsのサインイン画面が表示されている場合、ECOボタン、または設定したホットキーを押してもモードは変更されません。
- 電源プランの自動切替の実行中は、ECOボタンや設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。

モードを切り替える

1

ECOボタンを押す

「オンスクリーン表示の設定」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
「表示する」に設定した場合、ECOボタンを押すと現在設定されているECOモードが表示され、以後ECOボタンを押すごとにモードが切り替わります。
「表示しない」に設定した場合、ECOボタンを押すごとにモードは切り替わりますが、現在設定されているECOモードは表示されません。



参照

- キーの使い方について
「キーボード」の「[キーの使い方 \(P. 82\)](#)」
- 「[オンスクリーン表示の設定](#)」について
「[便利な機能とアプリケーション](#)」の「[オンスクリーン表示の設定 \(P. 281\)](#)」



チェック

- 現在のモードは、タスク バーの通知領域の  をクリックすると表示されるアイコンで確認できます。
また、通知領域に表示されたアイコンを選択し、クリックをしてもモードを切り替えることができます。
- 指定したホットキーにモードの切り替えの機能を割り当てることができます。
「[ホットキーの設定 \(P. 55\)](#)」

ECOモード機能の設定

モードの設定の変更

ECOモード機能で切り替える各モードの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

1 アプリ画面 (P. 11)を開き、アプリの一覧で「ECOモード設定ツール」をクリック

2 表示される画面で設定を行う

- 電源プラン
変更可能なモードに割り当てる電源プランを選択します。
- 「電源プランのカスタマイズ」ボタン
コントロール パネルの電源オプションが表示されます。
- 「初期設定に戻す」ボタン
2つのモードと電源プランの組み合わせを、工場出荷時の設定に戻します。

3 「OK」ボタンをクリック



チェック

- ECOボタンの各モードに設定している電源プランを削除した場合、削除した電源プランを選択していたモードには「設定なし」が設定されます。
- 「初期設定に戻す」ボタンで工場出荷時の設定に戻したときに、工場出荷時の設定で使用している電源プランが削除されていた場合も「設定なし」が設定されます。

以上で設定は完了です。

自動切替設定

電源プランを自動的に切り替える期間と時間帯の設定ができます。

設定した時間帯に応じて、本機の電源プランを変更し、消費電力を抑えることができます。



チェック

- 電源プランの自動切替の実行中は、ECOボタンや設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 電源プランの自動切替の実行中に、手動でECOボタンやWindowsの「電源オプション」などで電源プランを切り替えた場合は、自動切替時間の終了後もその電源プランを維持します。
- ECOモード設定の切り替わりには、数分かかる場合があります。

1

アプリ画面 (P. 11)を開き、アプリの一覧で「ECOモード設定ツール」をクリック

2

「電源モード自動切替の設定」ボタンをクリック

「ECOモード設定ツール(自動切り替え設定)」画面が表示されます。

3

自動切替の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
時間帯により切り替える	チェックを付けると、時間帯に応じて、電源プランを切り替えます。
使用期間	電源プランの自動切り替えを使用する期間の開始日、終了日を設定します。 それぞれの欄の▼をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択してください。 さらに、各モードに時間帯を設定して電源プランの自動切替を実行します。 設定した時間帯は、使用できる電源プランが制限されます。  をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。

4

「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

ホットキーの設定

ECOボタンとは別に、モードの切り替えに使用するホットキーを1つ設定できます。

ホットキーの設定は、次の手順で行います。

1

アプリ画面 (P. 11)を開き、アプリの一覧で「ECOモード設定ツール」をクリック

2

「ホットキーの設定」ボタンをクリック



メモ

- ホットキーには、次のキーが設定できます。
 - 【Alt】 + 【F1】 ～ 【F3】
 - 【Alt】 + 【F5】 ～ 【F12】
 - 【Ctrl】 + 【F1】 ～ 【F12】
- 「初期設定に戻す」ボタンをクリックすると、ホットキーの設定を工場出荷時の状態に戻します。

以上で設定は完了です。

ピークシフト機能

[020405-28]

電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を、他の時間帯に移行することをピークシフトといいます。
本機は、「ピークシフト設定ツール」で設定を行うことで「ピークシフト機能」を使用できます。

使用上の注意

- ピークシフト機能の実行には、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続しておく必要があります。
- ピークシフト機能の実行には、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」がインストールされている必要があります。
- ピークシフト機能実行中に ACアダプタを本機、またはACコンセントから取り外したり、本機をスリープ状態や、休止状態にする、シャットダウンを行うとピークシフト機能は中断します。
- ピークシフト機能の設定はユーザーごとに設定可能ですが、同時に実行できるピークシフト機能は1つのみです。ユーザーの切り替えを使用して複数のユーザーがサインインしている状態で、いずれかのユーザーが設定したピークシフト機能が実行中の場合、他の設定によるピークシフト機能は正常に動作しません。
- ピークシフト機能実行中に「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」でバッテリーのリフレッシュを実行すると、ピークシフト機能が正常に動作しないことがあります。
- 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」で、著しい劣化と診断され「警告」と表示されたバッテリーは充電できません。ただちに新しいバッテリーに交換してください。また、劣化したバッテリーのままで、ピークシフト機能を使用しないでください。



チェック

バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

- 「バッテリー駆動に切り換える」「バッテリーへの充電を控える」の時間帯を長時間に設定した場合、バッテリーの充電量が不足します。バッテリーの充電時間が最低5時間は確保されるように「バッテリー駆動に切り換える」「バッテリーへの充電を控える」の時間帯を19時間以上には設定しないようにしてください。
- バッテリーへの充電を行わない時間の開始・終了は、本機の運用状況により若干の誤差が発生する場合があります。

ピークシフト機能の設定

ピークシフト設定ツールで、ピークシフト機能に関する各種設定を行うことができます。
ピークシフト機能の設定は、次の手順で行います。

1 アプリ画面 (P. 11)を開き、アプリの一覧で「ピークシフト設定ツール」をクリック

「ピークシフト設定ツール」が表示されます。

2 ピークシフト機能の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
----	----

使用期間	ピークシフト機能を使用する期間の開始日、終了日を設定します。 それぞれの欄の  をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択してください。
バッテリー駆動に切り換える (更にバッテリー充電を控える)	チェックを付けると、時間帯を指定してピークシフト機能を使用します。 ● 「開始」「終了」  をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。終了時刻は、「バッテリーへの充電を控える」で設定している時間帯の範囲内になります。
バッテリーの残容量が次を切ったら、AC電源駆動に切り換えます。	ピークシフト実施中に、バッテリー駆動からAC電源による駆動に切り換える バッテリーの残容量を10%～100%の間で設定します。  をクリックし、設定を行ってください。
バッテリー駆動する開始時間をランダムに分散させる。	チェックを付けると、バッテリー駆動を開始/終了する時間を分散させます。  チェック 終了時間の分散により設定画面で設定した終了時間を越えることがあります。
バッテリーへの充電を控える	設定した時間帯はバッテリー充電を行いません。 ● 「終了」  をクリックし、バッテリーへの充電を控える時間帯の終了時刻を設定します。開始時刻はバッテリー駆動開始時刻と同じ時間になります。
スリープ、電源オフ中に、AC電源からバッテリーへ充電を行なわない。	チェックを付けると、ピークシフト期間中は、毎日、パソコン使用開始からピークシフト時間終了まで休止状態、電源オフになってもバッテリーの充電を行いません。
設定変更には管理者権限が必要	チェックを付けると、管理者（Administrator）権限を持つユーザーのみが、ピークシフト機能の設定を変更できるようになります。

3 「OK」 ボタンをクリック

設定が保存され、「ピークシフト設定ツール」が閉じます。



メモ

「キャンセル」 ボタンをクリックすると、設定を変更しないで「ピークシフト設定ツール」画面を閉じます。

以上でピークシフト機能の設定は完了です。

ピークシフト機能の動作状況は、ピークシフトの実施時間になるとタスク バーの通知領域に表示されるアイコンで確認できます。

通知領域のアイコン	説明
	ピークシフトが実施され、バッテリーのみで動作しています。



バッテリー残量が「ピークシフト停止バッテリー残容量」以下などの理由で、AC電源で動作しています。

Intel SpeedStep® テクノロジー

[020404-28]

Intel SpeedStep® テクノロジーに対応したCPUが搭載されているモデルでは、電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。

Intel SpeedStep® テクノロジーへの対応については、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

設定を変更する場合は、「電源プランの設定の変更」の手順3で「詳細な電源設定の変更」をクリックし、表示される画面の「プロセッサの電源管理」の各項目で設定を行います。



参照

電源プランの設定の変更について

「電源の設定」 - 「[電源プランの設定の変更 \(P. 46\)](#)」

本機のバッテリー（二次電池）の使い方やバッテリーリフレッシュなどについて説明しています。

➤ バッテリー（二次電池）について.....	62
➤ 使用上の注意.....	63
➤ バッテリーの充電.....	64
➤ バッテリーの使い方と設定.....	65
➤ バッテリーリフレッシュ.....	67
➤ バッテリー・リフレッシュ&診断ツール.....	68

バッテリー（二次電池）について

[020501-28]

- 本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。
- バッテリーについてはJEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）の「バッテリー関連Q&A集」（<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>）もあわせてご覧ください。
- 本機に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



使用上の注意

[020502-28]

- ハードディスクなどへの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、ハードディスクなどのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。
- 充電を行う際にはできるだけ満充電するようにしてください。バッテリー残量が少ない場合などに少量の充放電を何度も繰り返して本機を使用すると、バッテリー残量に誤差が生じることがあります。
- バッテリー残量の表示精度を良くするには定期的にバッテリーリフレッシュを実行してください。
- 満充電にしても使用できる時間が短くなった場合は、バッテリーリフレッシュを行ってください。



参照

バッテリーリフレッシュについて

「[バッテリーリフレッシュ \(P. 67\)](#)」

- 本機を長期間使用しない場合は、バッテリー残量を50%程度にして、涼しいところに保管しておくことでバッテリーの寿命を長くすることができます。
- バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、スリープ状態や休止状態を利用したり、本機の省電力機能を使用してください。



参照

- **スリープ状態／休止状態について**

「[電源 \(P. 36\)](#)」

- **省電力機能について**

「[省電力機能 \(P. 51\)](#)」

- バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2～3か月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリーの充電

[020504-28]



チェック

購入直後や長時間放置したバッテリーでは、バッテリー駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリー残量が正しく表示されないことなどがあります。必ず満充電してから使用してください。

■ バッテリーの充電のしかた

本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。
本機の電源を入れて使用していても充電されます。



メモ

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

バッテリーの充電時間については、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

バッテリーの使い方と設定

[020505-28]

バッテリー残量の確認

バッテリー残量は次の方法で確認できます。

タスク バーの通知領域で確認する

タスク バーの通知領域の  または  をクリックすると、現在のバッテリー残量と電源プランが表示されます。

バッテリー残量による動作の設定

バッテリー残量が一定の値以下になったときに通知したり、自動的にスリープ状態や休止状態になるように設定できます。



チェック

- 工場出荷時の状態では、バッテリー残量が10%以下になったときに通知し、5%以下になったときに再度通知し、自動的に休止状態になるように設定されています。
- バッテリー残量による動作は、電源プランごとに設定します。

バッテリー残量による動作の設定を変更するには、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 設定を変更したい電源プランの「プラン設定の変更」をクリック

4 「詳細な電源設定の変更」をクリック

5 「バッテリー」をダブルクリック

6 「バッテリー」以下に表示される項目で設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
バッテリー切れの動作	バッテリー残量が「バッテリー切れのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
低残量バッテリーのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「低残量バッテリーの動作」を開始します。

バッテリー切れのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「バッテリー切れの動作」を開始します。
低残量バッテリーの通知	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに通知するかどうかを設定します。
低残量バッテリーの動作	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
省電源移行バッテリー レベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、Windowsが省電源モードで動作するようになります。

7 「OK」ボタンをクリック

以上で設定の変更は完了です。

■ バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなった場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

ACコンセントから電源を供給できる場合

ACアダプタを接続して、ACコンセントから電源を供給してください。バッテリーの充電が始まります。また、バッテリーを充電しながら本機を使用できます。

ACコンセントが使えない場合

本機を休止状態にするか、使用中のアプリケーションを終了して本機の電源を切ってください。

バッテリー残量が少ない状態で、ACコンセントから電源を供給しないまま本機を使用していると、バッテリー残量に応じて電源プランで設定されている動作が実行されます。

バッテリーリフレッシュ

[020506-28]

バッテリーリフレッシュは、一時的に低下したバッテリーの性能を回復させるときに行います。次のような場合には、バッテリーリフレッシュを実行してください。

- バッテリーでの駆動時間が短くなった
- 購入直後や長期間バッテリーを使用しなかったため、バッテリーの性能が一時的に低下している
- バッテリーの残量表示に誤差が生じている

バッテリーリフレッシュの実行



メモ

本機は、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」でWindows上からバッテリーリフレッシュを実行することができます。



参照

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールについて
「[バッテリー・リフレッシュ&診断ツール \(P. 68\)](#)」

バッテリー・リフレッシュ&診断ツール

[020507-28]

「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を使用することで、バッテリーリフレッシュと性能診断、バッテリーリフレッシュと診断の自動実行ができます。



チェック

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールがインストールされていない場合、ピークシフト機能は使用できません。また、著しく劣化したバッテリーの充電停止機能も使用できません。

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの表示

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの表示は次の手順で行います。

1

アプリ画面 (P. 11)を開き、アプリの一覧で「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」をクリック

2

バッテリーリフレッシュや性能診断についての概要を説明する画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック



メモ

- 「起動時にこの画面を表示しない」にチェックを付けてから「次へ」ボタンをクリックすると、概要説明画面を次回から表示しなくなります。
- 概要説明画面は、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示して、「はじめにお読みください」ボタンをクリックしても表示されます。

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールや診断結果については、バッテリー・リフレッシュ&診断ツールを表示し、「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示されるヘルプをご覧ください。

バッテリーリフレッシュと性能診断を実行する

バッテリーリフレッシュと性能診断は、次の手順で行います。



チェック

バッテリーリフレッシュと性能診断を行う場合には、本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続しておく必要があります。

1

「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示する

2

「開始」ボタンをクリック

確認画面が表示されます。

3 内容を確認し、「はい」ボタンをクリック

バッテリーリフレッシュが開始されます。
バッテリーリフレッシュ終了後、性能診断が行われます。



メモ

確認画面、および実行中の画面で「終了後、自動的にスリープ状態にする」にチェックを付けると、バッテリーリフレッシュと性能診断が終了した後、本機がスリープ状態になります。



チェック

- バッテリーリフレッシュを中断する場合は、「中止」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。また、バッテリーリフレッシュを中断した場合、性能診断は行われません。
- 「バッテリー状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリーの交換をおすすめします。
- 「バッテリー状態」に「警告」と表示された場合、バッテリーを交換してください。
- バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

バッテリーリフレッシュと性能診断を自動実行する

バッテリーリフレッシュと性能診断の自動実行は、次の手順で設定します。



チェック

バッテリーリフレッシュと性能診断を自動実行する場合には、設定した時間に本機が以下の状態であることが必要です。

- 本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続されている。
- 電源がシャットダウンされていない（起動中、スリープ状態、休止状態の場合は実行可能です）。
- 管理者（Administrator）権限を持たないユーザーで自動実行を設定した場合、設定したユーザーでサインインしている。
- 管理者（Administrator）権限を持ち、Windows パスワードを持たないユーザーで自動実行を設定した場合、設定したユーザーでサインインしている。

1 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示する

2 「次回開始日時の設定」ボタンをクリック

3 「次回の実行日時を指定する」を選択し、実行時間を設定する

必要に応じて以下の項目も設定してください。

- 「Windows パスワード」
Windows のサインインパスワードを設定している場合は、この欄にパスワードを入力する
- 「終了後、自動的にスリープ状態にする」
自動実行終了後、本機をスリープ状態にする場合にはチェックを付ける



チェック

管理者（Administrator）権限を持たないユーザーで設定を行っている場合、「Windows パスワード」欄は表示されません。

4 「OK」ボタンをクリック

以上でバッテリーリフレッシュと性能診断の自動実行の設定は完了です。

■ バッテリーの充電モードを設定する

バッテリーの充電モードを設定できます。



チェック

充電モードの設定は、バッテリー・リフレッシュ&診断ツールでのみ変更可能です。



メモ

- 現在内蔵しているバッテリーの充電モードは、バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの「現在のモード」欄で確認できます。
- バッテリーは、使い続けていくうちに、バッテリーの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリーリフレッシュを実行することでバッテリーの性能を回復できます。

1 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示する

2 「充電モードの設定」ボタンをクリック

3 設定するモードを選択する

設定可能なモードは次のとおりです。

モード	説明
フル充電モード	100%まで充電する通常モードです。
8割充電モード	充電を80%までにすることで、バッテリーの劣化を抑えるモードです。
5割充電モード	50%まで充電します。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で充電モードの設定は完了です。

■ バッテリ・リフレッシュ & 診断ツールのアンインストール

バッテリ・リフレッシュ & 診断ツールのアンインストールは、次の手順で行います。



チェック

アンインストールは管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック
- 3 「バッテリ・リフレッシュ & 診断ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック
- 4 「バッテリ・リフレッシュ & 診断ツール をアンインストールしますか？」と表示された場合は、「はい」 ボタンをクリック

以上でバッテリ・リフレッシュ & 診断ツールのアンインストールは完了です。

■ バッテリ・リフレッシュ & 診断ツールの再インストール

アンインストールした「バッテリ・リフレッシュ & 診断ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。



チェック

- インストールには光学ドライブが必要です。
- インストールは管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。

- 1 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 2 アプリ画面 (P. 11)を開き、アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」 ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe



メモ

光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

4 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール(タイプVW)」を選択し、「インストール」をクリック

5 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール セットアップ ウィザードへようこそ」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

6 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツールファイル使用中」画面が表示された場合は、「NEC Battery Refresh Utility-Scheduler (Process Id: XXXX)」をクリックし、「継続」ボタンをクリック

7 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

8 再起動を促すメッセージが表示された場合は、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、「はい」ボタンをクリック

Windowsが自動的に再起動します。



チェック

メッセージが表示されない場合は、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動してください。

以上でバッテリー・リフレッシュ & 診断ツールの再インストールは完了です。

本機のタッチパネル機能について説明しています。

- 使用上の注意. 74
- タッチパネルでの操作方法. 75
- タッチパネルの設定. 77

使用上の注意

[023001-28]

- 必要以上に強い力でタッチしないでください。故障の原因になります。
- 画面上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけないようにしてください。画面がたわみ、故障の原因になります。
- 汚れた指でタッチしないでください。画面に汚れが付着して見にくくなる可能性があります。
- タッチパネル面は強化ガラスでできています。万が一強化ガラスが割れた場合は指で触れたりせずに修理を依頼してください。
- タッチパネルの表面にフィルムなどを貼らないでください。また、汚れや水滴が付着した場合は柔らかい布で取り除いてください。タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 指の状態（乾燥している、汗や水で濡れているなど）によっては、タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 他の電気機器から離してお使いください。そばに置いて使用していると、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
- ACアダプタは、他の電気機器と同じACコンセントに接続しないでください。他の電気機器からノイズを受けて、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
やむなく同じコンセントに接続していて、他の電気機器にアース線がある場合は、必ずアース線を接続してください。

タッチパネルでの操作方法

[023002-28]

本機のタッチパネルでの操作と対応するマウス操作について説明します。



メモ

操作名	操作イメージ	説明	同じ動作をするマウス操作
タップ		画面上の対象に指1本で軽く触れ、指を離します。 アイコンや項目の選択や、ボタンを押すときに使用します。	クリック
長押し (プレス アンド ホールド)		指1本で画面上の対象に触れ続け、四角が表示された後に指を離します。 右クリックメニューが表示されます。	右クリック
ダブル タップ		画面上の対象を指で2回連続でタップします。 ダブルクリックと同様に、フォルダを開いたり、プログラムを実行するときに使用します。	ダブル クリック
ドラッグ		画面上の対象に触れ、指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。 アイコンの移動や範囲選択などで使用します。	ドラッグ
スライド (パン)		指を画面上に軽くタッチした状態で動かします。 画面に表示しきれない大きなページや画像データを動かし、隠れていた部分を表示することができます。	スクロール
スワイプ (フリック)		画面に触れ、指を払うように動かします。 指を動かした方向に表示内容がスクロールさせたり、ページをめくることができます。	—

		アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	
ピンチ/ ストレッチ (ズーム)		ピンチによる縮小をする場合は、指1本で画面に触れたまま、別のもう1本の指で画面に触れ、2本の指先でつまむように動かします。 ストレッチによる拡大をする場合は、逆に2本の指先を開くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	【Ctrl】 + スクロールホイール
回転		指1本で画面に触れたまま、もう1本の指で画面に触れ、最初に触れた指を中心にして円を描くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	—

タッチパネルの設定

[023004-28]

操作や表示などの設定

ダブルタップなどの操作に関する設定や、タッチパネル操作時の表示、画面の回転などについて設定できます。

ダブルタップなどの操作に関する設定をする

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」→「ペンとタッチ」をクリック
- 3 「タッチ」タブで設定を行う
ダブルタップや長押しの設定ができます。
- 4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」→「タブレット PC 設定」をクリック
- 3 次のタブで設定を行う

- 「画面」タブ
画面の回転についての設定などができます。



チェック

「調整」をクリックしてタッチする位置の調整をしないでください。調整をすると、タッチの反応位置がずれてしまうことがあります。
調整してしまった場合は、「画面」タブの「リセット」をタップして、ご購入時の設定に戻してください。

- 「その他」タブ
きき手などの設定ができます。

4 「OK」 ボタンをクリック

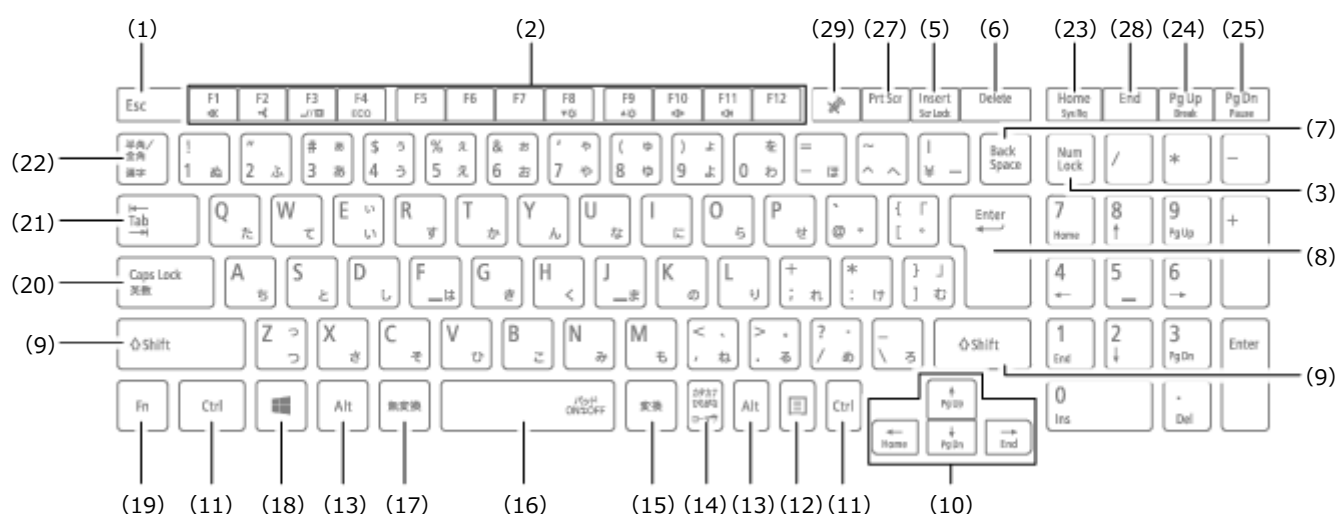
以上で設定は完了です。

本機のキーボードのキーの名称や、キーの使い方について説明しています。

➤ キーの名称.	80
➤ キーの使い方.	82
➤ キーボードの設定.	84

キーの名称

[020603-28]



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	【Esc】	エスケープキー
(2)	【F1】～【F12】	ファンクションキー
(3)	【Num Lock】	ニューメリックロックキー
(5)	【Insert】	インサートキー
(6)	【Delete】	デリートキー
(7)	【Back Space】	バックスペースキー
(8)	【Enter】	エンターキー（リターンキー）
(9)	【Shift】	シフトキー
(10)	【↑】【↓】【→】【←】	カーソルキー
(11)	【Ctrl】	コントロールキー
(12)	【  】	アプリケーションキー
(13)	【Alt】	オルトキー
(14)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(15)	【変換】	変換キー
(16)	スペースキー	スペースキー
(17)	【無変換】	無変換キー
(18)	【  】	Windowsキー
(19)	【Fn】	エフエヌキー
(20)	【Caps Lock】	キャップスロックキー

(21)	【Tab】	タブキー
(22)	【半角/全角】	半角/全角キー
(23)	【Home】	ホームキー
(24)	【Pg Up】	ページアップキー
(25)	【Pg Dn】	ページダウンキー
(27)	【Prt Scr】	プリントスクリーンキー
(28)	【End】	エンドキー
(29)	【  】	ミュートキー

日本語入力のオン/オフ

本機は、工場出荷時、日本語入力システムとしてMicrosoft IMEが設定されています。
工場出荷時の状態で日本語入力のオン/オフを切り替えるには【半角/全角】または【Caps Lock】を押してください。

ホットキー機能（【Fn】の使い方）

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、パソコンの設定を変更したり、キーの役割を変えることができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能を表すアイコンは【Fn】と同じ色でキー上面に印字されているものもあります。



チェック

「オンスクリーン表示の設定」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「オンスクリーン表示の設定」について

「アプリケーションのインストール/アンインストール」の「[オンスクリーン表示の設定 \(P. 281\)](#)」

キー操作	機能	説明
【Fn】 + 【F1】	音声のオン/オフ（ミュート機能）	音声のオン/オフを切り替えます。
【Fn】 + 【F2】	ワイヤレススイッチ	ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えます。詳しくは「 無線LAN機能 (P. 166) 」、「 Bluetooth機能 (P. 206) 」をご覧ください。
【Fn】 + 【F3】 ※1	画面表示先の切り替え	市販の外部ディスプレイを接続しているときに、パソコンの画面を表示するディスプレイを切り換えます。 詳しくは「 画面の出力先を切り替える (P. 129) 」をご覧ください。
【Fn】 + 【F4】 ※3	ECOボタン（ ECO ）	ECOモードを切り替えます。詳しくは「 ECOモード機能 (P. 53) 」をご覧ください。
【Fn】 + 【F8】	輝度を下げる	液晶ディスプレイの輝度が下がります（11段階）。
【Fn】 + 【F9】	輝度を上げる	液晶ディスプレイの輝度が上がります（11段階）。
【Fn】 + 【F10】	音量を下げる	スピーカの音量を下げます。
【Fn】 + 【F11】	音量を上げる	スピーカの音量を上げます。
【Fn】 + 【Insert】 ※2	スクロールロック	【Scr Lock】として機能します。
【Fn】 + 【Home】	システムリクエスト	【Sys Rq】として機能します。
【Fn】 + 【Pg Up】	Break	【Break】として機能します。

【Fn】 + 【Pg Dn】	Pause	【Pause】として機能します。
【Fn】 + 【↑】	Page Up	【Pg Up】として機能します。
【Fn】 + 【↓】	Page Dn	【Pg Dn】として機能します。
【Fn】 + 【←】	Home	【Home】として機能します。
【Fn】 + 【→】	End	【End】として機能します。
【Fn】 + スペースキー ※4	タッチパッドのオン／オフ	タッチパッドのオン／オフを切り替えます。
【Fn】 + 【  】	右Windows	右【  】として機能します。

※1 外部ディスプレイを接続していない場合は動作しません。

※2 本機の電源を切ったり、再起動を行った場合、設定した内容は解除されます。

※3 「ECOモード設定ツール」をアンインストールした場合は動作しません。

※4 タッチパッドのドライバを「PS/2 互換マウス」に変更した場合は動作しません。

■【Num Lock】／【Caps Lock】のディスプレイ表示設定

【Num Lock】／【Caps Lock】の状態を、インジケータで表示することができます。インジケータの表示を設定するには、次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「オンスクリーン表示」タブで設定を行う
- 5 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

キーボードの設定

[020605-28]

Windowsでキーボードをより使いやすく設定することができます。



参照

キーボードの設定について

Windowsのヘルプ

本機のタッチパッドの使い方やタッチパッドの設定、タッチパッドのドライバを変更する方法などについて説明しています。

➤ タッチパッドの使い方.....	86
➤ タッチパッドの設定.....	87
➤ タッチパッドのドライバを変更する.....	92
➤ タッチパッドドライバへ戻す.....	94

タッチパッドの使い方

[020802-28]

タッチパッドでの操作

タッチパッドでの操作には、次のようなものがあります。

操作名称	操作説明
マウスポインタの移動	パッドに触れ、マウスポインタを動かしたい方向に指を動かします。
クリック	パッドの右下以外の部分を押し込んで、すぐに離します。
右クリック	パッドの右下部分を押し込んで、すぐに離します。
ダブルクリック	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせてからクリックの操作を2回続けてすばやくクリックします。
ドラッグ	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせ、パッドを押し込んだままパッド上で指を動かします。
スクロール	スクロールバーが表示されているアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。触れる位置は少し離してください。 そのまま、スクロールバーを動かしたい逆方向に2本の指を動かします。
ズーム	拡大／縮小の操作を行いたいアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。 そのまま、指先の間を広げたり狭めたりすることで、拡大／縮小ができます。



チェック

スクロールやズームの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。



メモ

- パッドを指先で軽くたたくとクリックと同じ操作になります。また、2回続けてすばやくパッドをたたくと、ダブルクリックと同じ操作になります。パッドを軽くたたいてクリックやダブルクリックの操作をすることを「タップ」や「ダブルタップ」と呼びます。
- クリックボタンを使わずに、ポインタを合わせた状態でパッドを軽くたたき、もう一度パッドに触れた状態で指を動かしてもドラッグの操作になります。

タッチパッドの設定

[020803-28]

タッチパッドのボタンやポインタの動作などの設定は「マウスのプロパティ」で行います。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

「マウスのプロパティ」の各タブをクリックし、タッチパッドの設定ができます。

マルチタッチやジェスチャーなどの機能の設定

マルチタッチやジェスチャー、スクロールなどの機能の設定は、「マウスのプロパティ」の「Touch Pad」タブから「拡張」画面を表示して行います。

「拡張」画面の表示は、次の手順で行います。



チェック

本機では、「タッチパッド」のことを「NXパッド」「Touch Pad」と表示することがあります。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

3 「Touch Pad」タブをクリック

4 「Touch Pad」タブ内の「拡張」ボタンをクリック

タッチパッドの「拡張」画面が表示されます。

設定できる項目

「拡張」画面では、次の項目の設定ができます。

項目		説明
一般	ポインティング速度	タッチパッドのポインタ移動速度を設定できます。
感度	タッチ感度	タッチ感度のレベルを設定できます。動きが鈍い場合はレベルを上げてください。

	制約モーショ	画面上のマウスポインタの動きを上下と左右の方向のみに制限することができます。オプションの欄で設定したキーを押しながらポインタを動かします。
	制約モー ションを 使用する	有効にすると、制約モーション機能が使用可能になります。
	オプショ ン	制約モーションで使用するキーを選択します。
	スローモーシ ョン	ポインタが画面を移動する速度が遅くなります。細かいポイント操作が、より楽に行えるようになります。オプションの欄で設定したキーを押しながらポイントを動かします。
	スローモー ションを 使用する	有効にすると、スローモーション機能が使用可能になります。
タ ッ プ と ド ラ ッ グ	オプショ ン	スローモーションで使用するキーを選択します。
	パームチェッ ク	誤って手がタッチパッドに触れたときなどにポインタが誤動作しないようにします。検出される手のひらのサイズを設定できます。
	パームチ ェックを 使用する	有効にすると、パームチェック機能が使用可能になります。
	タッピング	タップやドラッグの動作を設定します。
	タッピン グを使用 する	有効にすると、タップ操作が使用可能になります。
	ドラッグ を使用す る	有効にすると、ドラッグが有効になります。
	ドラッグ ロックを 使用する	有効にすると、ドラッグ後、パッドから指を離してもドラッグしたままの状態を保ちます。
	2本指タ ップ	有効にすると、2本指を使ったタップ操作が使用可能になります。
	タイピングフィ ルター	キーボードでキー入力している間、タッチパッドが一時的に無効になります。
	キー入力 中、一定時 間タッチ パッドを 無効にす る	有効にすると、タイピングフィルター機能が使用可能になります。
	有効にな るまでの 時間	キー入力が終わってから、タッチパッドが有効になるまでの時間を設定できます。

スクロール	エッジ操作	ポインティングやドラッグ操作中に指がタッチパッドの端に到達したときのポインタの動作を設定します。指がタッチパッドに到達した後のポインタの移動速度を設定できます。 ● ポインタの動きを止める：指がタッチパッドの端に到達すると、ポインタの動きが止まります。 ● ドラッグ操作を続ける：ドラッグ操作中に指がタッチパッドの端に到達すると、タッチパッドから指を離すまでポインタは動き続けます。ポインタ操作中に指がタッチパッドの端に到達すると、ポインタの動きが止まります。 ● ポインタを動かし続ける：ポインティングやドラッグ操作中に指がタッチパッドの端に到達すると、タッチパッドから指を離すまでポインタは動き続けます。
	1本指スクロール	パッドの右端や下端をスライドすることでスクロールができます。
	縦スクロールを使用する	有効にすると、タッチパッドの右端で指を前後にスライドすると、縦方向のスクロールが使用可能になります。
	横スクロールを使用する	有効にすると、タッチパッドの下端で指を左右にスライドすると、横方向のスクロールが使用可能になります。
	方向を反転	有効にすると、スクロールの方向を反転させることができます。縦方向または横方向のスクロールが使用可能なときのみ、操作が可能になります。
	スクロール操作領域を設定	縦方向および横方向のスクロール操作領域の幅を設定できます。縦方向または横方向のスクロールが使用可能なときのみ、操作が可能になります。 ● 縦方向：縦方向のスクロール操作領域の幅を設定できます。 ● 横方向：横方向のスクロール操作領域の幅を設定できます。
	2本指スクロール	2本指で前後または左右にスライドすることで、スクロールができます。
	パンスクロール	有効にすると、2本指スクロール機能が使用可能になります。
	方向を反転	有効にすると、スクロールの方向を反転させることができます。スクロールが使用可能なときのみ、操作が可能になります。
	スクロール速度の設定	スクロール速度やイナーシャルスクロール速度を設定できます。
	スクロール速度	有効にすると、スクロール速度を設定できます。
	イナーシャルスクロール速度	有効にすると、イナーシャルスクロール速度を設定できます。イナーシャルスクロールは、タッチパッドを素早くスライドすると、ポインタがしばらくスライドさせた方向に慣性で動きます。
	スクロールロック	スクロール中に指がタッチパッドの端に到達すると、タッチパッドから指を離すまでスクロールし続けます。
	タッチパッドの端に到達し	有効にすると、スクロールロック機能が使用可能になります。

	でもスクロール操作を続ける	
	スクロール方法	スクロール方法を選択できます。 ● トラディショナル：少し幅のあるスクロールが使用できます。 ● スタンダード：マウスホイールで操作するのと同等のスムーズなスクロールが使用できます。
ショートカット	ショートカット	パッドの隅を使ったタップ操作が可能になります。
	左上コーナー	パッドの左上隅を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	右上コーナー	パッドの右上隅を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	右下コーナー	パッドの右下隅を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	左下コーナー	パッドの左下隅を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
マルチタッチジェスチャー	マルチタッチジェスチャー	いろいろな操作方法を設定できます。それぞれの項目の操作イメージを表示するには、をクリックします。
	ピンチズーム	有効にすると、画像や地図などのアプリケーションで、拡大／縮小ができます。2本指でタッチパッドをタッチし、指を遠ざけると拡大し、指を近づけると縮小します。
	ローテーション	有効にすると、画像の回転をサポートしたアプリケーションで、画像を回転できます。2本指でタッチパッドをタッチし、2本の指を回転させる、または一方の指を固定してもう一方の指を回転したい方向に動かすと回転できます。
	3本指フリック	有効にすると、ウェブブラウザやドキュメントビューア、および同様のアプリケーションで、進む操作や戻る操作ができます。
	4本指フリック	有効にすると、アプリケーションビューアの表示、およびアプリケーションの切り替えができます。
エッジスワイプ	エッジスワイプ	スワイプ時のいろいろな操作方法を設定できます。それぞれの項目の操作イメージを表示するには、をクリックします。
	上下エッジスワイプ	有効にすると、タッチパッドの上端から下へスワイプすることで、アプリケーションバーを開きます。
	左エッジスワイプ	有効にすると、タッチパッドの左端から右へスワイプすることで、アプリケーションを切り替えることができます。
	右エッジスワイプ	有効にすると、タッチパッドの右端から左へスワイプすることで、アプリケーションを切り替えることができます。

工場出荷時の設定に戻す

タッチパッドの設定を工場出荷時の状態に戻す場合は、次の手順で行います。

1 「Touch Pad」 タブの「拡張」 ボタンをクリック

タッチパッドの「拡張」画面が表示されます。

2 「デフォルト」 ボタンをクリック

タッチパッドのオン／オフ

【Fn】 + スペースキーを押すことで、タッチパッドのオン／オフを切り替えることができます。

ただし「マウスが接続されたときタッチパッドを自動的に無効にします。」にチェックを付けた状態でマウスを接続した場合、【Fn】 + スペースキーを押してもタッチパッドは有効になりません。

また、USBマウスを接続しているときに、タッチパッドが自動的に無効になるように設定できます。
設定する場合は、次の手順で行ってください。



チェック

本機では、「タッチパッド」のことを「NXパッド」「Touch Pad」と表示することがあります。



メモ

工場出荷時の状態では、「マウスが接続されたときタッチパッドを自動的に無効にします。」にチェックが付いています。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

3 「Touch Pad」 タブをクリック

4 「マウスが接続されたときタッチパッドを自動的に無効にします。(この機能を有効にしてマウスを接続した場合、Fn+Spaceを押してもタッチパッドは有効になりません)」にチェックを付ける

5 「OK」 ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

タッチパッドのドライバを変更する

[020804-28]

他社製のUSBマウスを使用する際など、タッチパッドのドライバをOS標準のドライバ（PS/2 互換マウス）に変更する場合は、次の手順で行ってください。



チェック

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1

「デバイス マネージャー（P. 12）」を開く

2

「マウスとそのほかのポインティング デバイス」をダブルクリック

3

「Pointing Device」をダブルクリック

4

「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック

「ドライバー ソフトウェアの更新 - Pointing Device」が表示されます。

5

「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック

6

「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック

7

「モデル」欄から「PS/2 互換マウス」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

必要なファイルがコピーされます。

「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されます。



チェック

- 「モデル」欄に「PS/2 互換マウス」が表示されない場合
「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外し、「製造元」欄から「Microsoft」を選択し、「モデル」欄から「PS/2 互換マウス」を選択してください。
- 「モデル」欄に「PS/2 互換マウス」が複数表示されている場合
一番上の「PS/2 互換マウス」を選択してください。

8

「閉じる」ボタンをクリック

9

「閉じる」ボタンをクリック

「システム設定の変更」が表示されます。

10 「はい」 ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でタッチパッドのドライバの変更は完了です。

タッチパッドドライバへ戻す

[020805-28]

他社製のUSBマウスを使用する際など、タッチパッドのドライバを「PS/2 互換マウス」に変更した場合、タッチパッドの拡張機能を使用するには、次の手順でドライバをタッチパッドドライバへ戻してください。



チェック

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1

「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2

「マウスとそのほかのポインティング デバイス」をダブルクリック

3

「PS/2 互換マウス」をダブルクリック

4

「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック

5

「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリック

6

「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します」をクリック

7

「モデル」欄から「Pointing Device」を選択する



チェック

「モデル」欄に「Pointing Device」が複数表示されている場合は、一番上の「Pointing Device」を選択してください。

8

「次へ」ボタンをクリック

必要なファイルがコピーされます。

この操作以降は、マウスポインタが動かない場合があります。その場合は、キーボードで操作してください。コピーが完了すると、「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されます。

9

「閉じる」ボタンをクリック

10

「閉じる」ボタンをクリック

「システム設定の変更」画面が表示されます。

11 「はい」 ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

再起動後、タッチパッドの拡張機能が有効になります。



チェック

再起動後、ポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1

【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】を押す

2

【Tab】を使用してを選択し、【Enter】を押す

3

【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す

本機でマウスを使用する場合の設定について説明しています。

- マウスを使用する. 97
- マウスを接続するための設定方法. 99
- 水平スクロール機能の設定を切り替える. 101
- マウスを接続する前の設定に戻す. 102

マウスを使用する

[020902-28]

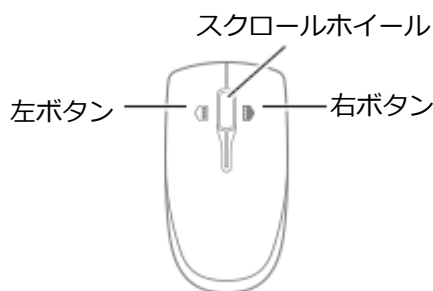
本機では、USB接続のマウスを使用することができます。

添付または別売の当社製USBマウスを使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのままUSBコネクタに接続してください。

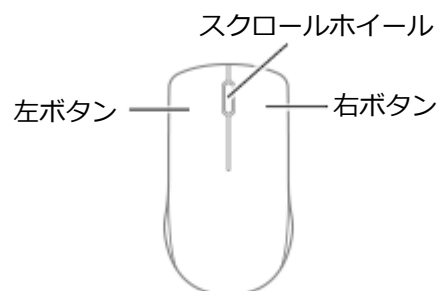
他社製のUSBマウスを使用する場合は、設定が必要になる場合がありますので、「マウスを接続するための設定方法」をご覧ください。

購入時に、マウスを選択した場合に添付されるマウスを例として説明します。

USBレーザーマウス



USB光センサーマウス



チェック

USBレーザーマウスやUSB光センサーマウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- USB光センサーマウスの場合、光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）



参照

- **マウスを接続するための設定方法**
「本機の機能」の「マウス」 - 「[マウスを接続するための設定方法 \(P. 99\)](#)」
- **マウスの使い方**
Windowsのヘルプ

スクロールホイールの使い方



チェック

スクロールホイールの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

USBレーザーマウスの場合

- **垂直スクロール機能**

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- **水平スクロール機能**

次の2つの動作設定から選択できます。現在の設定は、タスク バーの通知領域の  をクリックすると表示されるアイコンをクリックして確認できます。

動作設定	説明
横スクロール	スクロールホイールを左または右側に傾けると、画面を左右にスクロールさせることができます。
Charm/App	スクロールホイールを左に傾けるとチャーム バーを、右に傾けると最近使用したアプリの一覧を表示させることができます。



参照

水平スクロール機能の切り替えについて

[「水平スクロール機能の設定を切り替える \(P. 101\)」](#)

- **オートスクロール機能**

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

USB光センサーマウスの場合

- **垂直スクロール機能**

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- **オートスクロール機能**

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

マウスを接続するための設定方法

[020903-28]

■ 当社製USBマウス（添付または別売）を使用する

当社製USBマウス（添付または別売）を使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのままUSBコネクタに接続してください。



チェック

- 当社製USBマウスとタッチパッドを同時に使用できますが、工場出荷時の状態では、USBマウス接続時にタッチパッドが無効になるように、タッチパッドドライバで設定されています。
- 本機では、「タッチパッド」のことを「NXパッド」「Touch Pad」と表示することがあります。



メモ

- USBマウスとタッチパッドを同時に使用する場合は、「マウスのプロパティ」→「Touch Pad」タブで「マウスが接続されたときタッチパッドを自動的に無効にします。（この機能を有効にしてマウスを接続した場合、Fn+Spaceを押してもタッチパッドは有効になりません）」のチェックを外してください。
- タッチパッドを使用しない場合は、BIOSの設定でタッチパッドを無効にできます。「[他社製のUSBマウスを使用する \(P. 99\)](#)」を参照してください。

■ 他社製のUSBマウスを使用する

他社製のUSBマウスを使用する場合は、タッチパッドのドライバをOS標準のドライバ（PS/2 互換マウス）へ変更してから、他社製USBマウスに添付のマニュアルをご覧ください、手順に従ってUSBマウスを接続してください。



チェック

- タッチパッドドライバをOS標準のドライバに変更することで、他社製のUSBマウスとタッチパッドを同時に使用できますが、タッチパッドの拡張機能や【Fn】+スペースキーでのタッチパッドのオン/オフは利用できません。
- ドライバの変更を行う場合は、次の点に注意してください。
 - 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
 - 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
 - マウスポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 を押す

2 【Tab】 を使用して  を選択し、【Enter】 を押す

3 【↑】【↓】 で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】 を押す



メモ

タッチパッドを無効にしたい場合は、BIOSセットアップユーティリティの「Config」メニュー→「Keyboard/Mouse」の「Trackpad」を「Disabled」に設定してください。



参照

- **タッチパッドのドライバを変更する**
「タッチパッド」の「タッチパッドのドライバを変更する (P. 92)」
- **タッチパッドを無効にする**
 - 「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 231)」
 - 「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「「Config」メニュー (P. 238)」

水平スクロール機能の設定を切り替える

[020905-28]

USBレーザーマウスのスクロールホイールを左右に傾けたときの動作設定を選択できます。



チェック

USB光センサーマウスには対応していません。

水平スクロール機能の設定を切り替える

1 タスク バーの通知領域にある  をクリック

2 表示されたアイコン () をクリック

選択できる動作設定が表示されます。

3 機能を選択し、クリック

選択した動作設定に切り替わります。

動作設定の種類

工場出荷時の設定では「Charm/App」が選択された状態になっています。

動作設定	説明
横スクロール	スクロールホイールを左または右側に傾けると、画面を左右にスクロールさせることができます。
Charm/App	スクロールホイールを左に傾けるとチャーム バーを、右に傾けると最近使用したアプリの一覧を表示させることができます。

マウスを接続する前の設定に戻す

[020904-28]

マウスを取り外すとき、「マウスを接続するための設定方法 (P. 99)」で変更する前の設定に戻す（タッチパッドの拡張機能を使用する）場合は、次の操作を行ってください。

当社製USBマウス（添付または別売）を使用している場合

そのままUSBコネクタから取り外してください。



メモ

BIOSの設定でタッチパッドを無効にした場合は、「他社製のUSBマウスを使用している場合」と同様に、タッチパッドを有効に戻してください。

他社製のUSBマウスを使用している場合



チェック

ドライバの変更を行う場合は、次の点に注意してください。

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- マウスポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】を押す

2 【Tab】を使用してを選択し、【Enter】を押す

3 【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す



メモ

- BIOSの設定でタッチパッドを無効にした場合は、BIOSセットアップユーティリティの「Config」メニューで次の設定を行い、タッチパッドを有効に戻してください。
「Keyboard/Mouse」の「Trackpad」を「Enabled」に設定する
- タッチパッドのドライバをOS標準のドライバ（PS/2 互換マウス）から、タッチパッドドライバに戻すと、タッチパッドの拡張機能が利用できるようになります。



参照

- **タッチパッドドライバへ戻す**

「タッチパッド」の「[タッチパッドドライバへ戻す \(P. 94\)](#)」

- **タッチパッドを有効にする**

- 「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」

- 「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「[Config](#)」メニュー (P. 238)」

液晶ディスプレイ

[021100-28]

本機の液晶ディスプレイの表示の調整や表示できる解像度と表示色、表示に関する機能の設定などについて説明しています。

➤ 使用上の注意.	105
➤ 画面表示の調整.	106
➤ 液晶ディスプレイの回転.	107
➤ 画面の回転.	110
➤ 表示できる解像度と表示色.	111
➤ ディスプレイストレッチ機能.	112

使用上の注意

[021101-28]

- 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、色調のズレなど個体差が発生する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
- OpenGLのアプリケーションを使用した場合、アプリケーションによっては、画面が表示されない、または画面の表示が乱れることがあります。
- DVDの再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音切れ、およびデスクトップ上のアイコンのちらつきが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。
- DVDの再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生するDVDの種類によっては、コマ落ちが発生する場合があります。
- Windowsの状態によっては、スクリーンセーバー動作時に液晶ディスプレイの電源がオフにならない場合があります。
- 各種ベンチマークが正常に実行できない場合があります。
- 画面回転時にスリープ状態や休止状態にしたり、再起動や電源を切るなどの操作を行わないでください。
- DVDや動画の再生中は、画面を回転させないでください。
- DVDや動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 動画を再生するアプリケーションによっては、画質が低下する場合があります。
- 本機の液晶ディスプレイを開閉すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

■ 輝度を調整する

キーボードで調整する

キーボードで、一時的に輝度を調整できます。

機能	キー操作	説明
輝度を下げる (▼☀)	【Fn】 + 【F8】	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
輝度を上げる (▲☀)	【Fn】 + 【F9】	液晶ディスプレイの輝度が上がります。

液晶ディスプレイの回転

[021106-28]

本機は液晶ディスプレイを最大360度回転することにより、いろいろな状態でパソコンを利用できます。

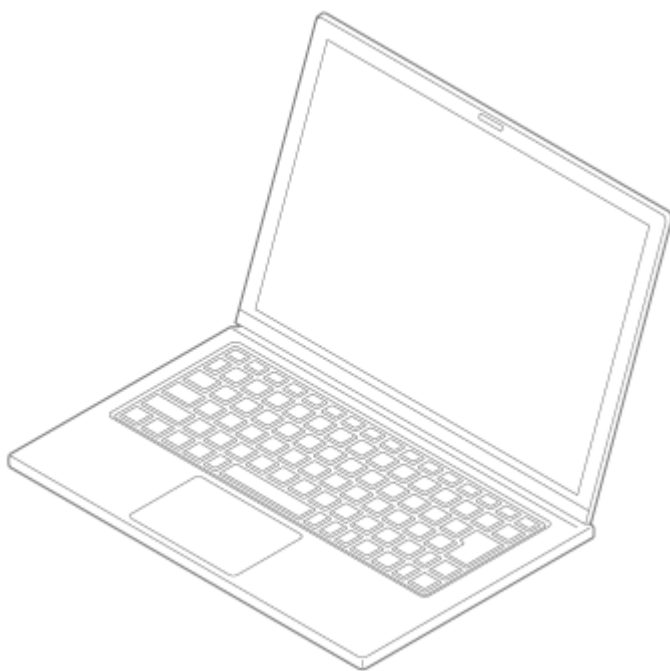


チェック

- タブレット スタイル、フォトフレーム スタイル、スタンド スタイル、フラット スタイルの状態では机などに設置して使用する場合は、そのまま本体を引きずらないでください。パソコンに傷が付いたり、塗装がはがれたりする可能性があります。
- 無理な力で液晶ディスプレイを開閉しないでください。液晶ディスプレイやヒンジ部分が損傷するおそれがあります。

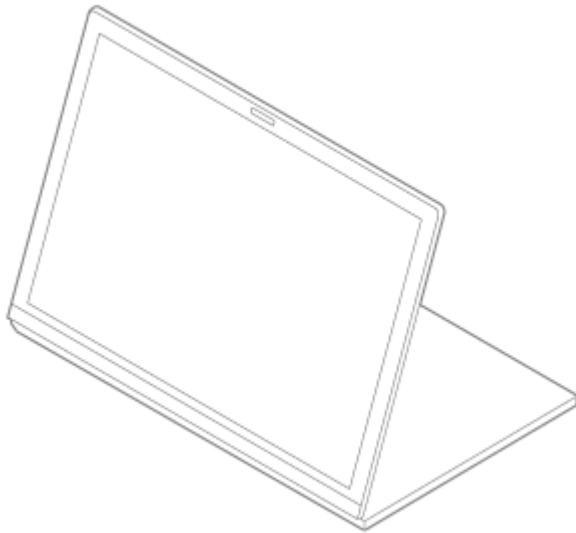
● ノートPC スタイル

文書やメールの作成などキーボードが必要な作業では、ノートPC スタイルが適しています。



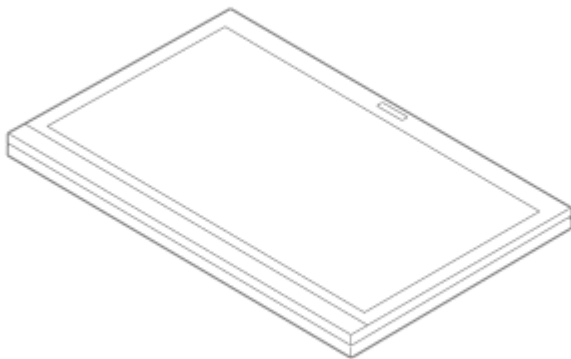
● スタンド スタイル

写真やビデオを見るときは、パソコンをしっかり固定できるスタンド スタイルが適しています。



- **タブレットスタイル**

インターネットを見たりゲームをしたりといった液晶ディスプレイを頻繁にタッチする場合は、タブレットスタイルが適しています。

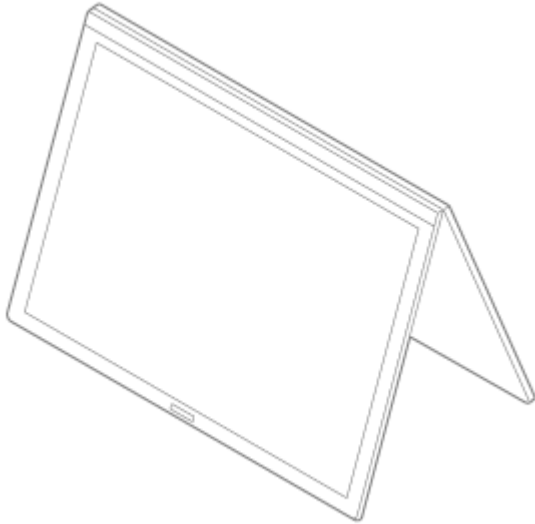


チェック

「タブレットスタイル」のまま持ち運ばないでください。必ず、液晶ディスプレイを閉じた状態である「ノートPCスタイル」にして持ち運んでください。

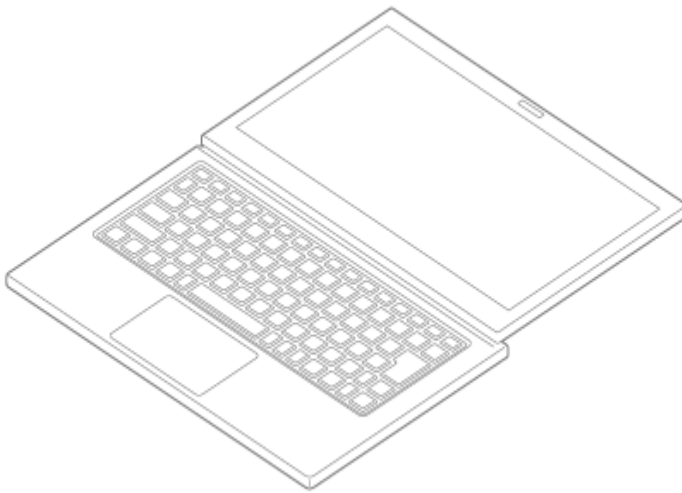
- **フォトフレームスタイル**

プレゼンテーションなどでは、フォトフレームスタイルが適しています。



- **フラット スタイル**

手元で操作しながら対面の相手に図や表を表示したい場合は、フラット スタイルが適しています。



チェック

対面の相手に画面を見せる場合は、キーボードを使って画面を回転します。【Ctrl】 + 【Alt】 + 【↓】を押すと、画面を180°回転します。



参照

キーボードを使った画面の回転について
「液晶ディスプレイ」の「[画面の回転 \(P. 110\)](#)」

画面の回転

[021105-28]

本機の向きを感知して画面の表示方向を切り替える自動回転機能により、自動で画面が回転します。



チェック

- 工場出荷時の設定では、画面の自動回転機能は有効に設定されています。
- 画面が回転しない場合は、「トラブル解決Q&A」の「表示」-「[画面が回転しない \(P. 352\)](#)」をご覧ください、設定を確認してください。



参照

- **BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について**
「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」および「[設定項目一覧 \(P. 236\)](#)」
- **スタイルについて**
「液晶ディスプレイ」の「[液晶ディスプレイの回転 \(P. 107\)](#)」

キーボードで画面を回転させる

キーボードを使って画面を任意の方向に回転させることができます。

押すキー	画面が回転する方向
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【→】	時計回りに90度回転
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【↓】	時計回りに180度回転
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【←】	時計回りに270度回転
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【↑】	時計回りに360度回転



参照

スタイルについて
「液晶ディスプレイ」の「[液晶ディスプレイの回転 \(P. 107\)](#)」

自動回転機能を一時的に停止（ロック）する

画面回転ロックボタンを押すことで、自動回転機能を一時的に停止（ロック）することができます。もう一度画面回転ロックボタンを押すと、ロックは解除されます。



参照

画面回転ロックボタンについて
「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

表示できる解像度と表示色

[021103-28]



チェック

- 設定により、次の表に記載されていない解像度を選択することがありますが、動作を保証するものではありません。必ず記載されている解像度で使用してください。
- モニタの設定で、画面のリフレッシュレートを40ヘルツに変更できますが、40ヘルツに設定すると、マウスカーソル移動の飛び、表示性能の低下や表示のみだれ、ちらつき、および動画再生のコマ落ちなどが発生する場合があります。
そのような場合は、画面のリフレッシュレートを60ヘルツに戻して使用してください。

本機の液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

解像度 (ドット)	表示色	本機の液晶ディスプレイのみに表示
1,024×768	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,280×768	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,280×800	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,280×1,024	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,366×768	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,440×900	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,680×1,050	1,677万色※1	拡大表示（ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替え可能※2）
1,920×1,080	1,677万色※1	フルスクリーン表示可能

※1 本機の液晶ディスプレイでは、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。

※2 拡大表示では文字や線などの太さが不均一になることがあります。実サイズ表示では画面中央に実サイズで表示され、まわりは黒く表示されます。



参照

外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色、機能、設定について
「外部ディスプレイ (P. 113)」

ディスプレイストレッチ機能

[021104-28]

ディスプレイストレッチ機能とは、液晶ディスプレイの解像度よりもWindowsの解像度設定が低い場合に、液晶ディスプレイに画面イメージを拡大して表示する機能です。

ディスプレイストレッチ機能を使う場合は次の手順で行います。



チェック

ディスプレイストレッチ機能を使用して拡大表示を行っている場合、表示される文字などの線の太さが不均一になることがあります。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ディスプレイ」をクリック
- 6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック
- 7 「ディスプレイの選択」欄で「内蔵ディスプレイ」を選択する
- 8 「スケーリング」欄で「全画面のスケールにする」を選択する
- 9 「適用」ボタンをクリック
設定の保存を確認するメッセージが表示されます。
- 10 「はい」ボタンをクリック
- 11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる
- 12 「OK」ボタンをクリック

設定が有効になり、ディスプレイストレッチ機能が使用できます。

外部ディスプレイで表示可能な解像度や表示色、画面の表示先の切り替えなどについて説明しています。

➤ 使用上の注意.	114
➤ 外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色.	115
➤ HDMIコネクタ.	118
➤ Intel® WiDi.	121
➤ 外部ディスプレイ接続時の表示機能.	125
➤ 表示先、表示機能の設定.	126
➤ 画面の出力先を切り替える.	129
➤ ディスプレイに合わせた設定.	131

使用上の注意

[021201-28]

- DVDや動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示を行っている場合、オーバーレイを使用して再生する動画は、プライマリ側のディスプレイにのみ表示されます。
- デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
- 高解像度で外部ディスプレイに表示している場合、DVD-Videoの種類によっては、コマ落ち、映像の乱れが発生する場合があります。その場合は、より低い解像度に設定することをおすすめします。
- 外部ディスプレイに表示している状態で、本機の液晶ディスプレイを開閉すると、画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

HDMIコネクタ使用時の注意

- すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。そのため、HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。
- HDMIケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。
- 本機の電源が入っている状態、スリープ状態、および休止状態のときは、HDMIコネクタへのHDMIケーブルの取り付け、取り外しを行わないでください。
- 著作権保護されたコンテンツなどは出力されない場合があります。
- HDMIディスプレイ接続時、リフレッシュレートが30Hz（インターレース）に設定されていると、本機の操作中にちらつく場合があります。その場合はリフレッシュレートを60Hz（プログレッシブ）に変更してください。
- 使用環境によっては、60Hz（プログレッシブ）に変更するか解像度を低くしないと描画性能が上がらない場合があります。
- HDMIディスプレイのタイプによっては、解像度を変更しないと、60Hz（プログレッシブ）に変更できない場合があります。

Intel® WiDi使用時の注意

Intel® WiDi使用時の注意事項については、「[Intel® WiDi \(P. 121\)](#)」をご覧ください。

外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色

[021202-28]



チェック

- お使いになる外部ディスプレイによっては、次の表に記載されている走査周波数や解像度に対応していない場合があります。外部ディスプレイをご使用の際は、外部ディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してください。
- 初回接続時の外部ディスプレイやテレビは、本機の液晶ディスプレイとのクローンモードに設定されます。
- 設定により、マニュアルに記載されていない解像度や周波数を選択できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ずマニュアルに記載されている解像度や周波数で使用してください。
- 外部ディスプレイによっては、特定の解像度やリフレッシュレートに設定できないことがあります。

外部ディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

VGA接続の外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色



チェック

- VGA接続の外部ディスプレイと本機を接続するには、VGA変換アダプタが必要です。
- 著作権保護に対応したコンテンツは出力することができません。
- すべてのアナログRGBコネクタを持った外部ディスプレイ、テレビでの動作確認はしていません。

解像度 (ドット)	表示色	外部ディスプレイのみに表示※1	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイ での同時表示※1 ※2
1,024×768	1,677万色	フルスクリーン表示可能 (表示可能な垂直走査線周波数は 60Hzです)	拡大表示 (ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表 示との切り替え可能※4)
1,280×1,024	1,677万色	フルスクリーン表示可能 (表示可能な垂直走査線周波数は 60Hzです)	拡大表示 (ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表 示との切り替え可能※4)
1,920×1,080	1,677万色	フルスクリーン表示可能 (表示可能な垂直走査線周波数は 60Hzです)	フルスクリーン表示可能

※1 外部ディスプレイによっては、特定の解像度やリフレッシュレートに設定できないことがあります。

※2 外部ディスプレイ未接続時は、本機の液晶ディスプレイのみに表示されます。

※4 拡大表示では文字や線などの太さが不均一になることがあります。実サイズ表示では画面中央に実サイズで表示され、まわりは黒く表示されます。



メモ

高解像度（1,920×1,200<WUXGA>）の対応状況については、<http://jpn.nec.com/bpc/versapro/>でお使いの機種をクリックし、スペック詳細をご覧ください。か、<http://121ware.com>の「サービス＆サポート」→「商品情報検索」からお使いの機種を検索して、仕様をご確認ください。

HDMIコネクタ使用時の解像度と表示色

解像度(ドット)	表示色	映像信号形式	HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビのみに表示※3 ※4 ※5 ※6	本機の液晶ディスプレイとHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの同時表示※1 ※3
1,024×768	1,677万色	1080i 1080p	拡大表示 (ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7)	拡大表示 (ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7)
1,280×1,024	1,677万色		拡大表示 (ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7)	拡大表示 (ディスプレイストレッチ機能で、実サイズ表示との切り替えが可能※7)
1,920×1,080	1,677万色		フルスクリーン表示可能	フルスクリーン表示可能

※1 別売の外部ディスプレイやテレビ未接続時は、本機の液晶ディスプレイのみに表示されます。

※3 すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしていません。
したがって、HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。

※4 別売の外部ディスプレイやテレビによっては、選択できない解像度もあります。

※5 メニューには、59Hzと60Hzの2つのリフレッシュレートが表示されますが、どちらを選択しても実際のリフレッシュレートは同じです。
また、ご使用のシステム環境によっては、59Hzまたは60Hzに固定される場合があります。

※6 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」ではリフレッシュレートの表記に●●p ヘルツ/●●i ヘルツと表記されます。
●●p ヘルツ時はプログレッシブ表示、●●i ヘルツ時はインターレース表示となります。

※7 実サイズ表示では画面中央に実サイズで表示され、まわりは黒く表示されます。

HDMIコネクタ

[021204-28]

➤ HDMIコネクタへの接続.	118
➤ HDMIコネクタ使用時の音声出力について.	118
➤ VGA変換アダプタを使用した接続.	119

HDMIコネクタへの接続

1 本機と接続する外部ディスプレイやテレビの電源を切る

2 HDMIケーブルで、HDMIコネクタとHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどを接続する



参照

HDMIコネクタの位置について
「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

3 外部ディスプレイやテレビと、本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイやテレビのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。

HDMIコネクタ使用時の音声出力について

HDMIコネクタに映像を出力すると、接続したHDMI機器が音声出力に対応している場合には音声を出力することができます。

自動で切り換わる場合もありますが、自動的に音声切り替わらない場合は、次の手順で設定を行ってください。

1 サウンドデバイスを使用しているすべてのソフトを終了する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「ハードウェアとサウンド」をクリック

4 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

5 「再生」タブをクリック

6 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」を選択して、「既定値に設定」ボタンをクリック

7 「OK」ボタンをクリック

音声はHDMI経由で出力されるようになります。



チェック

HDMIコネクタに映像を出力しているときに音声が出られなくなった場合は、本機を再起動すると改善されることがあります。

VGA変換アダプタを使用した接続

VGA変換アダプタを使用することで、本機とアナログインターフェースの外部ディスプレイやプロジェクタを接続することができます。



チェック

- VGA変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されます。また、別途購入することもできます。
- 著作権保護に対応したコンテンツは出力することができません。
- すべてのアナログRGBコネクタを持った外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。そのため、接続する機器やケーブルによっては正しく表示されない、選択できない解像度もあります。

1 本機と接続する外部ディスプレイの電源を切る

2 本機のHDMIコネクタに、VGA変換アダプタを接続する



チェック

VGA変換アダプタは、HDMIコネクタにしっかりと取り付けてください。



参照

HDMIコネクタの位置について
「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

3 ディスプレイ用ケーブルをVGA変換アダプタに接続する



チェック

ディスプレイ用ケーブルは、VGA変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

4 外部ディスプレイと本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。



チェック

プロジェクタの接続のしかたは、プロジェクタのマニュアルをご覧ください。また、使用する場合はプロジェクタのマニュアルを参考にして表示解像度（ドット）、垂直走査周波数（Hz）などを確認してください。

Intel® WiDi（インテル® ワイヤレス・ディスプレイ）は、Intel® WiDi用アダプターを取り付けた外部ディスプレイやテレビに、無線LAN機能を利用して接続し、本機の画面を表示する機能です。



チェック

外部ディスプレイやテレビに、別売のIntel® WiDi用アダプターを取り付ける必要があります。

必要な機器について

Intel® WiDiを使用するには、別売のIntel® WiDi用アダプターが必要です。

また、表示先の外部ディスプレイやテレビには、HDMI入力端子またはコンポジット映像・音声入力端子が搭載され、Intel® WiDi用アダプターが取り付け可能であることが必要です。



チェック

- お使いの外部ディスプレイやテレビで、Intel® WiDi用アダプターが使用可能かどうかについては、ご購入前にメーカーなどにご確認ください。
- 外部ディスプレイやテレビとIntel® WiDi用アダプターは、HDMIで接続することをおすすめします。コンポジット映像・音声入力端子での接続の場合、表示情報が読み取れないことがあります。詳しくはIntel® WiDi用アダプターの仕様をご確認ください。
- お使いの外部ディスプレイやテレビの仕様によっては、画面がモニタのサイズより若干小さく表示されたり、Intel® WiDiの接続時に、外部ディスプレイやテレビの電源が自動でオンになる場合があります。
- 本機を無線LANアクセスポイントに接続していない場合、IEEE802.11g (2.4GHz)、またはIEEE802.11n (2.4GHz) の1～11chでのみIntel® WiDi用アダプターと接続します。
- 本機を無線LANアクセスポイントに接続している場合、Intel® WiDi用アダプターとの接続は、無線LANアクセスポイントと接続している通信規格のチャンネルでのみ使用できます。通信規格と使用できるチャンネルは次の通りです。
 - IEEE802.11g (2.4GHz)、またはIEEE802.11n (2.4GHz) : 1～13ch
 - IEEE802.11a (5GHz)、またはIEEE802.11n (5GHz) : W52 (36、40、44、48ch) のみIEEE802.11a (5GHz)、またはIEEE802.11n (5GHz) で無線LANアクセスポイントに接続している場合、IEEE802.11g (2.4GHz)、またはIEEE802.11n (2.4GHz) の規格にのみ対応したIntel® WiDi用アダプターとは接続できません。
- 接続するIntel® WiDi用アダプターは、Windows 8.1に対応している必要があります。アダプターのメーカーにご確認ください。

使用上の注意

- Intel® WiDiは、無線LAN機能を利用しています。また、高解像度の画面を転送するためには、高速で安定した無線LANの通信環境が必要です。ご使用前に「無線LAN機能」をご覧ください。無線LAN機能使用時の注意事項や通信環境についてご確認ください。



参照

無線LAN機能について
「無線LAN機能 (P. 166)」

- 通信速度や通信処理の負荷によっては、外部ディスプレイやテレビの映像や音声が乱れる場合があります。
- 動画を表示する場合、カクツキやコマ落ちなどが目立つ場合があります。特にHD画質（1280×720p/毎秒30フレーム以上）の動画の場合、画質の低下が見られます。
- 外部ディスプレイやテレビに表示している映像と音声は、本機の映像や音声から約0.3秒の遅延があります。そのため、マウスでの操作や、キーボードでの操作、文字入力が行いにくい場合があります。
- Intel® WiDiはHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しています。
- コンテンツが採用している著作権保護方式によっては、再生できない場合があります。
- Intel® WiDi利用時に「表示画面を複製する」を選択した場合、選択可能な解像度が制限されます。
- Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続中にサウンドの設定を変更すると、接続が切断される場合があります。
- Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続中、画面の表示先を本機の液晶ディスプレイのみに切り替えた場合、WiDiが切断されます。
- Intel® WiDi接続中に手動でスリープ状態、ハイブリッドスリープ状態、休止状態などに移行する場合、またはWindowsのユーザーアカウントを切り替えたい場合は、WiDiの切断手順にしたがってWiDiを切断してください。

外部ディスプレイやテレビとの接続



チェック

WiDi接続設定を行う際は初回設定時のみ、このパソコンと接続しているアクセスポイントとの接続を一時的に切断してください。

Intel® WiDiで外部ディスプレイやテレビに接続するには、次の手順で行います。

1

Intel® WiDi用アダプターを外部ディスプレイやテレビに取り付ける

2

Intel® WiDiの待ち受け画面が表示されるように準備する



参照

Intel® WiDi用アダプターのマニュアル

3

チャームバーを表示し「デバイス」をクリック

4

「表示」をクリック

5

「ワイヤレス ディスプレイの追加」をクリック

6 接続するデバイスが検出されたら、デバイス名をクリック

7 WPS PIN入力画面が表示されたら、テレビまたは外部ディスプレイに表示されている8桁のセキュリティコードを入力し、「次へ」をクリック



チェック

8桁のセキュリティコードの入力は、【半角/全角/漢字】で半角英数文字が入力できる状態にしておこなってください。

以上で設定は完了です。



チェック

上記の手順は初回接続の手順になります。

2回目以降に接続する場合は、手順4の後に接続するデバイスが表示されますので、そのデバイス名をクリックすれば接続が可能になります。



参照

「Intel® WiDi」について

「Intel® WiDi」のヘルプ、およびヘルプ中の「トラブルシューティング」および「よくあるお問い合わせ (FAQ)」

外部ディスプレイやテレビの解像度の変更

初回接続時の外部ディスプレイやテレビの解像度は、本機の液晶ディスプレイと同じ解像度に設定されます。外部ディスプレイやテレビの解像度を変更する場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

「ディスプレイ表示の変更」画面が表示されます。

3 「複数のディスプレイ」欄で表示したい設定を選択する

「表示画面を複製する」に設定した場合、選択可能な解像度が制限されます。

4 「適用」ボタンをクリック

確認のメッセージが表示されます。

5 「変更を維持する」ボタンをクリック

設定が変更されます。

「元に戻す」ボタンをクリックすると、変更前の設定に戻ります。

6 「ディスプレイ」欄で、接続した外部ディスプレイやテレビを選択する

7 「解像度」欄で、外部ディスプレイやテレビの解像度を設定する

「推奨」と表示されている解像度に設定してご利用ください。

8 「OK」ボタンをクリック

確認のメッセージが表示されます。

9 「変更を維持する」ボタンをクリック

設定が変更されます。

「元に戻す」ボタンをクリックすると、変更前の設定に戻ります。

以上で設定は完了です。

■ 外部ディスプレイやテレビの切断

外部ディスプレイやテレビとの接続を切断するには、次の手順で行います。

1 「外部ディスプレイやテレビとの接続」の手順4まで同じ操作を行い、表示されたメニューの「切断」をクリック



チェック

【】 + 【P】を押すことでも、同じ画面を表示することができます。

外部ディスプレイ接続時の表示機能

[021205-28]

外部ディスプレイを接続して使用する場合、本機の液晶ディスプレイ、または接続した外部ディスプレイのみに表示する他、次の表示機能が使用できます。

デュアルディスプレイ

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使用して、ひとつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを続き画面として利用できるのもので、表示できる範囲が広がります。

クローンモード

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイで同時表示を行います。
表示される内容は同じものですが、選択した解像度によっては本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイが異なる表示状態になる場合があります。



チェック

接続している外部ディスプレイやプロジェクタによっては、これらの機能の選択時に、画面の解像度が変更される場合があります。その場合は、解像度を設定しなおしてください。



参照

表示先や表示機能の設定について
「[表示先、表示機能の設定 \(P. 126\)](#)」

表示先、表示機能の設定

[021206-28]

外部ディスプレイなどを接続した場合、次の方法で表示先、表示機能の設定ができます。



チェック

動画再生のソフトウェアを表示中は、設定の変更を行わないでください。設定の変更を行った場合は、動画再生のソフトウェアを再起動してください。

「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で設定する



チェック

- DVDの再生中に設定を変更する場合は、DVDの再生を停止し、DVD再生のソフトウェアを終了させてから行ってください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時に表示している場合、DVDの種類によっては、映像の乱れが発生する場合があります。本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示させる設定にすることをおすすめします。
- 「拡張デスクトップ」から「クローン・ディスプレイ」へ、または「クローン・ディスプレイ」から「拡張デスクトップ」へ、設定を直接変更できない場合があります。その場合は、一度「シングル・ディスプレイ」に変更してから、「拡張デスクトップ」または「クローン・ディスプレイ」への変更を行ってください。
- デュアルディスプレイ機能を使用中は、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの交換はできません。一度、本機の液晶ディスプレイのみの表示などに設定を変更してから、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイを設定しなおしてください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

3 「詳細設定」をクリック

4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック

5 「ディスプレイ」をクリック

6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「マルチ・ディスプレイ」をクリック

7 「ディスプレイ・モードの選択」欄で表示したい設定を選択する

選択できる表示先、表示機能の設定は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
シングル・ディスプレイ	「アクティブ・ディスプレイの選択」で選択した1つのディスプレイのみに表示
クローン・ディスプレイ	クローンモード
拡張デスクトップ	デュアルディスプレイ
コラージュ	複数のディスプレイを1つのディスプレイとして映像を表示

「コラージュ」を選択した場合は、続けて「有効」を選択してください。

8 「アクティブ・ディスプレイの選択」欄で、使用するディスプレイを選択する

一覧には「内蔵ディスプレイ」「PCモニター」などが表示されます。



メモ

- 「シングル・ディスプレイ」を選択した場合、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄には、1つのみディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「クローン・ディスプレイ」「拡張デスクトップ」「コラージュ」を選択した場合は、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄に、複数のディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「拡張デスクトップ」を選択した場合は、「ディスプレイの配置」でディスプレイアイコンをドラッグして、位置を調整することが可能です。
- 「コラージュ」を選択した場合は、「ディスプレイの配置」でディスプレイの位置を選択できます。また、「ベゼル補正」を「有効」に設定して、異なるディスプレイ間のベゼル（ディスプレイのガラス面の外側にあるフレーム部分）の幅分を「ベゼル補正值」に入力すると、連続した表示映像をより自然な状態で表示できます。

9 「適用」ボタンをクリック

設定の保存を確認するメッセージが表示されます。

10 「はい」ボタンをクリック

11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる

12 「OK」ボタンをクリック

以上で表示先、表示機能の設定は完了です。

■ キーボードで設定を切り替える

本機では、キーボードで表示先や表示機能の設定を切り替えることができます。設定を切り替えるには、次の方法があります。

【Fn】 + 【P】 を押す

【Fn】 + 【P】 を押すと、選択できる表示先、表示機能が画面上に表示されます。【Fn】 + 【P】 を押すごとに、表示先、表示機能が切り替わります。選択できる表示先、表示機能は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
PC 画面のみ	本機の液晶ディスプレイ
複製	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのクローンモード
拡張	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ
セカンド スクリーンのみ	外部ディスプレイ

ホットキー機能を使う

ホットキー機能を使用して、表示先や表示機能の設定の切り替えが行えます。



参照

ホットキー機能を使った画面出力先の切り替えについて
「画面の出力先を切り替える (P. 129)」

画面の出力先を切り替える

[021207-28]

本機は、キーボードから画面の出力先の切り替えを行うことができます。



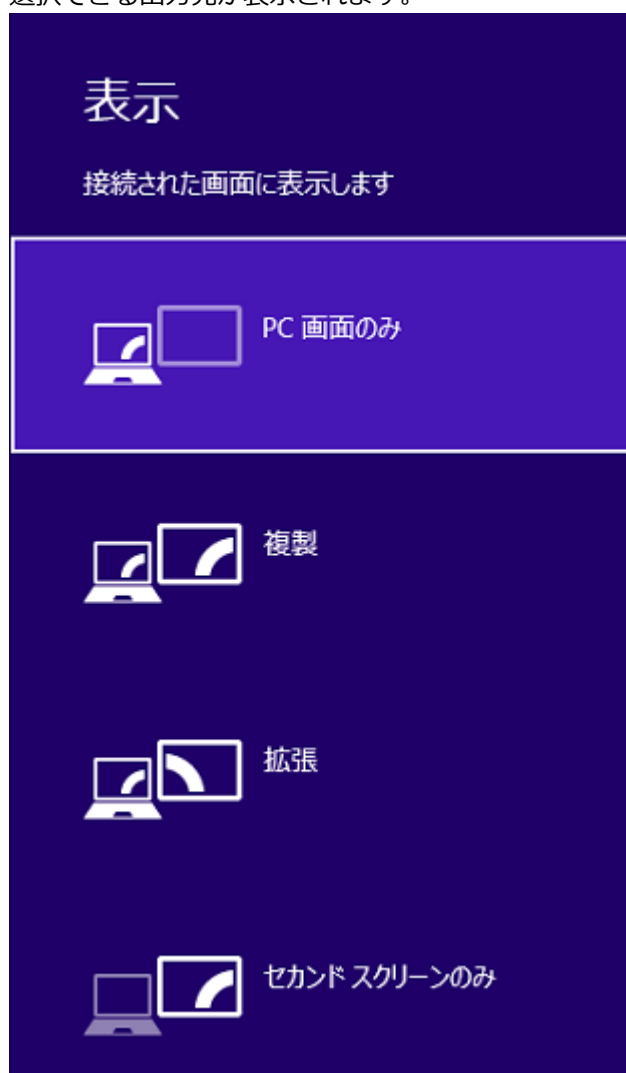
チェック

外部ディスプレイを接続していないときは、この操作を行わないでください。

1

【Fn】 + 【F3】 を押す

選択できる出力先が表示されます。



出力先	説明
PC 画面のみ	本機の液晶ディスプレイ
複製	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのクローンモード
拡張	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ
セカンド スクリーンのみ	外部ディスプレイ

2 【↑】【↓】で出力先を選択し、【Enter】を押す

画面の出力先が切り替わります。

ディスプレイに合わせた設定

[021208-28]

外部ディスプレイ使用時に、表示が適切でない場合やプラグ&プレイに対応していないディスプレイを使用しているときは、次の操作を行ってください。



チェック

プラグ&プレイに対応したディスプレイを使用しても、ディスプレイの情報が反映されない場合があります。その場合も、次の操作を行ってください。

お使いのディスプレイにドライバが用意されている場合

ディスプレイのマニュアルをご覧ください、ドライバのインストールを行ってください。

お使いのディスプレイにドライバが用意されていない場合

次の手順で設定を行ってください。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 外部ディスプレイのモニタアイコンをクリックし、「詳細設定」をクリック
- 4 「モニター」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック
「ドライバー ソフトウェアの更新」が表示されます。
- 6 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
- 7 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック
- 8 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外す
- 9 「製造元」と「モデル」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」欄で「(標準モニターの種類)」を選択し、「モデル」欄で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

10 「閉じる」 ボタンをクリック

11 「閉じる」 ボタンをクリック

12 「OK」 ボタンをクリック

13 「OK」 ボタンをクリック

以上でディスプレイの設定は完了です。

本機のWebカメラについて説明しています。

▶ Webカメラについて.....	134
-------------------	-----

Webカメラについて

[023602-28]

本機のWebカメラでは、動画・静止画の撮影や、Windowsの「カメラ」アプリとの連携を行えます。



参照

Webカメラの位置について

「各部の名称」 - 「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

使用上の注意

- 本機の画面回転機能で画面の表示方向を切り替えた場合、ご利用になるWebカメラ用ソフトウェアによっては、表示されるWebカメラの映像が正常な方向に回転しない場合があります。
そのような場合には、本体前面のWindowsアイコンが画面の下側に見える状態に戻してご使用ください。
- 蛍光灯等の強い光源にWebカメラを向けるとタッチガラス等で反射して映り込む場合があります。
そのような場合には、LCD(画面)の角度を調節してお使いください。

本機のハードディスクの使用上の注意などについて説明しています。

▶ 使用上の注意.....	136
---------------	-----

使用上の注意

[021301-28]

ハードディスクは非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- ハードディスクのデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
 - 過度な振動
 - 高熱
 - 落雷
- データの読み書き中には、少しの衝撃が故障の原因になる場合があります。
- ハードディスクが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- ハードディスクの領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。



参照

ドライブ構成の変更、および「ディスクの管理」の表示について
「トラブル解決Q&A」の「ハードディスク」-「複数のパーティションを利用したい (P. 406)」

- 本機のハードディスクには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この領域には、システム復旧時に必要なデータなどが格納されています。この領域にあるデータは削除しないでください。



チェック

ハードディスク内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。ハードディスクのメンテナンスについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

ハードディスクのデータを保護する

SMART機能

本機のハードディスクは、S.M.A.R.T. (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology) に対応しているため、ハードディスクの異常を検出し、ハードディスクの故障が予見された場合は警告をします。

ハードディスク・アクティブプロテクション・システム



チェック

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムは、工場出荷時にはインストールされていません。

落下や振動によるハードディスク損傷の危険性を軽減することができます。



参照

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムについて

「セキュリティ機能」の「[ハードディスク・アクティブプロテクション・システム \(P. 261\)](#)」

本機の光学ドライブの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

➤ 使用上の注意.....	139
➤ 外付け光学ドライブの取り付け.....	140
➤ 各部の名称と役割.....	141
➤ 使用できるディスク.....	142
➤ 読み込みと再生.....	143
➤ 書き込みとフォーマット.....	145
➤ 非常時のディスクの取り出し方.....	146

使用上の注意

[021601-28]

- 光学ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
 - アクセスランプの点灯中は、ディスクを絶対に取り出さないでください。データの破損や本機の故障の原因になります。
 - イジェクトボタンを押してからディスクトレイが排出されるまで数秒かかることがあります。
 - ディスクの信号面（文字などが印刷されていない面）に傷を付けないように注意してください。
 - 本機で、次のような形式や規格、異なった形やサイズのディスクは使用できません。無理に使用した場合、再生や作成ができないだけでなく、破損の原因になる場合があります。
 - AVCHD形式またはAVCREC形式のDVD
 - 名刺型、星型などの円形ではない、異形ディスク
 - 厚さが1.2mmを大きく越える、または大きく満たないディスク
 - 規格外に容量の大きな書き込みディスク
- また、特殊な形状のディスクや、ラベルがはってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。
- 光学ドライブにディスクをセットすると、「自動再生」画面が表示される場合があります。その場合は、実行したい操作をクリックしてください。実行したい操作がない場合は、ウィンドウの右上の  をクリックしてください。
 - ディスクに飲み物などをこぼした場合、そのディスクは使用しないでください。

光学ドライブを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、光学ドライブの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。

また、添付のDeviceLockで、光学ドライブに対し、読み込みや書き込みを制御することができます。



参照

- **I/O制限について**
「セキュリティ機能」の「[I/O制限 \(P. 223\)](#)」
- **DeviceLockについて**
「セキュリティ機能」の「[DeviceLock Lite \(P. 229\)](#)」

外付け光学ドライブの取り付け

[021608-28]

接続のしかた

外付け光学ドライブを選択した場合に添付される光学ドライブをお使いになるには、次の手順で本機に接続してください。



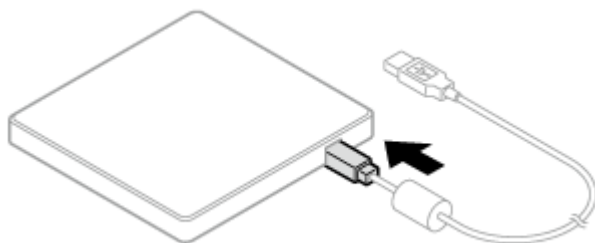
メモ

添付される光学ドライブはDVDスーパーマルチドライブ（PC-VP-BU51）です。

1

光学ドライブ背面に、光学ドライブ用ケーブルのBマークのある方のプラグを接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。



2

光学ドライブ用ケーブルを、本機のUSBコネクタに接続する

プラグの向きに注意して差し込んでください。



参照

USBコネクタ使用時の注意

[「USBコネクタ \(P. 188\)」](#)

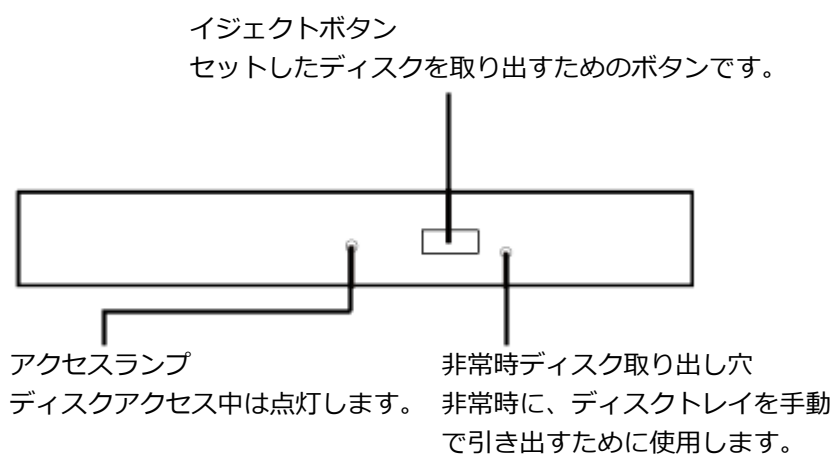
各部の名称と役割

[021602-28]



チェック

アクセスランプ点灯中は電源スイッチやイジェクトボタンを押さないでください。故障の原因になります。



メモ

イジェクトボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形状は、モデルによって図と多少異なることがあります。

また、モデルによっては、アクセスランプがないものもあります。

使用できるディスク

[021603-28]

お使いのモデルの光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

ディスク利用時の注意

- 記録用のDVDには、録画用（for Video）とデータ用（for Data）とがありますので、ご購入の際にはご注意ください。
- DVD-RAMには、カートリッジなしのディスクと、TYPE1（ディスク取り出し不可）、TYPE2（ディスク取り出し可能）、TYPE4（ディスク取り出し可能）の4種類があります。本機の光学ドライブでは、カートリッジなし、またはカートリッジからディスクを取り出せるタイプ（TYPE2、TYPE4）のみご利用になることができます。ご購入の際には、ご注意ください。
- 片面2.6GBのDVD-RAMおよび両面5.2GBのDVD-RAMは使用できません。
- 両面9.4GBのDVD-RAMは面ごとに4.7GBの記録／再生が可能です。同時に両面への記録／再生はできません。ディスクを取り出して、裏返して使用してください。

読み込みと再生

[021604-28]

本機の光学ドライブで、読み込みや再生ができるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

また、本機でDVDを再生するには、添付の「CyberLink PowerDVD」を使用してください。



チェック

- CyberLink PowerDVDは、工場出荷時にはインストールされていません。
- CyberLink PowerDVDでは音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Audioは再生できません。



参照

CyberLink PowerDVDについて

「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD (P. 287)」

ディスク再生時の注意

本機でDVD、CDの読み込みや再生を行うときは、次のことに注意してください。

- 本機で記録したDVD、CDを他の機器で使用する場合、フォーマット形式や装置の種類などにより使用できない場合があります。
- 他の機器で記録したDVD、CDは、ディスク、ドライブ、記録方式などの状況により、本機では再生および再生性能を保証できない場合があります。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や取り込みができないことがあります。
- 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示す  (CD規格マーク) マークの入ったディスクを使用してください。
- CD (Compact Disc) 規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。
- CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
- 本機では、リージョンコード (国別地域番号) が「ALL」または「2」が含まれているDVDのみ再生することができます。
- 本機で再生できるCDまたはDVDのディスクサイズは8センチと12センチです。
- DVDや動画を再生する際は、再生に使用するアプリケーション以外のソフトウェアを終了することをおすすめします。本機での動画再生には高い処理能力が必要とされ、お使いのモデルや設定によっては、複数のアプリケーションを実行している状態で動画再生を行うと、映像の乱れやコマ落ちが発生する場合があります。詳しくは、「トラブル解決Q&A」の「表示 (P. 345)」をご覧ください。
- 「ECOモード機能」で、省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDや動画の再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。



参照

ECOモード機能について

「省電力機能」の「[ECOモード機能 \(P. 53\)](#)」

- 本機でDVDを再生する場合、次のことに注意してください。
 - デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
 - DVDの再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音飛びが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。DVDの再生中は、再生画面の上に他のウィンドウを重ねないでください。
 - DVDの再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生するDVDの種類によっては、コマ落ちが発生する場合があります。

書き込みとフォーマット

[021605-28]

DVDスーパーマルチドライブモデルで、DVD、CDへの書き込み、書き換え、およびフォーマットをするには、「Roxio Creator LJB」を使用してください。



参照

Roxio Creator LJBについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[Roxio Creator LJB \(P. 283\)](#)」



メモ

DVD、CDへの書き込みはWindowsの機能でも行うことができます。選択可能な各フォーマットの説明についてはWindowsのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 書き込みに失敗したDVD、CDは読み込みできなくなります。書き込みに失敗したディスク、およびディスクに記録されていたデータの補償はできませんのでご注意ください。
- データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどうかを確認してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他の光学ドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Videoなどの複製や改変を行う場合、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製などに関する注意事項に従ってください。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽CDの作成ができないことがあります。

非常時のディスクの取り出し方

[021606-28]

停電やソフトウェアの異常動作などにより、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、非常時ディスク取り出し穴に太さ1.3mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。



チェック

- 強制的にディスクを取り出す場合は、本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 光学ドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこないといった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使用して取り出さないようにしてください。

SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット

[022700-28]

SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

- 使用上の注意..... 148
- セットのしかた／取り出し方..... 150

使用上の注意

[022701-28]

- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグを行わないでください。各メモリーカード対応機器との互換性や性能などで問題が生じる場合があります。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所ではSDメモリーカードを使わないでください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、それぞれのSDメモリーカード製品に添付のマニュアルや取扱説明などの指示に従ってください。
- 本機やSDメモリーカードの不具合により、音楽データの録音ができなかったり、データの破損、消去が起きた場合、データの内容の補償はいたしかねます。
- お客様が画像、音楽、データなどを記録（録画・録音などを含む）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 大切なファイルはコピーして、バックアップを取ることをおすすめします。
- 本機のハードディスク以外からSDメモリーカードにデータを保存する場合は、一度、本機のハードディスクにデータを保存し、そこからSDメモリーカードにデータを保存してください。
- データの保存中にスリープ／休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- 本機がスリープ／休止状態にあるときは、メモリーカードを抜き挿ししないでください。また、スリープ／休止状態から復帰する際は、Windowsのサインイン画面またはデスクトップが表示されるまでメモリーカードを抜き挿ししないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になる場合があります。
- すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- さまざまな規格のメディアがありますので、本機のSD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットで使えるメディアかどうかや、メディアの使用方法をお確かめになり、お使いください。
- メモリーカードの端子面が汚れていると、メモリーカードを認識しなかったり、データの読み込み、書き出しができないことがあります。端子面が汚れた場合は、メモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。処置してください。
- メモリーカードにデータを保存中、または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。
- DVD、CDを再生中にメモリーカードへの読み書きを行ったり、メモリーカード内の音声や動画ファイルを再生中にファイルのコピーを行うと、音声や動画がとぎれるなどの影響が出る場合があります。

SDメモリーカードを使用するときの注意

- SDメモリーカードは、標準フォーマットとして、それぞれ「SDメモリーカード」規格、「SDHCメモリーカード」規格、「SDXCメモリーカード」規格に準拠したフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。フォーマットが必要な場合は、デジタルカメラなどのSDメモリーカード対応機器か、SD規格対応フォーマット機能を搭載したアプリなどでフォーマットを行ってください。デジタルカメラなどでのフォーマット方法については、ご使用の機器などに添付のマニュアルをご覧ください。
- 「miniSDカード」「miniSDHCカード」「microSDカード」「microSDHCカード」を使用するときは、必ず使用するメモリーカードに対応した、SD/SDHC変換アダプタに装着してからセットしてください。詳しくはお使いのメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 「microSDカード」「microSDHCカード」をご使用の際、miniSD/miniSDHC変換アダプタに装着し、さらにSD/SDHC変換アダプタに装着しての動作は保証しておりません。
- 本機では、2Gバイトまでの「SDメモリーカード」、32Gバイトまでの「SDHCメモリーカード」および128Gバイトまでの「SDXCメモリーカード」で動作確認を行っています。2Gバイトを超える容量の「SDメモリーカード」、32G

- バイトを超える容量の「SDHCメモリーカード」および128Gバイトを超える容量の「SDXCメモリーカード」での動作は保証しておりません。
- 本機では、「マルチメディアカード（MMC）」には対応していません。
- 本機は、SDIOには対応していません。
- 裏面に通電性（電気を通す性質）がある金属が使用されているSDメモリーカードや変換アダプタは使用しないでください。本機内部のコネクタと接触し本機やメモリーカードの故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- 高速転送規格「UHS-II」はサポートしておりません。また、SDカード変換アダプタを利用した場合、高速転送規格「UHS-I」および「UHS-II」はサポートしておりません。

SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。

また、添付のDeviceLockで、SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットへの読み込みや書き込みを制限することができます。



参照

- **I/O制限について**
「セキュリティ機能」の「[I/O制限 \(P. 223\)](#)」
- **DeviceLockについて**
「セキュリティ機能」の「[DeviceLock Lite \(P. 229\)](#)」

セットのしかた／取り出し方

[022702-28]

セットのしかた

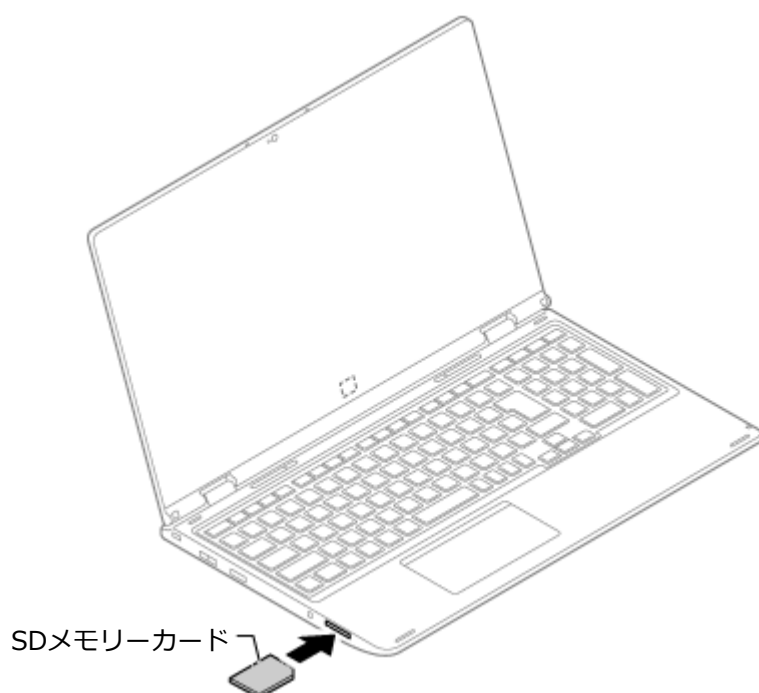


チェック

- ダミーカードがセットされている場合は、セットをする前に「取り出し方」をご覧ください。ダミーカードを取り出してください。
- 「miniSDカード」、「miniSDHCカード」、「microSDカード」、および「microSDHCカード」も使用できます。ただしSD/SDHC変換アダプタが必要になります。詳しくは、「[使用上の注意 \(P. 148\)](#)」をご覧ください。
- SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。

1 SDメモリーカードを向きに注意して、SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。



取り外し方

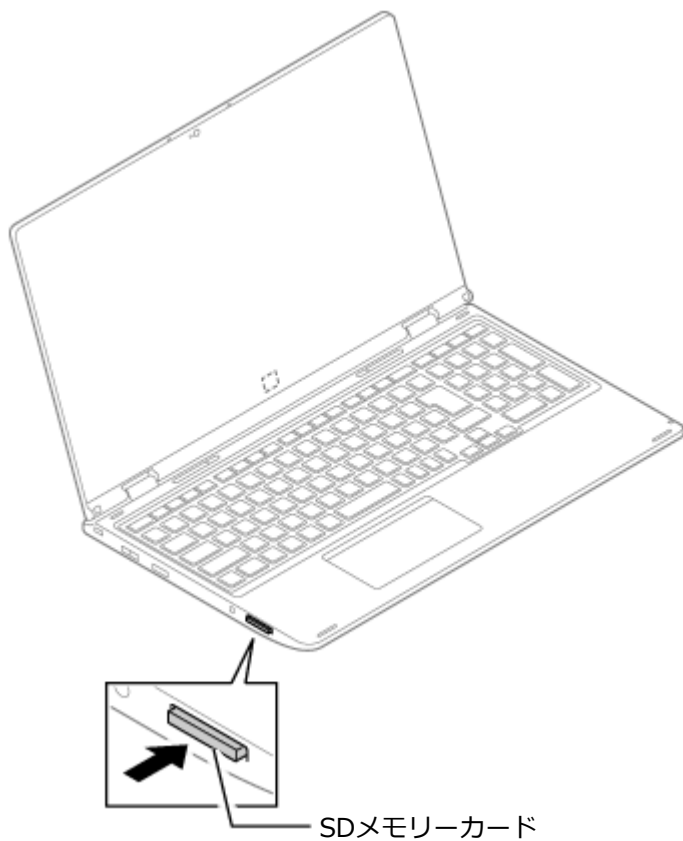
1 タスク バーの通知領域の をクリックし、 または をクリック

2 表示される「×××××の取り出し」から、取り外す周辺機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。
表示される「××××の取り出し」に取り外す周辺機器がない場合は手順3に進んでください

3 SDメモリーカードを押す

SDメモリーカードが飛び出します。



4 SDメモリーカードを水平に引き抜く

本機の音量の調節や、サウンド機能に関する設定などについて説明しています。

- ▶ 音量の調節. 153
- ▶ マイクの設定. 155
- ▶ Dolby® Digital Plus Home Theater. 156

音量の調節

[021702-28]

音量ミキサーを使う

Windowsの「音量ミキサー」で音量を調節することができます。

1 タスク バーの通知領域の （音量）をクリック

2 表示されたウィンドウから「ミキサー」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

3 調節したいデバイスやアプリケーションのスライドで音量を調節する



参照

音量ミキサーについて
Windowsのヘルプ

音量調整ボタンで調節する

+を押すと音量を大きく、-を押すと音量を小さく調節することができます。

キーボードで調節する

【Fn】 + 【F11】を押すと音量を大きく、【Fn】 + 【F10】を押すと音量を小さく調節することができます。

音声のオン／オフ（ミュート機能）

【Fn】 + 【F1】を押すと、音声のオン／オフを切り替えることができます。



参照

【Fn】について
「キーボード」の「[キーの使い方 \(P. 82\)](#)」

録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。

1 マイクなどの録音機器を接続する

2 タスク バーの通知領域の  (音量) を右クリックし、表示されたメニューから「録音デバイス」をクリック

3 使用する録音デバイスをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック



チェック

- 使用する録音デバイスが表示されていない場合は「次のオーディオ録音デバイスがインストールされています」の枠内を右クリックし、「無効なデバイスの表示」にチェックを入れ、表示されたデバイスを有効にしてください。
- 録音デバイスが複数ある場合は、使用するデバイスをクリックし、「既定値に設定」ボタンをクリックしてください。

4 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で録音音量を調節する

5 「OK」ボタンをクリック

6 「OK」ボタンをクリック



チェック

「内蔵マイクのプロパティ」や「ステレオミキサーのプロパティ」の「聴く」タブで「このデバイスを聴く」にチェックを入れないでください。チェックを入れると、常時ハウリングが発生します。

マイクの設定

[021706-28]

「Realtek オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek HD オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、ビームフォーミング機能やエコーの軽減、遠方音声ピックアップ機能、タイピング音抑制機能、音声識別の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行ってください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「Realtek HD オーディオマネージャ」をクリック

「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。

4 「マイク」タブをクリック

5 設定する機能にチェックを付ける

設定できる機能には次のものがあります。

機能	説明
ビームフォーミング (BF) (指向性録音)	ステレオマイク使用時に、マイクを向けていない方向からの雑音を軽減します。
音響エコー除去 (AEC)	録音時にスピーカが引き起こすエコーを軽減します。
遠方音声ピックアップ (FFP)	遠くの音声を拾います。 「遠方音声ピックアップ」を設定すると、「ビームフォーミング（指向性録音）」のチェックが外れます。
タイピング音抑制 (KS)	キーボードを叩く音を抑制します。
マイク効果を無効にする	上記 4 つの設定を無効にします。
音声識別	音声認識機能が有効な時に設定すると、音声を認識しやすくなります。この機能を選択すると、全てのマイク効果が無効になります。

6 設定が完了したら「OK」ボタンをクリック

以上でマイクの設定は完了です。

Dolby® Digital Plus Home Theater

[021707-28]

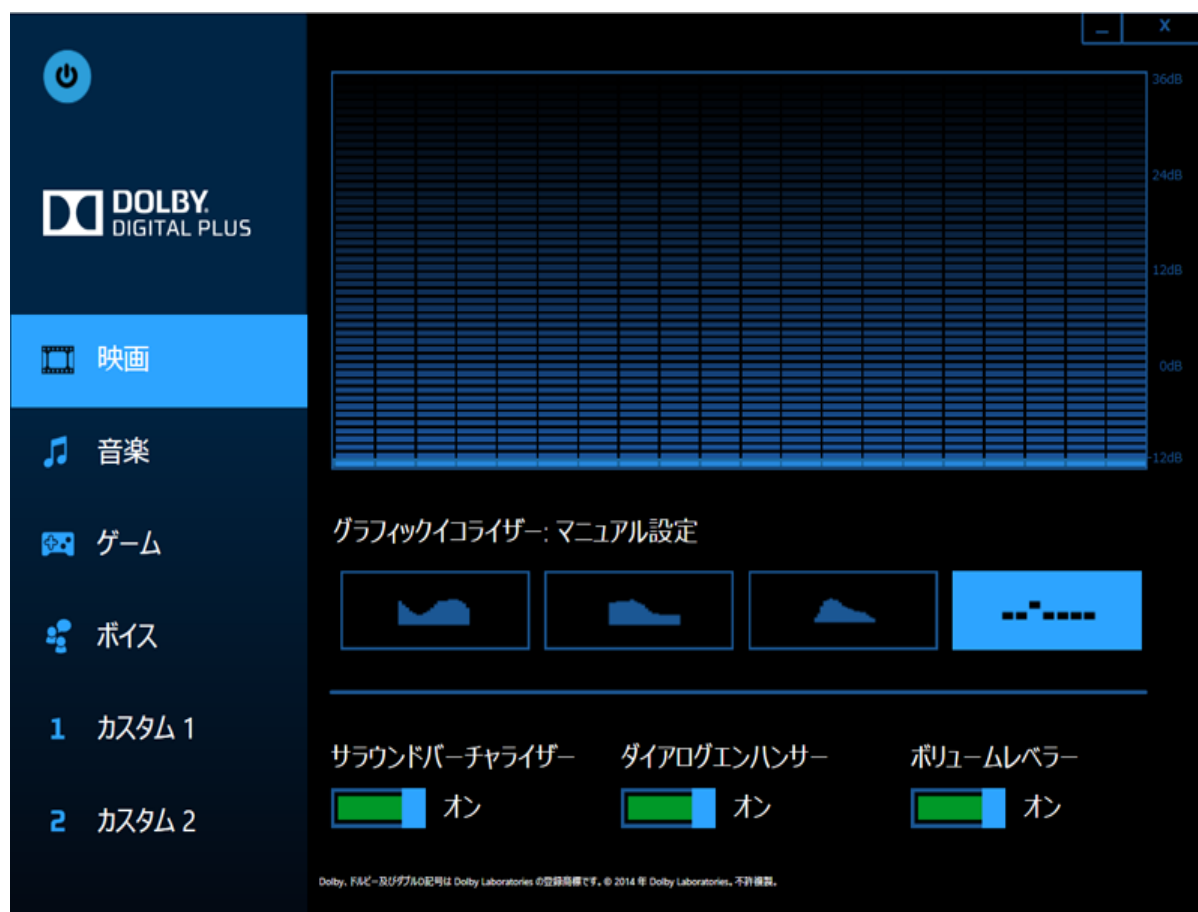
Dolby® Digital Plus Home Theaterは、PC上で明瞭な音声によるサラウンドサウンド体験を実現する機能です。ヘッドフォンや内蔵スピーカ、外部スピーカ、ホームシアターシステムで動作します。音量の小ささ、耳障りな雑音やノイズなど、さまざまな問題を解消します。

Dolby® Digital Plus Home Theaterを使う

1 アプリ画面 (P. 11)を表示する

2 アプリの一覧で「Dolby Digital Plus」をクリック

「Dolby Digital Plus Profile Editor」画面が表示されます。



設定できる項目には次のものがあります。

ON/OFF	 または  をクリックすると、Dolby® Digital Plus Home Theater全体のオン/オフを切り替えることができます。
プリセット	プリセットの選択ができます。「映画」、「音楽」、「ゲーム」、「ボイス」、「カスタム1」、「カスタム2」から選択でき、それぞれに最適な音響特性を設定されています。 それぞれの設定を変更すると、プリセット名の横に  が表示されます。  をクリックすると、デフォルト設定にもどります。

プリセット設定		
	インテリジェントイコライザー	出力音声を監視しながら、ユーザーが選択したプリセットに合わせて自動調整し、安定した音質を実現します。
	グラフィックイコライザー	10バンドのコントローラーで好み通りの音質に調整できます。
	サラウンドバーチャライザー	バーチャルサラウンド効果を実現します。
	ダイアログエンハンサー	セリフや会話などを聞き取りやすくします。
	ボリュームレベラー	音量をユーザーが設定した音量レベルに維持します。

本機のLAN（ローカルエリアネットワーク）機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

➤ 本機を安全にネットワークに接続するために.	159
➤ 使用上の注意.	161
➤ LANへの接続.	162
➤ LAN機能の設定.	164

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-28]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクション センター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[マカフィー リブセーフ \(P. 297\)](#)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続ただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。



チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

使用上の注意

[021802-28]

LANに接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LANケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中にLANケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、Windows を再起動してください。
- LAN回線を接続してネットワーク通信をする場合は、本機にACアダプタを接続して使用するようにしてください。バッテリーのみで使用すると、使用時間が短くなります。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークの通信中にはスリープ状態または休止状態にしないでください。
- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。
あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE（米国電気電子技術者協会）で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、LANまたは無線LANのユニバーサル管理アドレスを確認することができます。

コマンド プロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押してください。

コマンド	確認方法
net config workstation	アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク（ワークステーション）」という項目の（ ）内に表示されます。
ipconfig /all	アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。

LANの設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などが必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、当社製品を使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

接続方法

本機を有線ネットワークに接続するには、ご購入時に選択した場合に添付されるUSB-LAN変換アダプタと別売のLANケーブルが必要です。LANケーブルは、10BASE-Tで接続するにはカテゴリ3以上、100BASE-TXで接続するにはカテゴリ5以上、1000BASE-Tで接続するにはエンハンスドカテゴリ5以上のLANケーブルを使用してください。また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコネクタを増やす必要があります。LANケーブルの接続は次の手順で行います。



チェック

- USB-LAN変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されますが、別途購入することもできます。
- USB-LAN変換アダプタは、本機のUSBポートに直接接続してください。USBハブでは使用できません。
- 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定とLANケーブルの接続を行ってください。
- 搭載されているLANアダプタは、接続先の機器との通信速度（1000Mbps/100Mbps/10Mbps）を自動検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モードを半二重に設定してください。
- オートネゴシエーションのみサポートしているネットワーク機器でリンク速度を固定して接続する場合、「速度とデュプレックス/スピードと二重」の設定は「ハーフデュプレックス/半二重」に設定してください。「フルデュプレックス/全二重」に設定すると、通信速度が異常に遅かったり、通信ができないなどの問題が発生します。

1

本機の電源を切る

2

本機のUSBコネクタにUSB-LAN変換アダプタを接続する



チェック

USB-LAN変換アダプタは、USBコネクタにしっかりと取り付けてください。



参照

USBコネクタの位置

「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

3 LANケーブルをUSB-LAN変換アダプタに接続する



チェック

LANケーブルは、USB-LAN変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

4 ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

5 本機の電源を入れる

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。



参照

必要な構成要素の詳細について

Windowsのヘルプの中にあるネットワーク関連の項目

ネットワーク接続のセットアップ



チェック

工場出荷時は、ネットワークプロトコル（TCP/IP）が設定されています。

1

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2

「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

3

左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック

4

「イーサネット」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

5

「ネットワーク」タブで必要な構成要素の設定をする



メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

6

「OK」ボタンをクリック

7

 をクリック

8

 をクリック

以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。
続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定します。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック

3 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」欄の「設定の変更」をクリック

4 「コンピューター名」タブの「変更」ボタンをクリック

5 「コンピューター名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に必要な情報を入力する



メモ

入力する情報がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

6 「OK」ボタンをクリック

確認のメッセージが表示されます。

7 「OK」ボタンをクリック

8 「閉じる」ボタンをクリック

9 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動する」ボタンをクリック

本機が再起動します。

以上でLANの設定は完了です。

本機の無線LAN機能の概要について説明しています。

- 概要. 167
- 本機を安全にネットワークに接続するために. 169
- 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 171
- 使用上の注意. 173
- 無線LAN機能のオン／オフ. 175
- 無線LANの設定と接続. 178
- 無線LANに関する用語一覧. 185

無線LAN機能でできること

無線LAN機能を使用することで、次のようなことができます。

無線LAN対応周辺機器との無線接続

本機と無線LANに対応した別売の周辺機器を使用すると、ケーブルで接続せずにLANを利用できます。例えば、無線LANに対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続できます。

他の無線LAN対応コンピュータとの無線通信

本機と無線LANに対応した他のコンピュータとの間で、ケーブル接続やメモリーカードなどの媒体を使用せずに、ファイルのコピーなどが行えます。



チェック

- 無線LAN機能は、周囲にあるIEEE802.11a (5GHz)、IEEE802.11b (2.4GHz)、IEEE802.11g (2.4GHz)、IEEE802.11n (2.4/5GHz) およびIEEE802.11ac(5GHz) (IEEE802.11ac搭載無線LANモデルの場合) に対応した無線LAN機器を検出し、このうち1台を選択して接続できます。
- 40MHz、80MHzの帯域幅を利用した無線LAN通信を行うには、接続先の無線LAN機器もそれらの帯域幅に対応している必要があります。
- IEEE802.11n (2.4/5GHz) 規格、またはIEEE802.11ac(5GHz)規格による無線通信を行う際は、暗号化方式をAESに設定してください。それ以外の方式に設定した場合、これらの規格が利用できません。
- WPA - エンタープライズ、WPA2 - エンタープライズまたは認証機能 (IEEE802.1X) を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

無線LAN機能使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線LAN対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、無線LAN対応機器同士は近い距離でを使用することをおすすめします。
- 2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を同時に使用した場合、2.4GHz無線LAN対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。
- Bluetooth機能やIntel® WiDiと無線LAN機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。
- 2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器を同時に使用した場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。同じ周波数帯を利用する機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイントなどが必要です。

- 医療機関で使用する場合には、医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認の上、スリープ状態または休止状態を使用してください。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能のオン／オフ (P. 175)」

無線LAN対応製品との接続

無線LAN対応製品

本製品と接続できる無線LAN対応製品には、無線LAN内蔵コンピュータ、無線LANアクセスポイント、無線LAN周辺機器などがあります。

無線LAN機器同士の接続互換性については、業界団体Wi-Fi Alliance による「Wi-Fi®」認定を取得している、同じ規格の製品をご購入されることをおすすめします。

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-28]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクション センター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 297)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続ただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。



チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

[021902-28]

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者によって、電波を故意に傍受され、

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者によって、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

■ 本機で設定できるセキュリティ

盗聴（傍受）を防ぐ

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線LAN通信データを暗号化できるので、通信の盗聴や、関係のないコンピュータや機器からの接続を防ぐことができます。WEP機能には64bitWEP対応、128bitWEP対応、152bitWEP対応のものがあり、本機の無線LAN機能は、64bitWEPと128bitWEPに対応しています。ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。



チェック

WEP機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器もWEP機能に対応している必要があります。

不正アクセスを防ぐ

- 無線LANアクセスポイントに任意のネットワーク名（SSID）を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、同じSSIDを設定していない機器でも、そのネットワークがどんなSSIDを使用しているかは検出できてしまうため、SSIDを設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、無線LANアクセスポイント側でSSIDを通知しないようにSSIDの隠ぺいの設定をする必要があります。
- 接続するコンピュータなどのMACアドレス（ネットワークカードが持っている固有の番号）を無線LANアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外は無線LANアクセスポイントに接続できなくなります（MACアドレスフィルタリング）。

より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Allianceが提唱するWPA（Wi-Fi Protected Access）やWPA2機能を利用します。IEEE802.1X/EAP（Extensible Authentication Protocol）規格によるユーザー認証、WEP機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号化方式TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）やAES（Advanced Encryption Standard）を使用することで、より高度なセキュリティ設定が行えます。



チェック

WPA機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA機能をサポートしている必要があります。WPA2機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA2機能をサポートしている必要があります。

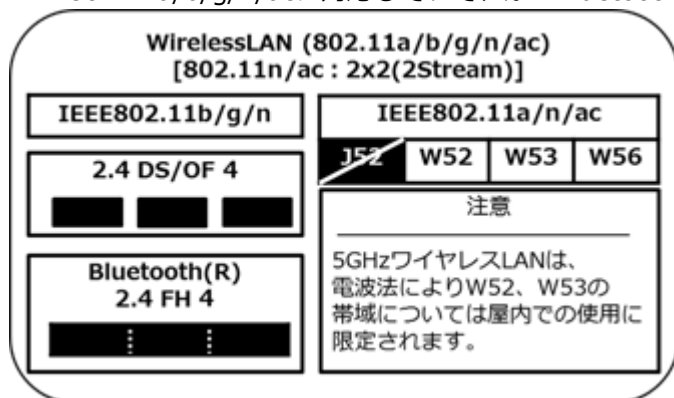
使用上の注意

[021903-28]

- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式とOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- 本製品には、5GHz帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz帯域（5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz）を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
 - W52 : Ch36（5180MHz）,Ch40（5200MHz）,Ch44（5220MHz）,Ch48（5240MHz）
 - W53 : Ch52（5260MHz）,Ch56（5280MHz）,Ch60（5300MHz）,Ch64（5320MHz）
 - W56 : Ch100（5500MHz）,Ch104（5520MHz）,Ch108（5540MHz）,Ch112（5560MHz）,Ch116（5580MHz）,Ch120（5600MHz）,Ch124（5620MHz）,Ch128（5640MHz）,Ch132（5660MHz）,Ch136（5680MHz）,Ch140（5700MHz）
- W52、W53無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。
分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。
また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入／切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
 - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。

■ ワイヤレス注意ラベル（本体底面）

- IEEE802.11a/b/g/n/acに対応していて、かつBluetoothにも対応している場合



無線LAN機能のオン／オフ

[021904-28]

無線LAN機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- すべてのワイヤレス デバイスを切り替える. 175
- 無線LAN機能のみを切り替える. 177



メモ

- オン／オフの設定は、電源を切った後も保存されます。
- 外付け接続した無線LANモジュールの無線LAN機能のオン／オフにも対応します。



チェック

- 無線LAN機能のオン／オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。
- 他の機器に影響を与える場合やワイヤレス機能を使用しない場合は、ワイヤレス機能をオフにすることをおすすめします。
- BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスそのものを無効にしている場合、これらの方法で無線LAN機能を有効にすることはできません。BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスを有効に設定してから操作を行ってください。
- 無線LAN機能のオン／オフは、次の手順で確認できます。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」を確認する



参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 231)」および「設定項目一覧 (P. 236)」

すべてのワイヤレス デバイスを切り替える

無線LAN機能を含むすべてのワイヤレス機能のオン／オフを切り替えることができます。



チェック

- 無線LAN機能を含むワイヤレス機能をオンにしたときに、Bluetoothのドライバのインストールが始まった場合は、インストールが完了するまでお待ちください。また、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。
- 無線LAN機能を含むワイヤレス機能のオン/オフの際、Bluetoothのドライバの組み込み/取り外しに時間がかかる場合があります。
再度、無線LAN機能を含むワイヤレス機能のオン/オフを行う場合は、Bluetooth機能の切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。Bluetooth機能の切り替えが完了しないうちに、連続してオン/オフの操作を行わないようにしてください。

ワイヤレススイッチで切り替える

本機のワイヤレススイッチで、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



メモ

ワイヤレススイッチでオンにしても、無線LANまたはBluetoothが機能しない場合は、時間をおいてオフ/オンを切り替えてみてください。



参照

ワイヤレススイッチの位置について

「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

「機内モード」で切り替える

Windows標準の機能を使って、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



チェック

機内モード中でも、無線LAN機能を個別にオンにしておくことができます。

●ワイヤレス機能をオフにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「機内モード」をオンにする

●ワイヤレス機能をオンにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「機内モード」をオフにする

無線LAN機能のみを切り替える

無線LAN機能のみのオン／オフを切り替えることができます。

無線LAN機能のみを切り替える

Windows標準の機能を使って、無線LAN機能のみのオン／オフを切り替えることができます。

●無線LAN機能をオフにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」 をオフにする

●無線LAN機能をオンにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」 をオンにする

無線LANの設定と接続

[021905-28]

➤ 無線LANの設定をする.	179
➤ セキュリティとデータの暗号化について.	182
➤ 設定済みの接続先に接続する.	183
➤ 接続を切断する.	184



メモ

- セキュリティ設定や周囲の無線環境によっては、接続までに時間がかかる場合や、通信速度が低下する場合があります。
- WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線LANアクセスポイントと接続する場合、PINの入力や、ルーターのボタンを押すことを要求する画面が表示されることがあります。
これらの操作でも無線LANアクセスポイントと接続できますが、機器の組み合わせによっては接続に失敗することもありますので、その場合はセキュリティ キーを入力して接続を行ってください。
- WPSで接続する場合は、セキュリティが自動的に設定されます。
設定されたセキュリティについては、無線LANアクセスポイントの設定画面かマニュアルなどで確認してください。
- PINの記載箇所については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。
- IEEE802.11n規格による無線LAN通信において、2.4GHz帯のチャンネルを40MHz幅で接続する場合は、次の手順で設定を確認してください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック

3 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック

4 「詳細設定」タブをクリック

5 「プロパティ」欄で「2.4 GHz 用 802.11n チャンネル幅」を選択する

6 「値」欄が「自動」になっているかを確認する

「自動」になっていない場合は、▼をクリックして「自動」を選択してください。

7 「OK」ボタンをクリック



メモ

- IEEE802.11ac(5GHz)モード（IEEE802.11ac搭載無線LANモデルの場合）による通信を行うには、次の手順で設定を行ってください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック

3 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック

4 「詳細設定」タブをクリック

5 「プロパティ」欄で「HT モード」を選択する

6 「値」欄の▼をクリックし、「VHT モード」を選択する

7 「OK」ボタンをクリック

- 無線LANユーティリティを使用することで、Windows標準の無線LAN機能でサポートしていない認証機能（LEAPなど）をご利用いただけます。
無線LANユーティリティは、NECの「ビジネスPC」サイト（<http://jpn.nec.com/products/bizpc/>）より提供予定です。次の手順でダウンロードしてください。

1 NECの「ビジネスPC」サイト（<http://jpn.nec.com/products/bizpc/>）で「サポート情報（ダウンロード）」をクリック

2 「ご使用中のお客様」欄の「ドライバ・ソフトウェア」をクリック

「モジュール、ドライバ」欄で該当するユーティリティをダウンロードしてください。

- Intel® WiDiをインストールすると、Windows標準の無線LAN機能でサポートしていない認証機能（LEAPなど）が同時にインストールされますが、本機能はCCX認証を取得しておりません。

無線LANの設定をする

接続する機器によって、設定手順が異なります。お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

ネットワーク名（SSID）を通知する無線LANアクセスポイントに接続する場合

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



参照

無線LAN機能のオン/オフについて
「無線LAN機能のオン/オフ (P. 175)」

2 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

3 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。
- ネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「ネットワーク名 (SSID) を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合 (P. 180)」の手順で設定を行ってください。

4 「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認して、「接続」ボタンをクリック



メモ

自動的に接続する設定は、後から変更できます。

5 「セキュリティ キー」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「次へ」ボタンをクリック

これ以降は画面の指示に従って操作してください。



チェック

「閉じる」ボタンが表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

これで設定は完了です。

ネットワーク名 (SSID) を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン/オフ」をご覧ください、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



参照

無線LAN機能のオン/オフについて

「無線LAN機能のオン/オフ (P. 175)」

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

5 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」 ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

6 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付ける

7 接続先の無線LANアクセスポイントにあわせて設定を行う

- 「ネットワーク名」
接続先の無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力します。
- 「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」
接続先の無線LANアクセスポイントの設定にあわせて選択します。
セキュリティと暗号化の種類については、「[セキュリティとデータの暗号化について \(P. 182\)](#)」をご覧ください。
- 「セキュリティ キー」
接続先の無線LANアクセスポイントに設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力します。
- 「この接続を自動的に開始します」
チェックを付けると、接続先が通信可能範囲にある場合、自動で接続するように設定されます。

8 「次へ」 ボタンをクリック

9 「正常に <ネットワーク名 (SSID) > を追加しました」と表示されたら、次の手順を行う

- 設定を変更しない場合
手順10に進んでください。
- 設定を変更する場合
「接続の設定を変更します」をクリックし、表示される画面で設定を行ってください。
設定が完了したら「OK」 ボタンをクリックし、手順10へ進んでください。



チェック

接続先の無線LANアクセスポイントにWEPキーが設定されており、暗号化キー番号（キーインデックス）が「1」以外に設定されている場合は、ここで設定を変更する必要があります。「接続の設定を変更します」をクリックし、「セキュリティ」タブの「キー インデックス」で設定を行ってください。

10 「閉じる」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

手順7で「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けなかった場合は、「[設定済みの接続先に接続する \(P. 183\)](#)」をご覧ください、手動で接続を行ってください。

セキュリティとデータの暗号化について

セキュリティと暗号化の方式は、無線LANアクセスポイントの設定にあわせる必要があります。本機の無線LAN機能で設定できる、セキュリティと暗号化の方式は次の通りです。

選択できるセキュリティと暗号化の方式

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし（オープン システム）	なし、WEP
WPA2 - パーソナル	TKIP、AES
WPA - パーソナル	
WPA2 - エンタープライズ	
WPA - エンタープライズ	
802.1X	WEP



メモ

- セキュリティは設定することを強く推奨します。セキュリティの設定を行わない場合は、「[無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 \(P. 171\)](#)」の内容をご確認の上、使用してください。
- WPA2 - エンタープライズ、WPA - エンタープライズ、および認証機能（IEEE802.1X）を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

ネットワーク セキュリティ キー

データの暗号化を行う場合、ネットワーク セキュリティ キーを設定します。

ネットワーク セキュリティ キーは、通信を行う無線LANアクセスポイントと同じ設定にします。

暗号化の方式と、ネットワーク セキュリティ キーとして使用できる文字種と文字数は以下の通りです。

●WEPの場合

キーの長さが長い（bit数が大きい）ほど、通信内容の解読がされにくくなり、安全性が高くなります。

入力形式	長さ	キーに使用する文字	説明
ASCIIテキスト	64bit	半角英数字で5文字	相手の機器が64bit暗号キーに対応している場合に使えます。64bitのうち40bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。
16進数		16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で10文字	
ASCIIテキスト	128bit	半角英数字で13文字	相手の機器が128bit暗号キーに対応している場合に使えます。128bitのうち104bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。
16進数		16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で26文字	

●WPA - パーソナル（TKIP、AES）またはWPA2 - パーソナル（TKIP、AES）の場合

入力されたネットワークセキュリティキーを元にして、一定時間ごとにキー自体が自動更新されるため、WEPよりも安全性が高くなります。

入力形式	キーに使用する文字
ASCIIテキスト	半角英数字で8文字以上63文字以下
16進数	16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で64文字



チェック

WPA - パーソナルやWPA2 - パーソナルによる暗号化を使用するには、接続する相手の機器も同じセキュリティ機能に対応している必要があります。

■ 設定済みの接続先に接続する

設定済みの接続先に接続するには、次の手順で行います。

1

無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン/オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



参照

無線LAN機能のオン/オフについて
「無線LAN機能のオン/オフ (P. 175)」

2

タスクバーの通知領域のネットワークアイコン（）をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。



チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

3 接続先をクリックし、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

接続を切断する

接続中のネットワーク接続を切断するには、次の手順で行います。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン（）をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。



チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

2 切断する接続先をクリックし、「切断」ボタンをクリック



メモ

現在接続中の接続先には「接続済み」と表示されています。



チェック

接続の状態の表示は、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

以上で切断は完了です。

無線LANに関する用語一覧

[021913-28]

ここでは無線LANに関する用語について説明します。無線LANの設定をするときにご覧になると便利です。

用語	説明
AES	Advanced Encryption Standardの略。 米国政府内での情報処理用に採用された「次世代標準暗号化方式」のこと。規定の基準（暗号強度、処理速度など）を満足しており、その仕様も公開されていることから、広い分野での利用が行われている。IEEE802.11iの暗号化方式の1つに採用されている。
ANYプローブ応答禁止	SSIDの問い合わせを拒否する設定。
ANY接続拒否	SSIDを「ANY」にセットした無線LAN端末もしくはSSIDに任意の文字列を入れた端末からの接続を拒否する設定。
EAP	Extensible Authentication Protocolの略。 任意の認証機能を用いるための仕様。ダイヤルアップで用いられるPPP（Point-to-Point Protocol）の拡張として開発された。 ユーザー名・パスワード以外にもスマートカード（ICカード）やデジタル証明書などさまざまな認証方式をサポートできる。EAP-TLS、EAP-TTLSなどがある。
EAP-TLS	Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの1つで、利用にはクライアント証明書とサーバ証明書が必要となる。
EAP-TTLS	Tunneled Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの1つで、EAP-TLSとは異なり、クライアント証明書は必要とせず、代わりにユーザー名・パスワードが用いられる。
IEEE802.11a	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11b	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大11Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11g	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11i	IEEEが標準化を進めている「無線LAN用セキュリティ規格」認証方式や暗号化方式、暗号化キーの取り扱いなどについて規定している。
IEEE802.11n	IEEEが標準化した2.4GHz、5GHz帯のいずれかの電波を使い最大600Mbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11ac	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大6.93Gbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.1X	無線LAN上で認証と動的なキーの生成と配送を行う仕組み。 IEEE標準。有線LANでポートアクセス管理を行うためにも用いられる。EAPとRADIUSを用いる。

MACアドレスフィルタリング	無線LAN端末固有のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに設定することで、無線LAN端末を無線LANアクセスポイントに接続するか否かを制御するセキュリティ方式。															
PSK	Pre-Shared Keyの略。 暗号化キーを生成するために用いられる共有（秘密）鍵のこと。この鍵を用いて直接暗号化を行うものではなく、暗号鍵を生成するためのものであることから“事前共有鍵”と呼ばれる。PSKとは、事前共有鍵を用いる認証方式を表す場合がある。															
RADIUS	Remote Authentication Dial-in User Serviceの略。 ネットワークアクセス全般に対する認証、アクセス承認、課金管理を行うプロトコル。															
SSID	Service Set Identifierの略。 無線LANを構成する無線LANアクセスポイントと端末に付けられた識別子のこと。無線LANをグループ化するために用いられる。 無線LANアクセスポイントと端末に同じSSIDが設定されていないと通信できない。無線LANアクセスポイントを中心とした1つのグループであるBSS（Basic Service Set）が、802.11による無線LANのインフラストラクチャ通信の最小単位となるが、複数の無線LANアクセスポイントにまたがった際のローミングを考慮し、BSSを複数束ねたESS（Extended Service Set）が定義されている。このため、SSIDはESSIDと呼ばれることもある。 無線LAN接続ツールによっては、ネットワーク名と記載している場合もある。															
SSIDの隠ぺい	SSIDを無線LANアクセスポイントにより定期的に送信されるビーコン中に含まないように設定すること。															
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 暗号化方式の一種で、WPAの暗号化方式として採用されている。 PSKと呼ばれる“事前共有鍵”を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間ごとに生成し、暗号化を行う。															
WEPキー	WEP暗号化方式で用いられる“暗号化キー”のこと。種類は共有（秘密）鍵である。															
WPA	① Wi-Fi Protected Accessの略。 Wi-Fi Alliance が規格化した、新しいセキュリティ規格のこと。 WEP方式よりセキュリティ強度が強化されている。暗号化方式と認証プロトコルにより、以下の4つに分類できる。 <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">認証</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>PSK</td><td>EAP</td></tr><tr><td rowspan="2">暗号</td><td>TKIP</td><td>(1)</td><td>(2)</td></tr><tr><td>AES</td><td>(3)</td><td>(4)</td></tr></table> ※WPA仕様書では、暗号プロトコル「AES」は必須ではないため、WPAをサポートしていても、AESをサポートしていない場合がある。 ② WPAにて認証に外部サーバを用いる方式を表す。上記表内の（2）または（4）の方式。			認証				PSK	EAP	暗号	TKIP	(1)	(2)	AES	(3)	(4)
		認証														
		PSK	EAP													
暗号	TKIP	(1)	(2)													
	AES	(3)	(4)													
WPA - パーソナル	WPAにて認証に外部サーバも用いない方式を表す。上記表内の（1）または（3）の方式。															
暗号化キー	暗号化を行う鍵のことで、暗号化方式により、公開鍵と共有（秘密）鍵の2種類ある。															

インフラストラクチャ通信	無線LAN端末と無線LANアクセスポイントを利用した形態の通信。
オープンシステム認証	無線LANの認証方式の1つ。無線LAN端末からは資格情報なしに無線LANアクセスポイントに認証依頼を行い、無線LANアクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる。そのため、ネットワークキーによる認証は行われていない（サーバ認証とは別）。
キーインデックス	WEP暗号化方式では、仕様上4つのWEPキーを切り替えることができる。WEP暗号化方式では、無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の両方のキーインデックスを同じにしなければならない。製品によってはキーインデックスの値が「0～3」のものと「1～4」のものがあり、設定に注意しなければならない。
キー更新間隔	暗号化キーを生成するデータ量間隔または時間間隔のこと。
共有キー認証	無線LANの認証方式の1つ。無線LANアクセスポイントと端末はネットワークキーを用いたチャレンジレスポンス認証を行う。
ネットワークキー	共有キー認証の「“認証キー”」と暗号化機能の「“暗号化キー”または“PSK”」の両方に用いられる“キー”のこと。
ネットワーク認証	無線LANの認証方式の総称。オープンシステム認証、共有キー認証、WPA、WPA - パーソナル、WPA2、WPA2 - パーソナルなどがある。
無線LANアクセスポイント	ネットワークに無線LAN端末を接続する機器であり、一般的には有線LANのHUBに相当する機能を持つ。

[022000-28]

- 使用上の注意..... 189
- USB機器の取り付け／取り外し..... 191

使用上の注意

[022001-28]

- 本機のUSBコネクタには、USB 1.1対応機器、USB 2.0対応機器、USB 3.0対応機器が取り付け可能です。ただし、対応する規格の異なるUSBコネクタにUSB機器を取り付けたときの、動作規格（転送速度）については次の表をご覧ください。

		本体側コネクタ	
		USBコネクタ (A)	USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS)
取り付ける機器	USB 1.1対応機器	USB 1.1 (12Mbps※1)	
	USB 2.0対応機器	USB 2.0※2 (480Mbps※1)	
	USB 3.0対応機器	USB 2.0※2 (480Mbps※1)	USB 3.0※3 (5Gbps※1)

※1 記載の速度は理論値（最大）です。

※2 USBハブ、USBケーブルもUSB 2.0に対応したものを使用する必要があります。

※3 USBハブ、USBケーブルもUSB 3.0に対応したものを使用する必要があります。

- USB機器の取り付け／取り外しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってください。
- USBコネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したり半差しにしたりすると、正常に認識されないことがあります。その場合はプラグをUSBコネクタから抜いて、正しく差しなおしてください。
- 初めてUSB機器を取り付けたときに、画面に何も表示されない場合は、USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を取り外してください。USB機器を取り付けた状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- 省電力状態（スリープ状態や休止状態）の時や、省電力状態への移行中、省電力状態からの復帰中は、USB機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 省電力状態への移行中は、取り付けているUSB機器を操作しないでください。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、USBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。USB機器を取り付けた状態でUSBハブを本機に取り付けると、USB機器が正常に認識されないことがあります。
- USB機器の有無にかかわらず「デバイス マネージャー」にある「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」は削除、無効にしないでください。
- 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに取り付けているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。



メモ

- 本機でのUSB機器の動作確認情報については、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。各機器の発売元にお問い合わせください。なお、NEC製のUSB対応機器の情報は、NECの「ビジネスPC」サイト (<http://jpn.nec.com/bpc/>) から、次の手順で確認してください。

1 「サポート情報（ダウンロード）」をクリック

2 「ご使用中のお客様」にある「製品検索一覧」をクリック

3 「旧モデル検索（最新機種も含む）」にある「PC本体型番検索」をクリック

お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なUSB対応機器を確認してください。

- 取り付ける機器によっては、接続ケーブルが必要な場合があります。

USB機器を制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、USBコネクタの有効／無効を設定して、USB機器の使用を制限することができます。

また、添付のDeviceLockでも、取り付けているUSB機器単位で読み込みや書き込みを制限することができます。



参照

- **I/O制限について**
「セキュリティ機能」の「[I/O制限 \(P. 223\)](#)」
- **DeviceLockについて**
「セキュリティ機能」の「[DeviceLock Lite \(P. 229\)](#)」

USB機器の取り付け／取り外し

[022002-28]

取り付けの前に

機器によっては、使用するためにドライバやアプリケーションのインストール、設定の変更などが必要になる場合があります。

USB機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。必要な準備を行ってください。



メモ

- 取り付けてすぐ使うことができるUSB機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでください。
- USB機器は、本機の電源を入れたままの状態でも取り付けることができます。取り付け前に電源を切る必要はありません。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、はじめにUSBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。

USB機器の取り付け

1 USBコネクタ ()、またはUSBコネクタ (USB 3.0対応) (または) にプラグを差し込む

プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

取り付けたUSB機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、取り付けた後で別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各USB機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USB機器の取り外し

1 タスク バーの通知領域の をクリックし、 または をクリック

このアイコンが表示されていない場合は手順3に進んでください。

2 表示された「×××××の取り出し」から、取り外したいUSB機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。

表示された「×××××の取り出し」に取り外したいUSB機器がない場合は手順3に進んでください。

3 USB機器を取り外す

以上でUSB機器の取り外しは完了です。

別売の増設RAMボード（以降、メモリ）の取り付け方／取り外し方や増設後の確認方法について説明しています。

➤ 取り付け前の確認.	193
➤ メモリの取り付け／取り外し.	194
➤ メモリ変更時の確認.	205

取り付け前の確認

[022201-28]

取り付けられるメモリ



チェック

- 増設RAMボード（メモリ）を本機に取り付ける場合、必ずNECの「ビジネスPC」サイト（<http://jpn.nec.com/bpc/>）で取り付け可能となっているメモリをお使いください。
なお、市販のメモリに関する動作保証やサポートはNECでは行っていません。販売元にお問い合わせください。
- 最大16GBのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。なお、装置構成によって利用可能なメモリ容量は異なります。
- 増設できるメモリは1枚のみです。メモリが2枚搭載されているモデルをお使いの場合も、片方のメモリは取り外しできません。

本機に取り付け可能なメモリの情報は、NECの「ビジネスPC」サイト（<http://jpn.nec.com/bpc/>）から次の手順で確認してください。

1

「サポート情報（ダウンロード）」をクリック

2

「ご使用中のお客様」にある「製品検索一覧」をクリック

3

「旧モデル検索（最新機種も含む）」にある「PC本体型番検索」をクリック

お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なメモリを確認してください。

メモリの取り付け／取り外し

[022202-28]



チェック

- メモリは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態でメモリを扱うと破損する原因になります。メモリに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- メモリのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因になります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
- メモリを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネクタ部やメモリが故障する原因になります。取り付け方向に注意してください。
- 取り付け前に、本機で利用できるメモリであることを確認してください。
- 底面カバーのネジをゆるめるため、プラスドライバーを用意してください。
- メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、「高速スタートアップ」の機能を無効にしてください。詳しくは、「[高速スタートアップ](#)」について (P. 38)」をご覧ください。

内蔵バッテリーを使用できない状態にする



チェック

- メモリの取り付け／取り外しをする前に、内蔵バッテリーを使用できない状態にしてください。
- 再度内蔵バッテリーを使用できる状態にするには、本機にACアダプタを取り付けます。

1

本機を使用中の場合は、本機の電源を切る

2

電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す

3

電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



参照

「システム設定」のBIOSセットアップユーティリティについて
「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 231)」

4

「Config」メニューの「Power」を選択し、【Enter】を押す

5

「Disable Built-in Battery」を選択し、【Enter】を押す

内蔵バッテリーが使用できない状態になり、電源が切れます。
PCが冷たくなるまで3～5秒待ちます。



メモ

メモリを取り付けた後は、「[メモリ変更時の確認 \(P. 205\)](#)」に従って、変更が正しく行われたかどうか確認してください。

メモリの取り付け

1 内蔵バッテリーを使用できない状態にする

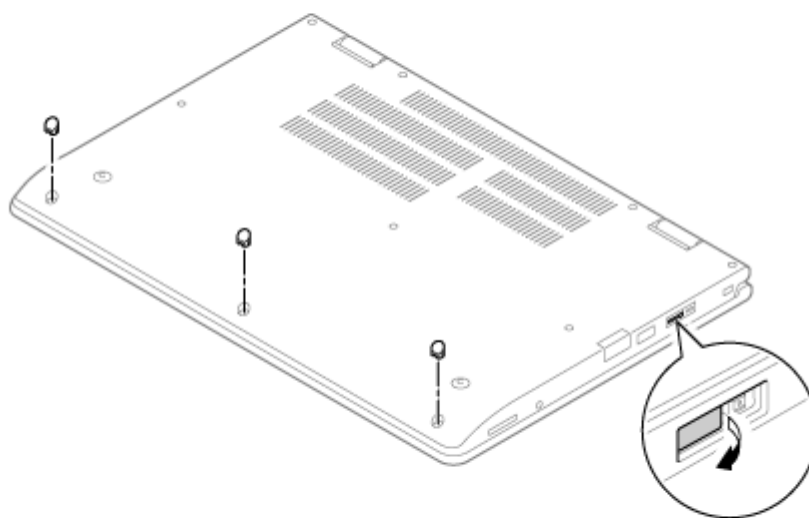


参照

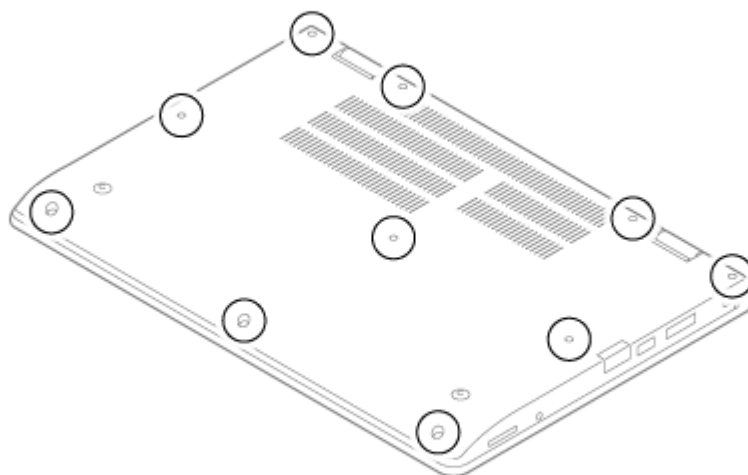
内蔵バッテリーを使用できない状態にするには
「[内蔵バッテリーを使用できない状態にする \(P. 194\)](#)」

2 液晶ディスプレイを閉じて、本体を裏返す

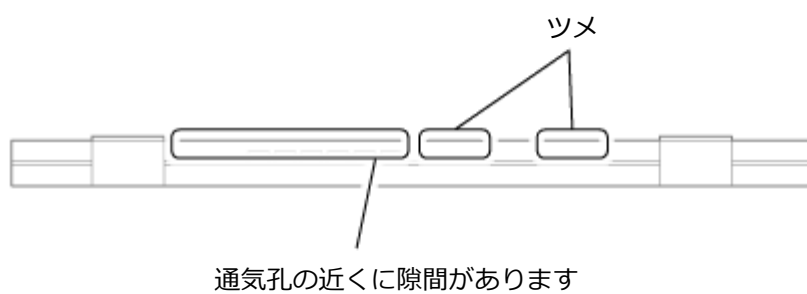
3 図のネジ穴カバーと、DCコネクタ横のキャップを取り外す



4 図のネジをプラスドライバーでゆるめる



- 5** 背面の通風孔の近くにある隙間からドライバ等の工具を差し込み、本体背面側のツメ2カ所を外す

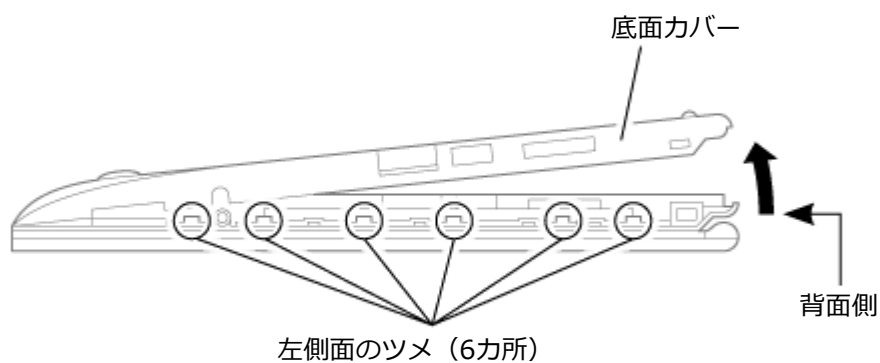


- 6** 背面の隙間に指を入れて底面カバーを持ち上げながら、左側面のツメ6カ所を、背面側から前面側に向けて外す



チェック

メモリの取り付け／取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。
けがの原因になります。



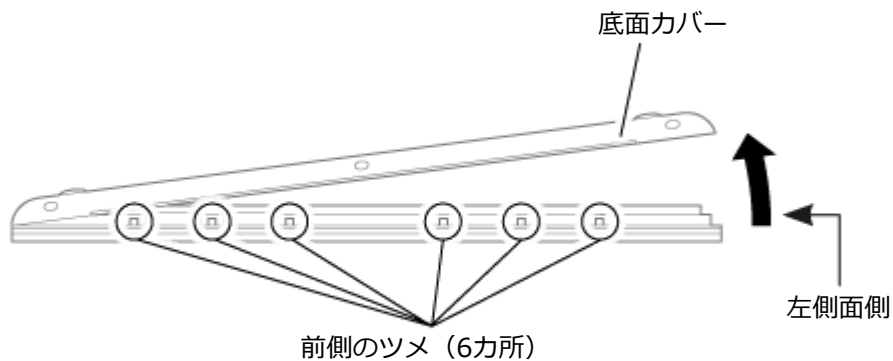
7 左側の底面カバーを持ち上げながら、前面のツメ6カ所を、左側から右側に向けて順に外す。

そのまま底面カバーを回転させるように持ち上げ続けると右側面のツメは外れます。



チェック

底面カバーを取り外すと、ボード上の部品やハンダ付け面などがありますが、手を触れないように注意してください。

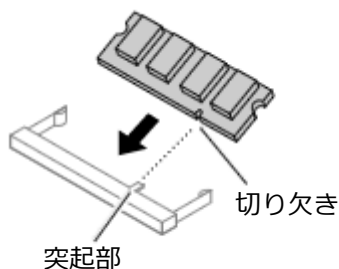


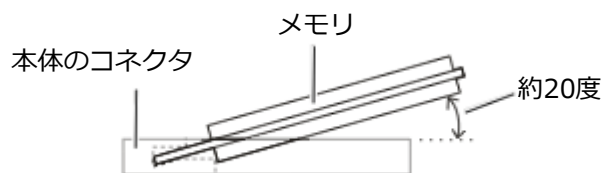
8 メモリの切り欠き部分を本体のコネクタの突起部に合わせ、本体のコネクタに対して約30度の挿入角度で、メモリの端子が当たるまで挿入する



チェック

- メモリ上の部品やハンダ付け面には、手を触れないよう注意してください。メモリを手を持つ際は、メモリの両端面を持つようにしてください。
- メモリの表と裏が逆の場合は、メモリの切り欠きとコネクタの突起部が合わず、挿入することができませんので、よく確認してください。
- 挿入するときに、固いことがあります。奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれがあります。
- メモリの基板は薄いため、破損しないよう十分に注意してください。

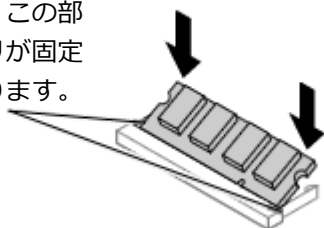




※横から見たところ

9 カチッと音がする位置までメモリを本体のコネクタに強く倒し込む

メモリを倒し込むとき、この部分が左右に開き、メモリが固定されると元の位置に戻ります。

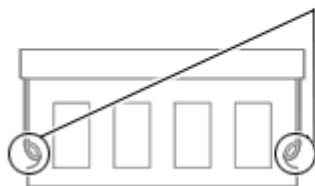


実物と図は多少異なる場合があります。



チェック

両方がロックされ、メモリがコネクタにしっかり固定されたことを確認してください。



10 底面カバーを元に戻してネジで固定し、ネジキャップとDCコネクタ横のキャップを取り付ける

11 ACアダプタを取り付ける

ACアダプタを取り付けると、自動的に内蔵バッテリーが使用できる状態になります。

以上でメモリの取り付けは完了です。



メモ

メモリを取り付けた後は、「メモリ変更時の確認 (P. 205)」に従って、変更が正しく行われたかどうか確認してください。

メモリの取り外し

1 内蔵バッテリーを使用できない状態にする

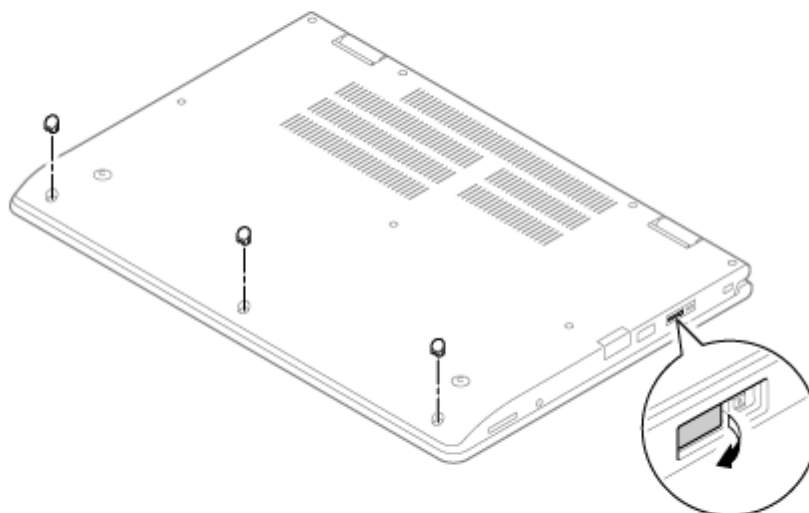


参照

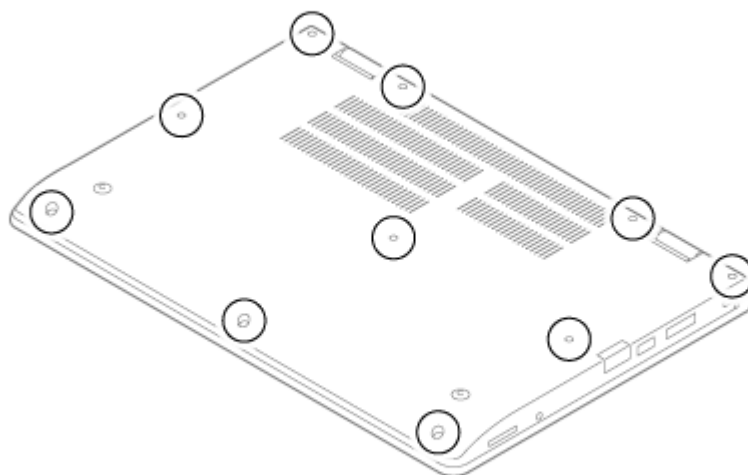
内蔵バッテリーを使用できない状態にするには
「[内蔵バッテリーを使用できない状態にする \(P. 194\)](#)」

2 液晶ディスプレイを閉じて、本体を裏返す

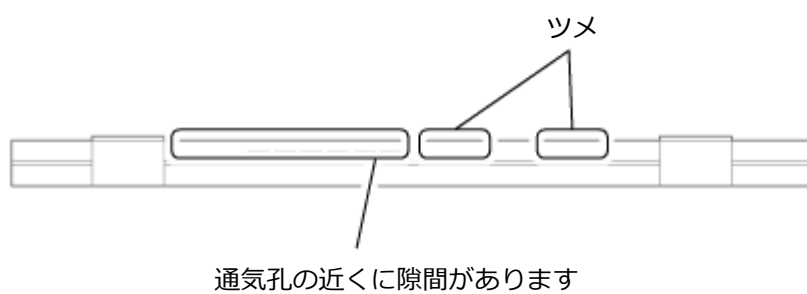
3 図のネジ穴カバーと、DCコネクタ横のキャップを取り外す



4 図のネジをプラスドライバーでゆるめる



- 5** 背面の通風孔の近くにある隙間からドライバ等の工具を差し込み、本体背面側のツメ2カ所を外す

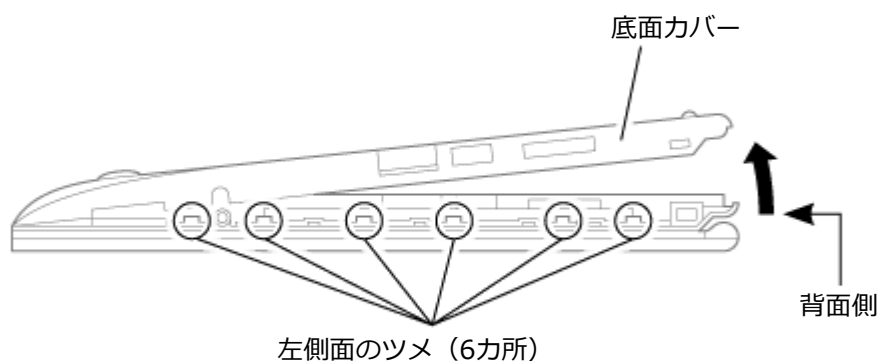


- 6** 背面の隙間に指を入れて底面カバーを持ち上げながら、左側面のツメ6カ所を、背面側から前面側に向けて外す



チェック

メモリの取り付け／取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。
けがの原因になります。



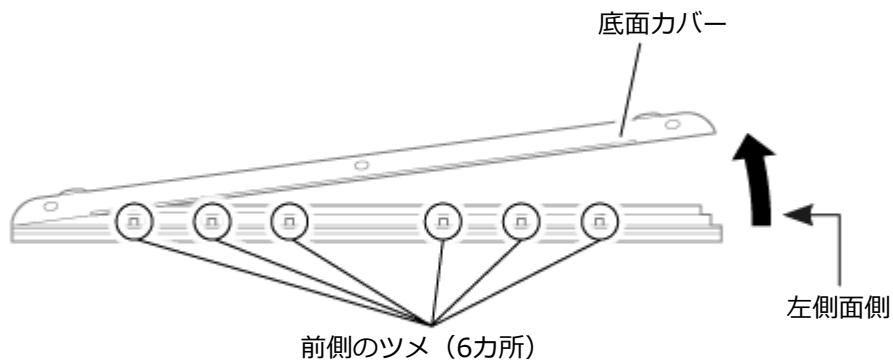
7 左側の底面カバーを持ち上げながら、前面のツメ6カ所を、左側から右側に向けて順に外す。

そのまま底面カバーを回転させるように持ち上げ続けると右側面のツメは外れます。



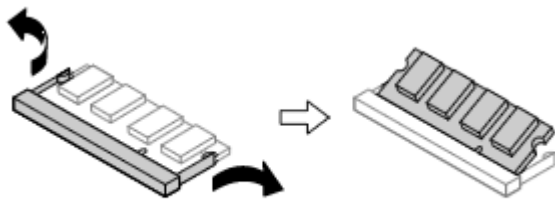
チェック

底面カバーを取り外すと、ボード上の部品やハンダ付け面などがありますが、手を触れないように注意してください。



8 コネクタの両端部分を左右に押し広げる

メモリが図のように起き上がります。



実物と図は多少異なる場合があります。



チェック

- メモリの基板は薄いため、破損しないよう十分に注意してください。
- メモリ上の部品やハンダ付け面には、手を触れないよう注意してください。引き抜くときは、両端面をつかんで引き抜いてください。

9 そのままメモリを斜めに引き抜く

10 底面カバーを元に戻してネジで固定し、ネジキャップとDCコネクタ横のキャップを取り付ける

11 ACアダプタを取り付ける

ACアダプタを取り付けると、自動的に内蔵バッテリーが使用できる状態になります。

以上でメモリの取り外しは完了です。



メモ

メモリを取り外した後は、「[メモリ変更時の確認 \(P. 205\)](#)」に従って、変更が正しく行われたかどうか確認してください。

メモリ変更時の確認

[022203-28]

メモリの取り付け／取り外しが正しく行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック

「システム」欄の「実装メモリ (RAM)」に表示されている「***GB」が総メモリ容量です。

メモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、再度確認してください。



メモ

最大メモリ容量はご購入時のメモリ構成に依存します。

ご購入時のメモリ構成	最大メモリ
4GB	12GB (メモリスロットに8GBを増設)
8GB	12GB (メモリスロットの4GBを8GBに交換)
16GB	16GB



チェック

- 最大16GBのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
- BIOSセットアップユーティリティの「Main」メニューでも、確認することができます。
- メモリを増設した後に休止状態の機能を使用する場合は、増設したメモリ容量分のハードディスクの空き領域が必要です。

本機のBluetooth機能について説明しています。

➤ 概要.	207
➤ セキュリティに関するご注意.	209
➤ 使用上の注意.	210
➤ Bluetooth機能の設定と接続.	212
➤ Bluetooth機能のオン／オフ.	217

Bluetooth機能について

Bluetooth（ワイヤレステクノロジー）機能は、Bluetoothワイヤレステクノロジーが搭載された機器とデータ通信を行うBluetooth Special Interest Group（SIG）が策定した世界標準の通信規格です。

Bluetooth機能でできること

次のような、Bluetooth機器とワイヤレスで接続することができます。

- マウスやキーボード
- 携帯電話、タブレット
- ヘッドセット、ヘッドフォン

など

最大で7台のBluetooth機器を同時に接続できます。



チェック

- Bluetooth機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 同時に利用するBluetooth機器の台数が多い場合、通信負荷が大きくなり動作に影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth機器によっては、複数同時に使用できない仕様のものがあります。
- 同じ種類のBluetooth機器でも機能差がある場合があります。
- Bluetooth機能は、すべてのBluetooth機器に対して動作を保証するものではありません。Bluetooth機器の動作環境と接続の可否を確認してください。

接続できる機器

本機のBluetooth機能は、Ver.1.1以降でVer.4.0までのいずれかの規格に対応した機器（マウスやキーボードなど）と接続できます。ただし、接続する機器が、Bluetoothプロファイルに対応している必要があります。また、使用する機器やソフトによっては接続できないことがあります。機器をご購入する前に製造元や販売店に確認してください。

対応しているBluetoothプロファイルについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

シンプルペアリング機能（Ver.2.1以降）に対応した機器と接続する場合は、パスキー（PINコード）を入力することなく機器同士をペアリングすることができます。

また、次の機能が強化されています。

- **省電力機能（Ver.2.1以降）**

Ver.2.0+EDRよりも省電力が強化され、マウスやキーボードなどのバッテリー駆動時間の延長に効果があります。

- **ペアリング機能**

第三者の介入によって情報が傍受される可能性を排除する防御機能が搭載されています。

- **Enhanced Data Rate（EDR）機能**

従来の規格の約3倍（理論上）の速度で通信を行えます。

- **Advanced Frequency Hopping（AFH）機能**

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）など、他の2.4GHz帯域を利用する無線機器が利用している周波数を避けて干渉の可能性を低減させます。



チェック

- 回避できる周波数帯域が確保できない場合は、この機能の効果が得られないことがあります。
- 2.4GHz帯域の中でも無線LAN（IEEE802.11n）はより強い干渉を受ける場合があります。

- **Low Energy機能（Ver.4.0以降）**

従来の機器に比べて低消費電力のBluetooth Smart機器（マウスなど）と接続することが可能です。

通信距離と速度

通信できる距離

本機は、相手の機器間と見通しで約10mの範囲まで通信できます。ただし、10m以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音とびが発生する場合があります。

通信速度

実際の通信速度は、各通信モードの規格値の半分程度を目安にしてください。

Enhanced Data Rate（EDR）規格に対応した機器同士の最大通信速度は3Mbps（規格値）です。

前述のHSおよびEDRに対応していない機器の場合（Basic Rate:BR）は、最大通信速度（非同期）は1Mbps（規格値）です。



チェック

接続する機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のソフト、およびOSなどによって、通信速度や距離は大きく変化します。

セキュリティに関するご注意

[023102-28]

Bluetooth機能では、セキュリティを確保するため、機器ごとに割り振られた固有のIDで機器の識別をしています。さらにパスキー（PINコード）を設定して接続認証を行ったり、通信データを暗号化することで通信を傍受された場合にもデータの内容を守ることができます。また、通信中に使用する周波数帯域を接続単位ごとにランダムに変更しながら通信することで通信傍受されにくくなっています。



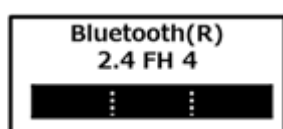
チェック

- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。
- 身に覚えのない接続を要求された場合は、無視するか受付をしないでください。

使用上の注意

[023103-28]

- 接続相手と通信中（ファイル転送中やプリンタで印刷中、オーディオ機器で音楽再生中など）に、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 本製品に標準内蔵以外のBluetooth® ワイヤレステクノロジー機器をセットアップして使用しないでください。
- Bluetooth対応オーディオ機器をご使用になる場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。本機を用いて著作権保護されたデータのコピーを作成することは違法となる場合があります。
- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）と重複しており、この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人 電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入／切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
 - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。詳しくは、ご使用場所の管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 本製品は、Bluetooth® パスキー（PINコード）や暗号化機能等を使用することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能ですが、日頃からの接続デバイスの管理をされることをおすすめします。

- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。機器の電子回路に影響を与え、誤作動や事故の原因になるおそれがあります。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備されているかたは、本商品をペースメーカー装置部から30cm以上離して使用してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NECまたはご購入元にお問い合わせください。

Bluetooth機能の設定と接続

[023104-28]



メモ

安定した通信のため、次の点にご注意ください。

- 本機と接続するBluetooth機器との距離は、できるだけ近くする
- 接続するBluetooth機器との間に障害物を置かないようにする
- 金属製のパソコンラックなどで本機を使用しない
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使用しない

Bluetooth機器の接続

Bluetooth機器を接続するときは、機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

1 接続するBluetooth機器を接続可能な状態にする

2 タスク バーの通知領域の をクリックして表示される (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの追加」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 217)」をご覧ください、Bluetooth機能をオンにしてください。

「Bluetooth デバイスの管理」画面が表示され、Bluetooth機器が検索され一覧に表示されます。

3 接続するBluetooth機器を選択し、「ペアリング」ボタンをクリック



チェック

デバイスの追加で認証エラーが発生し自動で接続できない場合には「再実行」をクリックし、デバイスを選んで「次へ」をクリックします。「ペアリングオプションの選択」でデバイスのマニュアルに記載のデバイスのペアリングコードを入力するか、もしくはペアリングコードを使用しないを選択して接続を繰り返してみてください。



メモ

登録済みのデバイスを確認する場合は、タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」をクリックして一覧を開いて確認してください。



チェック

- Bluetoothキーボードを接続するときにパスキー（PINコード）の入力を求められたときは、画面に表示されたコードを入力して最後に【Enter】を押してください。その他の機器でパスキー（PINコード）の入力を求められたときは、その製品に添付のマニュアルなどをご確認ください。
- ドライバのインストール中に本機の動作が遅くなる場合があります。
- ドライバによっては再起動を求められる場合があります。
- Bluetooth対応オーディオ機器を使用する場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。
- Bluetooth機器によってサポートしている機能に差分があったりアプリケーションソフトが対応できなかったりする場合がありますので、ご購入前にサポート機能の確認を行ってください。



メモ

- Bluetooth対応オーディオ機器（ステレオヘッドフォンなど）を接続していて音が切れる（音飛びする）場合は、一度切断して本機のBluetooth側から再接続することをおすすめします。これはオーディオ機器によるホスト処理の負荷が高いため、遅れが出る場合があるからです。解決しない場合は、本機と接続機器の距離を近くするか、バッテリー駆動の機器の場合はバッテリー容量の残量を確認してください。
- 無線LANを使用していない（アクセスポイントに接続していない）ときに、接続しているBluetooth機器の動作が不安定（オーディオ機器のノイズ、マウスのカクツキなど）な場合は、無線LAN機能のみをオフにしてください。システム処理の負荷を軽減することができます。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「無線LAN機能」の「無線LAN機能のオン／オフ (P. 175)」

Bluetooth機能の設定を変更する

必要に応じてBluetooth機能の設定を変更することができます。設定の変更は次の手順で行ってください。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される （Bluetooth デバイス）をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



メモ

（Bluetooth デバイス）がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 217)」をご覧ください。Bluetooth機能をオンにしてください。



チェック

接続したBluetooth機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

Bluetooth接続でのファイルの送受信

Bluetooth機器間で一時的に小さなファイルを簡単にやりとりすることができます。

ファイルの送信

ファイルの送信は次の手順で行います。

- 1 送信するファイルを右クリックし、表示されたメニューから「送る」→「Bluetooth デバイス」をクリック



チェック

複数のファイルをまとめて送信したい場合でも、フォルダの送信はできません。ファイルを送信してください。

- 2 リストに表示される送信先のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 3 受信側（送信先）でファイルの受け取りを承諾する



メモ

受信側のBluetooth機器でのファイル受信については、機器により異なるので受信側の機器のマニュアルをご覧ください。

受信側で受信を許可すると、「Bluetooth ファイル転送」上でファイルの送信が開始されます。「ファイルが正しく転送されました」と表示されれば送信終了です。

- 4 「完了」ボタンをクリック



メモ

次の操作でも接続したBluetooth機器にファイルの送信ができます。また相手のファイルを参照することもできます。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示し、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリック

Bluetooth機器の一覧が表示されます。

- 2 ファイル操作をしたいBluetooth機器のアイコンをダブルクリック

ウィンドウの「操作」に表示される項目を選択します。

ファイルの受信



チェック

接続したBluetooth機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 217)」をご覧ください。Bluetooth機能をオンにしてください。

- 2 「オプション」タブの「検出」の「Bluetooth デバイスによるこの PC の検出を許可する」にチェックを付ける

- 3 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「ファイルの受信」をクリック

「Bluetooth ファイル転送」画面が表示されます。

- 4 送信側で送信する

「デバイスの追加」が表示された場合は、クリックし手順にしたがってください。

- 5 「受信したファイルの保存」でファイルの保存先を選択し、「完了」をクリックする

Bluetooth機器の接続の切断

接続先のデバイスのマニュアルを参照し、切断してください。

Bluetooth機器の登録削除

使用しないBluetooth機器の登録を削除する場合は、次の手順で行います。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの表示」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 217)」をご覧ください。Bluetooth機能をオンにしてください。

Bluetooth機器の一覧が表示されます。

- 2 登録を削除したいBluetooth機器のアイコンをクリックし、「デバイスの削除」ボタンをクリック

3 「このデバイスを削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック

Bluetooth機能のオン／オフ

[023105-28]

Bluetooth機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- ▶ ワイヤレススイッチ（【Fn】 + 【F2】）で切り替える..... 217
- ▶ 「PC設定の変更」で切り替える..... 218



チェック

他の機器に影響を与える場合やBluetooth機能を使用しない場合、Bluetooth機能が使用できない環境で本機を使用する場合は、Bluetooth機能をオフにしてください。

Bluetooth機能の状態については、タスク バーの通知領域の  をクリックして表示されるアイコンで確認できます。

アイコン	Bluetooth機能の状態
	スタンバイ／動作中
アイコン無し、または 	オフ

ワイヤレススイッチ（【Fn】 + 【F2】）で切り替える

【Fn】 + 【F2】を押すことで、Bluetooth機能を含むワイヤレス機能のオン／オフを切り替えることができます。



チェック

- この方法でオフにした場合、Bluetooth機能を含むすべてのワイヤレス機能がオフになります。
- Bluetooth機能を含むワイヤレス機能をオンにした時に、Bluetoothのドライバのインストールが始まった場合は、インストールが完了するまでお待ちください。また、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。
- Intel® WiDiを使用している場合、接続に利用している無線LAN機能もオフになるため使用できなくなります。
- Bluetooth機能のオン／オフ切り替え時、ドライバの組み込み／取り外しに時間がかかる場合があります。再度、Bluetooth機能のオン／オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。切り替えが完了しないうちに、連続してオン／オフの操作を行わないようにしてください。



参照

- **【Fn】について**
「キーボード」の「キーの使い方 (P. 82)」
- **BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について**
「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 231)」および「設定項目一覧 (P. 236)」

「PC設定の変更」で切り替える

Bluetooth機能のみをオフにしたい場合は、「PC設定の変更」でBluetooth機能をオフにしてください。
「PC設定の変更」でのBluetooth機能のオン／オフの切り替えは、次の手順で行います。



チェック

この方法で切り替えるには、ワイヤレス機能がオンになっている必要があります。ワイヤレス機能がオフになっている場合は、ワイヤレススイッチを押して、ワイヤレス機能をオンにしてください。

オンにする

1

チャーム バーを表示し、「設定」→「PC設定の変更」→「PCとデバイス」→「Bluetooth」をクリック

2

「Bluetooth」をオンにする

オフにする

1

チャーム バーを表示し、「設定」→「PC設定の変更」→「PCとデバイス」→「Bluetooth」をクリック

2

「Bluetooth」をオフにする

本機で利用可能なセキュリティ機能について説明しています。

➤ セキュリティ機能について.....	220
➤ スーパーバイザパスワード.....	221
➤ ハードディスクパスワード機能.....	222
➤ I/O制限.....	223
➤ 盗難防止用ロック.....	224
➤ DEP（Data Execution Prevention）機能.....	225
➤ 暗号化ファイルシステム（EFS）.....	226
➤ ウイルス検出・駆除.....	227
➤ ハードディスク・アクティブプロテクション・システム.....	228
➤ DeviceLock Lite.....	229

セキュリティ機能について

[022501-28]

本機には、機密データの漏えいや改ざんを防止したり、コンピュータウイルスの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。



チェック

- お使いのモデルによっては使用できない場合があります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。
- 工場出荷時にインストールされていない機能やアプリケーションのインストールには、光学ドライブが必要です。
- 本機の各種セキュリティ機能は、完全なセキュリティを保証するものではありません。セキュリティ機能を使用している場合でも、重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。

➤ スーパーバイザパスワード.....	221
➤ ハードディスクパスワード機能.....	222
➤ I/O制限.....	223
➤ 盗難防止用ロック.....	224
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	225
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS)	226
➤ ウイルス検出・駆除.....	227
➤ ハードディスク・アクティブプロテクション・システム.....	228
➤ DeviceLock Lite.....	229

スーパバイザパスワード

[022502-28]

スーパバイザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティの起動や設定、本機の使用を制限するためのパスワードです。

■ BIOSセットアップユーティリティの使用者の制限

スーパバイザパスワードを設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力画面が表示されます。スーパバイザパスワードを入力しない限り、BIOSセットアップユーティリティは起動できません。

■ 本機の不正使用の防止（BIOS認証）

スーパバイザパスワード／ユーザパスワードを設定し、BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニュー「Password」で「Power-On Password」を「Enabled」に変更してください。

本機の起動時にパスワード入力画面が表示され、本機を使用するにはスーパバイザパスワードの入力が必要になります。



チェック

- NECに本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。詳しくは「トラブル解決 Q&A」の「電源」 - 「パスワードを忘れてしまった (P. 316)」をご覧ください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 231)」

ハードディスクパスワード機能

[022503-28]

本機のハードディスクにハードディスクパスワードを設定することで、本機のハードディスクを本機以外のパソコンに取り付けて使用するときにはパスワードの入力が必要になり、不正使用や重要なデータの漏えいを防止できます。

ハードディスクパスワードには、ハードディスクマスタパスワードとハードディスクユーザパスワードの2つがあります。

■ ハードディスクマスタパスワード

管理者がハードディスクの認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うパスワードです。

■ ハードディスクユーザパスワード

使用者がハードディスクの認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うためのパスワードです。



チェック

- ハードディスクユーザパスワードは、ハードディスクマスタパスワードが設定されていなければ設定できません。
- 購入元またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除または無効にしておいてください。また、起動できずにパスワードを解除または無効にできない場合は、修理から戻ってきた際に、使用していたマスタパスワードとユーザパスワードを再設定してください。
- ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、NECに持ち込んでもロックの解除はできません。ハードディスクに保存されているデータは二度と使用できなくなり、ハードディスクも有償で交換することになります。ハードディスクパスワードは忘れないように十分注意してください。



参照

ハードディスクパスワードの設定について

「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「[\[Security\]](#) メニュー (P. 241)」

I/O制限

[022504-28]

本機では、BIOSセットアップユーティリティで、各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限することができます。この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響を及ぼすアプリケーションのインストールを制限することができます。

本機では、次のデバイスのI/Oを制限することができます。

- 光学ドライブ※1
- SD（SDHC/SDXC）メモリーカードスロット
- USBコネクタ
- 無線LAN
- Bluetooth
- Webカメラ
- マイク入力（内蔵マイク／外付けマイク）
- タッチパッド

※1 USB接続の光学ドライブを使用する場合は、USBコネクタを制限することで使用を制限します。



参照

I/O制限について

「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「[Security](#)」メニュー (P. 241)」

盗難防止用ロック

[022505-20]

別売のセキュリティーケーブル（PC-VP-WS16）を利用することで、本機を机などに繋ぐことができ、本機の盗難防止に効果的です。



チェック

当社製セキュリティーケーブル（PK-SC/CA01）は、本機では使用できません。ご注意ください。



参照

盗難防止用ロックについて

「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

DEP（Data Execution Prevention）機能

[022507-28]

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能です。コンピュータウイルスが不正にプログラムコードを書き込んだり、実行しないようにすることができます。

暗号化ファイルシステム（EFS）

[022510-28]

EFS（Encrypting File System）は、Windows 8.1の標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザー以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

ウイルス検出・駆除

[022508-28]



チェック

マカフィー リブセーフは、工場出荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うためのアプリケーションとして「マカフィー リブセーフ」が添付されています。



参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[マカフィー リブセーフ \(P. 297\)](#)」

ハードディスク・アクティブプロテクション・システム

[022518-28]



チェック

- ハードディスク・アクティブプロテクション・システムは、工場出荷時はインストールされていません。
- ハードディスク・アクティブプロテクション・システムは、落下あるいは振動によるハードディスク損傷の危険性を軽減することができますが、ハードディスクを完全に保護するものではありません。

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムは、本機の落下などによる加速度や振動を内蔵センサーが検知し、ハードディスクのヘッドを安全な場所に退避してハードディスク損傷の危険性を軽減するユーティリティです。



参照

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[ハードディスク・アクティブプロテクション・システム \(P. 261\)](#)」



チェック

DeviceLock Liteは、工場出荷時にはインストールされていません。

DeviceLock Lite（以下、DeviceLock）は、各種周辺機器の使用を制限することができるアプリケーションです。



参照

DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite \(P. 270\)](#)」

[030000-28]

- BIOSセットアップユーティリティについて..... 231
- 設定項目一覧..... 236

BIOSセットアップユーティリティについて

[030100-28]

BIOSセットアップユーティリティの操作や工場出荷時に戻す方法などについて説明しています。

➤ BIOSセットアップユーティリティの起動.	232
➤ BIOSセットアップユーティリティの基本操作.	233
➤ BIOSセットアップユーティリティの終了.	234
➤ 工場出荷時の設定値に戻す.	235

BIOSセットアップユーティリティの起動

[030101-28]

1 スタート画面でをクリック

2 「再起動」をクリック

3 画面に「To interrupt normal startup, press Enter」と表示されたら、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



チェック

BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、【F2】を押す間隔を変えてください。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

[030102-28]



チェック

BIOSセットアップユーティリティで設定を行っている間は、本機の電源スイッチで電源を切らないでください。

電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Restart」メニューから「Exit Saving Changes」を選択して電源を切ってください。

BIOSセットアップユーティリティの操作、設定はキーボードで行います。

BIOSセットアップユーティリティでの使用する主なキーについては次をご覧ください。

キー	機能・操作
【←】【→】	「Main」「Config」などのメニューバーの項目を選択します。
【↑】【↓】	● 設定項目を選択します。 ● 設定可能な値を一覧表示している場合は、設定値を選択します。
【Enter】	● 現在の項目に設定可能な値を一覧表示し、選択するメニューを表示します。また設定値を決定しメニューを閉じます。 ● ▶印が付いた設定項目でサブメニューを表示します。 ● 「System Date」「System Time」で設定する桁を移動します。
【Esc】	● 設定を保存せず、BIOSセットアップユーティリティを終了します。 ● サブメニュー表示時、前の画面に戻ります。
【F9】	BIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻します。
【F10】	設定の変更を保存し、本機を再起動します。
【Tab】	「System Time」「System Date」で設定する桁を移動します。

BIOSセットアップユーティリティの終了

[030103-28]



チェック

BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Restart」メニューから「Exit Saving Changes」を選択して電源を切ってください。

変更を保存して終了する

1

【F10】を押す

確認の画面が表示されます。中止したいときは【Esc】を押してください。

2

「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。



メモ

「Restart」で「Exit Saving Changes」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。

変更を保存せず終了する

1

キーボードの【←】【→】でメニューバーの「Restart」を選択する

メニューが表示されます。

2

キーボードの【↓】で「Exit Discarding Changes」を選択し、【Enter】を押す

設定の保存についての確認画面が表示された場合は、「Yes」を選択して【Enter】を押してください。
設定値を変更せずにBIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

工場出荷時の設定値に戻す

[030104-28]



チェック

BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Restart」メニューから「Exit Saving Changes」を選択して電源を切ってください。

設定を工場出荷時の値に戻すときは、次の手順で行ってください。

1

電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」

2

【F9】を押す

確認の画面が表示されます。

中止したいときは【Esc】を押してください。

3

「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

工場出荷時の設定値を読み込みます。

4

【F10】を押す

確認の画面が表示されます。



メモ

メニューバーの「Restart」で「Exit Saving Changes」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。

5

「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上で設定は完了です。

[030200-28]

- 「Main」メニュー..... 237
- 「Config」メニュー..... 238
- 「Date/Time」メニュー..... 240
- 「Security」メニュー..... 241
- 「Startup」メニュー..... 244

「Main」メニュー

[030201-28]

設定項目	設定値	説明
UEFI BIOS Version	—	UEFI BIOSのバージョンを表示します。
UEFI BIOS Date (Year-Month-Date)	—	UEFI BIOSの作成日を表示します。
Embedded Controller Version	—	ECのファームウェアバージョンを表示します。
ME Firmware Version	—	MEのファームウェアバージョンを表示します。
Machine Type Model	—	型番を表示します。
System-unit serial number	—	本機の製造番号を表示します。
System board serial number	—	システム基板の製造番号を表示します。
CPU Type	—	CPUタイプを表示します。
CPU Speed	—	CPU速度を表示します。
Installed memory	—	搭載されている総メモリ容量を表示します。
UUID	—	UUID番号を表示します。
UEFI Secure Boot	—	UEFI Secure Boot機能の現在の設定値が表示されます。
OA3 ID	—	Win8.1 Digital Production Key (DPK) と1対1に対応するシリアルIDナンバー (Product Key ID) を表示します。
OA2	—	OA2を表示します。

「Config」メニュー

[030202-28]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
USB		
USB UEFI BIOS Support	【Enabled】 Disabled	USB接続のデバイスから、起動を許可するかどうかを設定します。
Always On USB	【Enabled】 Disabled	USBポートで外部デバイスに充電できるかどうかを設定します。
Charge in Battery Mode※1	Enabled 【Disabled】	スリープ状態、休止状態、および電源オフ時のUSBポート充電の有効／無効を設定します。
USB 3.0 Mode	Enabled Disabled 【Auto】	USB 3.0をサポートするかどうかを設定します。 ● Enabled : USB 3.0として機能します。 ● Disabled : USB 2.0として機能します。 ● Auto : 自動的に3.0または2.0を判別して機能します。
Keyboard/Mouse		
Trackpad	【Enabled】 Disabled	USBマウスを使用するときなど、タッチパッドを無効にしたい場合は、「Disabled」に設定します。
Fn and Ctrl Key swap	Enabled 【Disabled】	「Enabled」に設定すると、本体キーボードの【Fn】と【Ctrl】の機能を入れ換えます。
Display		
Boot Display Device	【LCD】 HDMI	起動時に使用するディスプレイを選択します。
Total Graphics Memory	【256MB】 512MB	グラフィックスメモリに割り当てるメモリを選択します。
Boot Time Extension	1 second 2 seconds 3 seconds 5 seconds 10 seconds 【Disabled】	起動時間を変更します。 外部ディスプレイによっては認識に時間のかかる場合があります。 外部ディスプレイが認識できないときは、この時間を変更します。
Power		
Intel (R) SpeedStep technology	【Enabled】 Disabled	Intel SpeedStep®テクノロジーの有効／無効を設定します。
CPU Power Management	【Enabled】 Disabled	システムが動いていなときにCPUの動作を自動的に止める省電力機能の有効／無効を設定します。

Intel (R) Rapid Start Technology	【Enabled】 Disabled	本機では機能しません。
Entry after	Immediately 1 minute 2 minutes 5 minutes 10 minutes 15 minutes 30 minutes 1 hour 2 hours 【3 hours】	本機では機能しません。
Disable Built-in Battery	【Enter】	内蔵バッテリーを使用しない設定をします。
Beep and Alarm		
Password Beep	Enabled 【Disabled】	「Enabled」にすると、パスワード入力時にビープ音が鳴ります。
Keyboard Beep	【Enabled】 Disabled	「Disabled」にすると、割り当てられていない組み合わせでキーを入力した場合にビープ音が鳴らなくなります。

※1 「Always On USB」を「Disabled」に設定した場合は表示されません。

「Date/Time」メニュー

[030209-28]

設定項目	設定値	説明
System Date	—	現在の日付を「月 日 年」で設定します。
System Time	—	現在の時刻を「時 分 秒」で設定します。

「Security」メニュー

[030203-28]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Password		
Supervisor Password	Enter	スーパーバイザーパスワードを設定します。 設定については、「スーパーバイザーパスワード／パワーオンパスワード／ハードディスクパスワードの設定 (P. 243)」をご覧ください。
Password Status	—	スーパーバイザーパスワードの状態を表示します。
Lock UEFI BIOS Settings	Enabled 【Disabled】	「Enabled」に設定すると、BIOS設定項目が変更不可となります。
Password at Unattended Boot	【Enabled】 Disabled	「Enabled」に設定すると、遠隔操作の開始時にパスワード入力が必要となります。
Password at Restart	Enabled 【Disabled】	再起動時にパスワードの入力を必要とするかどうかを設定します。
Password at Boot Device List	Enabled 【Disabled】	「Enabled」に設定すると、起動デバイス一覧表示の保護が有効になります。
Password Count Exceeded Error	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、パスワードの再試行数をカウントしません。
Set Minimum Length	4 characters 5 characters 6 characters 7 characters 8 characters 9 characters 10 characters 11 characters 12 characters 【Disabled】	パスワードの文字数を設定します。
Power-On Password	Enter	起動時のパスワードを設定します。 設定については、「スーパーバイザーパスワード／パワーオンパスワード／ハードディスクパスワードの設定 (P. 243)」をご覧ください。
Password Status	—	起動時のパスワードの状態を表示します。
Hard Disk1 Password	Enter	「User」または「User+Master」の選択後、ハードディスクパスワードを設定します。 設定については、「スーパーバイザーパスワード／パワーオンパスワード／ハードディスクパスワードの設定 (P. 243)」をご覧ください。
Password Status	—	ハードディスクパスワードの状態を表示します。
UEFI BIOS Update Option		

Flash BIOS Updating by End-Users	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定するとフラッシュBIOSを更新できなくなります。
Secure RollBack Prevention	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、以前のバージョンへBIOSを戻すことができます。 「Enabled」に設定すると、以前のバージョンへBIOSを戻すことはできません。
Memory Protection		
Execution Prevention	【Enabled】 Disabled	「Enabled」に設定すると、ウィルスやワームからPCを保護します。プログラムが正常に動作しない場合は、「Disabled」を選択してから再度「Enabled」を選択してください。
Virtualization		
Intel (R) Virtualization Technology	Enabled 【Disabled】	「Enabled」を選択すると、Intel® VT機能を有効にします。
Intel (R) VT-d Feature	Enabled 【Disabled】	「Enabled」を選択すると、Intel® VT-d機能を有効にします。
I/O Port Access		
Wireless LAN	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、無線LANを無効にします。
Bluetooth	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、Bluetoothを無効にします。
USB Port	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、USBコネクタを無効にします。
Memory Card Slot	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、SD (SDHC/SDXC) メモリーカードスロットを無効にします。
Integrated Camera	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、Webカメラを無効にします。
Microphone	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、マイク入力（内蔵マイク／外付けマイク）を無効にします。
Secure Boot		
Secure Boot※1	【Enabled】 Disabled	Secure Boot機能の有効／無効を設定します。
Platform Mode	【User Mode】 Setup Mode	プラットフォームモードの状態を表示します。
Secure Boot Mode	【Standard Mode】 Custom	セキュアブートの状態を表示します。
Reset to Setup Mode	—	現在のプラットフォームのキーをクリアして、セットアップモードにシステムを置くために使用します。

Restore Factory Keys	—	セキュアブートデータベース内のすべてのキーと証明書を工場出荷時の状態に復元するために使用します。
Clear All Secure Boot Keys	—	セキュアブートデータベース内のすべてのキーをクリアします。

※1 MFGが設定された場合、「Enabled」に設定されます。

スーパーバイザパスワード／パワーオンパスワード／ハードディスクパスワードの設定

「Supervisor Password」、「Power-On Password」、「Hard Disk1 Password」にカーソルを合わせて【Enter】を押すと表示される設定画面で設定します。

ハードディスクパスワードの場合は、上記操作のあと「User」または「User+Master」を選択して表示される画面で設定します。

新しくパスワードを設定する場合は、「Enter New Password」欄に設定するパスワードを入力して【Enter】を押し、「Confirm New Password」欄に確認のために同じパスワードを入力して【Enter】を押してください。

設定済みのパスワードを変更する場合は、「Enter Current Password」欄に現在のパスワードを入力して【Enter】を押した後で、新しくパスワードを設定する場合と同様にパスワードを入力してください。

スーパーバイザパスワードもしくはパワーオンパスワードを設定した場合、が表示されます。設定したパスワードを入力して【Enter】を押してください。

ハードディスクユーザパスワードを設定した場合、が表示されます。設定したパスワードを入力して【Enter】を押してください。

ハードディスクマスタパスワードを入力するには、が表示された状態で【F1】を押し、が表示されたらパスワードを入力して【Enter】を押してください。

アイコンをに戻すには、再度【F1】を押してください。



チェック

- パスワードは半角50文字以内で、以下の文字のみ使用することができます。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。
 - アルファベット(a～z)
 - 数字(0～9)
 - 半角スペース
- 新しいパスワードに何も入力しないで【Enter】を押し、確認のメッセージが表示された場合は、内容を確認し操作してください。パスワードが解除されます。
- パワーオンパスワードに加えて、ハードディスクパスワードを設定している場合は、通常の起動の際にパワーオンパスワード／ハードディスクパスワードを両方入力する必要がありますが、パワーオンパスワードとハードディスクパスワードを同一に設定するとパスワード入力は1回になります。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。

「Startup」メニュー

[030204-28]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Boot		
Boot Priority Order	Windows Boot Manager ^{※1} USB CD USB FDD ATA HDD0 ATA HDD1 ATA HDD2 USB HDD PCI LAN	本機を起動するときに、OSを検索するデバイスの順番を設定します。上にあるデバイスから検索し、OSが存在しないなどの理由で起動に失敗した場合は、次のデバイスを検索します。デバイスの順番を変更するには、変更したいデバイスをにカーソルを合わせて【+】【-】で変更します。
Excluded from boot priority order	—	OSの検索から除外したデバイスがある場合は、これより下に表示されます。
UEFI/Legacy Boot	Both 【UEFI Only】 Legacy Only	Boot Modeの設定をします。
CSM Support	No	値は「No」で固定されます。
Boot Mode	【Quick】 Diagnostics	● Quick : 起動時にテストメッセージを表示しません。【Esc】キーを押すとテストメッセージを表示します。 ● Diagnostics : 起動時にテストメッセージを表示します。
Option Key Display	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、オプションキーを表示しません。
Boot device List F12 Option	【Enabled】 Disabled	「Disabled」に設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時に【F12】を押しても、起動デバイスの一覧が表示されなくなります。
Boot Order Lock	Enabled 【Disabled】	「Enabled」にすると、起動デバイスの優先順位を変更できなくなります。

※1 Windows起動後に追加されます。



参照

工場出荷時の設定に戻す方法について
「工場出荷時の設定値に戻す (P. 235)」



チェック

- デバイスの起動優先順位を変更したあとは、コピー、保存、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないようにしてください。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。
- BitLockerドライブ暗号化を使用している場合は、起動順序を変更しないでください。BitLockerドライブ暗号化によって起動順序の変更が検出され、本機の起動がロックされます。

本機の起動時に、OSを起動するデバイスを手動選択する

本機の起動時に、OSを起動するデバイスを手動選択する場合は、次の手順で行います。

1

電源を入れ、すぐに【F12】を数回押す



チェック

「Boot Menu」が表示されない場合は、【F12】を押す間隔を変えてください。

2

【↑】【↓】で起動するデバイスを選択し、【Enter】を押す

便利な機能とアプリケーション

[060000-28]

➤ アプリケーションの種類と機能.	247
➤ アプリケーションのインストール/アンインストールについて.	249
➤ Office Home and Business 2013.	251
➤ Office Home & Business Premium.	256
➤ ハードディスク・アクティブプロテクション・システム.	261
➤ Access Connections.	264
➤ DeviceLock Lite.	270
➤ Adobe Reader.	272
➤ ECOモード設定ツール.	275
➤ ピークシフト設定ツール.	276
➤ 画面表示設定切替ツール.	278
➤ オンスクリーン表示の設定.	281
➤ Roxio Creator LJB.	283
➤ CyberLink PowerDVD.	287
➤ フリック入力補助ツール.	291
➤ 拡張ディスプレイ操作ツール.	294
➤ マカフィー リブセーフ.	297
➤ WinZip.	303

アプリケーションの種類と機能

[060100-28]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機 能
Access Connections	ネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートをする
Adobe Reader	PDF形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
ハードディスク・アクティブプロテクション・システム	ハードディスクの損傷を防ぐ
DeviceLock Lite	周辺機器の使用を制限する
ECOモード設定ツール	ECOボタン、または設定したホットキーでモード（電源プラン）を切り替える
ピークシフト設定ツール	電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を他の時間帯に移行する
画面表示設定切替ツール	利用シーンに応じたPC画面最適化
オンスクリーン表示の設定	ECOボタンやホットキーを押したときに表示される通知画面の設定を行う
バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール※2	バッテリーリフレッシュと性能診断
ハードディスクデータ消去ツール※4 ※5	ハードディスクのデータを消去する
フリック入力補助ツール	フリック機能を使ってショートカットキーイベントを操作する
拡張ディスプレイ操作ツール	アプリケーションを外部ディスプレイへ移動したり、操作したりする
マカフィー リブセーフ	ウイルス対策とマルウェア対策などを行う包括的で高速なセキュリティソフトウェア
WinZip	ファイルの圧縮、保護、共有

※2 機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「バッテリー」 - 「バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール (P. 68)」をご覧ください。

※4 ハードディスクデータ消去ツールをご使用になる場合、再セットアップ用ディスクが必要です。詳細については、『再セットアップガイド』をご覧ください。

※5 機能の詳細、使用方法については『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

◆Office Home and Business 2013モデル

アプリケーション	機 能
Word 2013	文章を作成する HTMLを作成する

Excel 2013	表計算をする
Outlook 2013	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2013	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2013	電子ノートブック機能

◆Office Home & Business Premiumモデル

アプリケーション	機 能
Word 2013	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2013	表計算をする
Outlook 2013	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2013	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2013	電子ノートブック機能

◆DVDスーパーマルチドライブモデル

アプリケーション	機 能
CyberLink PowerDVD	DVDを再生する
Roxio Creator LJB	CD-Rなどにデータを保存する

アプリケーションのインストール/アンインストールについて

[060200-28]

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションの概要とインストール方法およびアンインストール方法について説明します。

インストールやアンインストールをする場合、Windowsおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

■ インストールについて

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。



チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 再セットアップ、PCリセットおよびPCリフレッシュの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ずWindowsの再起動後に行ってください。
- 光学ドライブが添付されていないモデルをお使いの場合は、別売の光学ドライブが必要です。
- 本マニュアルを表示しながらインストールの操作をすることができます。
詳しくは、「[画面やアプリを切り替える \(P. 21\)](#)」をご覧ください。
- アプリケーションの修復インストールはできません。
いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。



メモ

- 「管理者」とはAdministrator権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。
ユーザーアカウントに関する詳細についてはWindowsのヘルプをご覧ください。
- 光学ドライブをDドライブとした場合の手順を説明します。
必要に応じて読み替えてください。

■ アンインストールについて

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。



チェック

- アプリケーションのアンインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」で、アプリケーションを選択して「アンインストール」、または「アンインストールと変更」をクリックした後は、中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。
その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- アプリケーションをアンインストールした後に、システムの復元機能でアンインストール前の状態に復元しても、復元されたアプリケーションは正常に動作しない場合があります。
また、復元されたアプリケーションを「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールしても、アンインストールできない場合があります。
その場合は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。インストールの操作を行ってください。
復元の状況によって、インストールもしくはアンインストールが開始されます。
アンインストールが開始されたら、画面の指示に従い、アンインストールを行ってください。
インストールが開始されたら、画面の指示に従ってインストールを行い、インストール完了後にマニュアルをご覧ください。アンインストールを行ってください。
- 本マニュアルを表示しながらアンインストールの操作をすることができます。
- アプリケーションのアンインストール中に、すでにアンインストールされている旨のメッセージが表示されることがあります。その場合でも正常にアンインストールは完了しており、動作に影響はありません。

Office Home and Business 2013

[063600-08]

➤ 概要.....	251
➤ 初回起動手順.....	251
➤ 使用上の注意.....	253
➤ インストール.....	254
➤ アンインストール.....	254

概要

Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013、PowerPoint 2013、OneNote 2013が同梱されています。
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、および各Office アプリケーションのヘルプ

●Office Home and Business 2013の最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Home and Business 2013では、工場出荷時の状態で、Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を含めインストールを完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。

ライセンス認証については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、各Office アプリケーションのヘルプ、または下記ホームページを参照してください。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



チェック

- 初回起動はインターネットに接続した環境で行ってください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 初回起動手順を実施中に「ライセンスを確認できませんでした」と表示される場合があります。

文書番号：2813348

「Office 2013 のインストール中にアプリケーションを起動すると "ライセンスを確認できませんでした" メッセージが表示される場合がある」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 13\)](#)」を参照してください。

1 スタート画面の「Microsoft Office」をクリック

2 「Office をお選びいただき、ありがとうございます。それでは始めましょう。」と表示されたら、「ライセンス認証」をクリック

3 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクト キーを入力し、「インストール」ボタンをクリック

Office のインストールが開始されます。



チェック

プロダクト キーはOffice Home and Business 2013のパッケージに同梱されているカード、またはパッケージ内に記載されています。

4 「新しい Office へようこそ。」と表示されたら、「次へ」をクリック

5 「最初に行う設定です。」と表示されたら、画面にある「推奨設定を使用する」または「いいえ」のいずれかを選択する

6 画面右下にある「使用許諾契約書を読む」をクリックし、内容を確認後、「OK」ボタンをクリック

7 「同意する」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



チェック

以下の画面が表示されますので、内容の確認や設定を行ってください。

- 「サインインしてOfficeを最大限に活用しましょう。」
- 「OneDriveについての説明をご覧ください。」
- 「新機能に関する説明をご覧ください。」

8

「準備が整いました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的の実施してください。



チェック

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 251)」を済ませてから実施してください。

その他

- 以下の場合にイベントビューアに「警告」または「エラー」が表示されることがありますが、動作上問題ありません。
 - Office Home and Business 2013をインストールした時
 - 新規ユーザーでサインイン後、Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションのいずれかを初めて起動した時
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態ではスリープ状態にできない場合があります。その場合は、アプリケーションを終了させてから再度スリープ状態にしてください。
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態でWindowsを終了するとエラーが表示される場合があります。すべてのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。
- カスタムテキストサイズの設定（DPI）を100%から125%以上に変更した場合、以下の問題が発生しますが動作上問題ありません。
 - Word 2013の書式設定と編集の制限ウィンドウが表示不正となる
- Word 2013の「はがき印刷」を使用するにはMicrosoft® .NET Framework 4以上をインストールする必要があります。

インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

その他のインストール方法については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルをご覧ください。



チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Home and Business 2013のインストール

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスするか、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルの説明に従って、再インストールを行ってください。

アンインストール



チェック

- Office Home and Business 2013のアンインストール後にInternet Explorerでの右クリックメニューに表示が残る問題が発生する場合があります。

文書番号：826917

「Internet Explorer で "Microsoft Excel にエクスポート" コマンドを使用しようとしても何も起こらない」

文書番号：2212044

「Internet Explorer で [OneNote に送る] コマンドが機能しない」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 13\)](#)」を参照してください。

- Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションを起動している場合は、終了させてください。

「Microsoft OneDrive」のアンインストール



チェック

「プログラムのアンインストール」に「Microsoft OneDrive」と表示されている場合は、以下の手順を行ってください。

表示されていない場合は、「[Office Home and Business 2013のアンインストール \(P. 255\)](#)」へ進んでください。

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft OneDrive」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で「Microsoft OneDrive」のアンインストールは終了です。

次に「[Office Home and Business 2013のアンインストール \(P. 255\)](#)」へ進んでください。

Office Home and Business 2013のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office」を選択し、「アンインストール」をクリック



チェック

「Microsoft Office Home and Business 2013 - ja-jp」と表示される場合もあります。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

以上でOffice Home and Business 2013のアンインストールは終了です。

Office Home & Business Premium

[060700-08]

➤ 概要.....	256
➤ 初回起動手順.....	256
➤ 使用上の注意.....	258
➤ インストール.....	259
➤ アンインストール.....	259

概要

Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013、PowerPoint 2013、OneNote 2013が同梱されています。
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

各Office アプリケーションのヘルプ

●Office Home & Business Premiumの最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Home & Business Premiumでは、工場出荷時の状態で、Office Home & Business Premiumのセットアップ モジュールがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を含めインストールを完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。

ライセンス認証については、各Office アプリケーションのヘルプ、または下記ホームページを参照してください。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



チェック

- 初回起動はインターネットに接続した環境で行ってください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 初回起動手順を実施中に「ライセンスを確認できませんでした」と表示される場合があります。

文書番号：2813348

「Office Premium のインストール中にアプリケーションを起動すると "ライセンスを確認できませんでした" メッセージが表示される場合がある」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 13\)](#)」を参照してください。

1 スタート画面の「Microsoft Office」をクリック

2 「では、始めましょう」と表示されたら、「次へ」をクリック

3 「プロダクト キー」画面が表示されたら、プロダクト キーを入力し、「次へ」ボタンをクリック



チェック

プロダクト キーはOffice Home & Business Premiumのパッケージに同梱されているカード、またはパッケージ内に記載されています。

4 「サインイン」画面が表示されたら、「サインイン」ボタンをクリック

5 「サインイン」と表示されたら、Microsoftアカウントとパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



チェック

Microsoft アカウントをお持ちの場合は、そのアカウントを使ってサインインしてください。また、好きなメールアドレスを新しいMicrosoft アカウントのユーザー名として利用できます。

6 「新しい Office へようこそ。」と表示されたら、「次へ」をクリック

7 「最初に行う設定です。」と表示されたら、画面にある「推奨設定を使用する」または「いいえ」のいずれかを選択する

- 8** 画面右下にある「使用許諾契約書を読む」をクリックし、内容を確認後、「OK」ボタンをクリック

9 「同意する」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



チェック

以下の画面が表示されますので、内容の確認や設定を行ってください。

- 「OneDrive についての説明をご覧ください。」
- 「Officeの見た目を自分の好みに合わせて変えてみましょう」
- 「新機能に関する説明をご覧ください。」

10 「準備が整いました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。
Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的の実施してください。



チェック

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「[初回起動手順 \(P. 256\)](#)」を済ませてから実施してください。

その他

- 以下の場合にイベントビューアに「警告」または「エラー」が表示されることがありますが、動作上問題ありません。
 - Office Home & Business Premiumをインストールした時
 - 新規ユーザーでサインイン後、Office Home & Business Premiumに含まれるアプリケーションのいずれかを初めて起動した時
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態ではスリープ状態にできない場合があります。その場合は、アプリケーションを終了させてから再度スリープ状態にしてください。
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態でWindowsを終了するとエラーが表示される場合があります。すべてのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。
- カスタムテキストサイズの設定（DPI）を100%から125%以上に変更した場合、以下の問題が発生しますが動作上問題ありません。

- Word 2013の書式設定と編集の制限ウィンドウが表示不正となる
- Word 2013の「はがき印刷」を使用するにはMicrosoft® .NET Framework 4以上をインストールする必要があります。

インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。



チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Home & Business Premiumのインストール

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスして、再インストールを行ってください。

アンインストール



チェック

- Office Home & Business Premiumのアンインストール後にInternet Explorerでの右クリックメニューに表示が残る問題が発生する場合があります。

文書番号：826917

「Internet Explorer で "Microsoft Excel にエクスポート" コマンドを使用しようとしても何も起こらない」

文書番号：2212044

「Internet Explorer で [OneNote に送る] コマンドが機能しない」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 13\)](#)」を参照してください。

- Office Home & Business Premiumに含まれるアプリケーションを起動している場合は、終了させてください。

「Microsoft OneDrive」のアンインストール



チェック

「プログラムのアンインストール」に「Microsoft OneDrive」と表示されている場合は、以下の手順を行ってください。

表示されていない場合は、「[Office Home & Business Premiumのアンインストール \(P. 260\)](#)」へ進んでください。

1

Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft OneDrive」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で「Microsoft OneDrive」のアンインストールは終了です。

次に「Office Home & Business Premiumのアンインストール (P. 260)」へ進んでください。

Office Home & Business Premiumのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office」を選択し、「アンインストール」をクリック



チェック

「Microsoft Office Home and Business Premium - ja-jp」と表示される場合もあります。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

以上でOffice Home & Business Premiumのアンインストールは終了です。

ハードディスク・アクティブプロテクション・システム

[060900-28]

➤ 概要.....	261
➤ 使用上の注意.....	261
➤ インストール.....	262
➤ アンインストール.....	262

概要

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムを使うと、本体の落下などによる加速度や振動を検知センサーが感知した場合に、ハードディスクのヘッドを安全な場所に退避させるのでハードディスク損傷の危険性を軽減することができます。

また、ハードディスク・アクティブプロテクション・システムの設定ユーティリティでは、ハードディスク・アクティブプロテクション・システムのハードディスク保護機能を一時的に無効にしたり、検知センサーの感度を調節することができます。

機能の詳細や操作方法、制限事項については、以下を参照してください。

●機能の詳細や操作方法、制限事項

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムのヘルプ (アプリ画面 (P. 11) → 「コントロール パネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「NEC - HDD プロテクション」 → 表示されたウィンドウで「ヘルプ」ボタンをクリック)

起動方法

1 アプリ画面 (P. 11)を表示する

2 「コントロール パネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「NEC - HDD プロテクション」

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムの設定ユーティリティが表示されます。

使用上の注意

- ハードディスク・アクティブプロテクション・システムはパソコン本体の傾き・落下・衝撃を検出するとハードディスクのヘッドを退避し、ハードディスクが損傷する危険性を軽減するものです。
ただし、ハードディスクの無破損・無故障を完全に保証するものではありませんので、重要なデータはこまめにバックアップをとることをおすすめします。
- 衝撃を検知するとハードディスクのヘッドを退避するため、パソコンを操作することができません。ヘッドの退避が解除されるまでしばらくお待ちください。

■ インストール

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムのインストール

1 Windowsを起動する

2 アプリ画面 (P. 11)を表示する

3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥APS¥setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

6 「ハードディスク・アクティブプロテクション・システムのInstaller 情報」画面で「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でハードディスク・アクティブプロテクション・システムのインストールは終了です。

■ アンインストール

ハードディスク・アクティブプロテクション・システムのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「ハードディスク・アクティブプロテクション・システム」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示されたら、「セットアップの完了後、アプリケーション自動的に終了して、再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック

6 「ハードディスク・アクティブプロテクション・システム の設定を完了するには、システムを再起動する必要があります。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でハードディスク・アクティブプロテクション・システムのアンインストールは終了です。

Access Connections

[061100-28]

概要	264
使用上の注意	265
Access Connectionsでの無線LANの設定と接続	266
Access Connectionsでの有線LANの設定と接続	267
インストール	267
アンインストール	268

概要

Access Connectionsはネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートができます。

機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。



メモ

Windows標準の無線LAN機能を使用して無線LANのオン／オフや設定、接続をする場合は、「本機の機能」の「[無線LAN機能 \(P. 166\)](#)」をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

Access Connectionsのヘルプ（Access Connectionsを起動し、 ボタンをクリック→「Access Connections ヘルプ」をクリック）



チェック

ヘルプに記載されている機能は、実際に利用できる機能と多少異なる場合があります。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

Access Connectionsのメインウィンドウが表示されます。



チェック

Access Connectionsは複数のユーザーで同時に使用することはできません。

複数のユーザーがログオンしている環境で他のユーザーがAccess Connectionsのメインウィンドウを起動すると「Access Connectionsは、別のユーザーによって使用されています。別のユーザーをログオフし、もう一度実行してください。」と表示され、Access Connectionsを使用することができません。

ユーザーの切り替えを行う場合、Access Connectionsのメインウィンドウを閉じてからユーザーを切り替えてください。

使用上の注意

- 本アプリケーションを使用する前に、「本機の機能」の「無線LAN機能」に記載している以下の内容をあわせてご覧ください。
 - ▶ 概要. 167
 - ▶ 本機を安全にネットワークに接続するために. 169
 - ▶ 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 171
 - ▶ 使用上の注意. 173
- ネットワークの切断について
ネットワークの切断を行うと無線LAN機能が自動的にオフに変更されます。無線LAN機能がオフになった場合、下記の手順で無線LAN機能をオンにしてください。

1 タスク バーの通知領域にある アイコンを右クリック

2 表示されたメニューから「問題のトラブルシューティング」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

3 「今後、XXXに自動的に接続します」と表示されたら、「この修正を適用します」をクリック



チェック

XXXには、ご使用のネットワーク名が入ります。

4 「トラブルシューティングが完了しました」と表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

- カスタムテキストサイズの設定について
カスタムテキストサイズの設定（DPI）を125%以上に変更した場合、Access Connectionsが画面からはみ出る場合があります。その場合は、カスタムテキストサイズの設定（DPI）を変更してご使用ください。
 - DPIの変更方法（例：100%に設定する場合）

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「デスクトップのカスタマイズ」→「ディスプレイ」をクリック

3 「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する」にチェックを付けてから、「小 - 100%」を選択し、「適用」ボタンをクリック

4 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります」と表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

Windowsからサインアウトします。
サインイン画面が表示されたら、サインインしなおしてください。

Access Connectionsでの無線LANの設定と接続

無線LANの設定をする

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

2 アプリ画面 (P. 11)を表示する

3 アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

4 「インターネットに接続」タブをクリック

ネットワーク名 (SSID) の一覧が表示されます。

5 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。
- ネットワーク名 (SSID) の一覧に接続するネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、「再検索」ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。なり「ロケーション プロファイルの作成」で無線LANの設定を行ってください。

6 「接続」ボタンをクリック

7 「ネットワークにはネットワーク・キーが必要です。」と表示されたら、「パスワード」を入力して「接続」ボタンをクリック

8 「この接続をロケーションの1つとして保存しますか？」と表示されたら、「ロケーション名」を入力して「保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

設定済みの接続先に接続する

- 1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する
- 2 アプリ画面 (P. 11)を表示する
- 3 アプリの一覧で「Access Connections」をクリック
- 4 「ロケーション」にある接続先から接続するロケーション プロファイルを選択し、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

Access Connectionsでの有線LANの設定と接続

Access Connectionsで有線LANの設定や接続をする場合は、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。

インストール

Access Connectionsのインストール

- 1 Windowsを起動する
- 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 3 アプリ画面 (P. 11)を表示する
- 4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
D:¥Nxsetup.exe
- 6 「Access Connections」を選択し、「インストール」ボタンをクリック
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。
- 7 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 8 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

9 Windowsを再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でAccess Connectionsのインストールは終了です。

アンインストール

Access Connectionsのアンインストール



チェック

アンインストールはネットワークに接続した状態で行ってください。ネットワークに切断した状態でアンインストールを行うと無線LAN機能がオフになります。
無線LAN機能がオフになった場合、「[ネットワークの切断について \(P. 265\)](#)」を参照して無線LAN機能をオンにしてください。

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3

「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4

「Access Connections」を選択し、「アンインストール」をクリック

5

「Access Connections をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック

「ユーザー アカウント制御」画面にある「発行元」が「不明」と表示されますが問題ありません。

6

「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

7

「Access Connections プロファイルを続けてご利用になりますか？」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

アンインストール後に再度Access Connectionsをインストールしてご使用になる場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

8

再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でAccess Connectionsのアンインストールは終了です。

概要.....	270
使用上の注意.....	270
インストール.....	270
アンインストール.....	271

概要

DeviceLock Lite (以下、DeviceLock) は、外部デバイスへのデータ漏えいを防止する情報漏えい対策ソフトウェアです。機能の詳細や操作方法、制限事項については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法、制限事項

DeviceLock User Manual (「アプリケーションディスク」内の「DeviceLock¥DeviceLock User Manual.chm」)

使用上の注意

Roxio Creator LJBと同時に使用する場合の注意

DeviceLockで書き込みを制限していると、Roxio Creator LJBを使用してメディアへ書き込みやファイルバックアップはできません。

メディアへ書き込みやファイルバックアップを行う場合は、DeviceLockで光学ドライブを機器単位で有効に設定するか、書き込み制限を解除してください。

Bluetoothの制御をする場合の注意

Bluetoothの制御機能は、マウス、キーボードのみ使用禁止にできます。
携帯電話等とのファイル送受信については使用禁止にできません。

インストール

DeviceLockのインストール

- 1 Windowsを起動する
- 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 3 アプリ画面 (P. 11)を表示する
- 4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

6 「DeviceLock」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7 インストールが終了したら、Windowsを再起動する

8 Windowsを再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でDeviceLockのインストールは終了です。

アンインストール

DeviceLockのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「DeviceLock」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「DeviceLock をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「DeviceLock のアンインストールは正しく完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上でDeviceLockのアンインストールは終了です。

概要.....	272
使用上の注意.....	273
インストール.....	273
アンインストール.....	274

概要

Adobe ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができるビューアです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

ヘルプ（Adobe Readerを起動し、「ヘルプ」→「Adobe Reader XI ヘルプ」をクリック）



チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

●Adobe Readerの最新の情報

<http://www.adobe.com/jp/index.html>



チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「Adobe Reader XI」をクリック



チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Reader XI - パーソナル コンピューターでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。
内容を確認し「同意する」ボタンをクリックしてください。

Adobe Readerの画面が表示されます。

使用上の注意

- マルチランゲージには対応していません。
- Windows 8.1ではPDF形式のファイルを表示するビューアが標準に搭載されております。
Adobe Readerを使用してPDF形式のファイルを表示する場合は下記の手順を行ってください。

1 PDF形式のファイルを右クリック

2 「プログラムから開く」をクリックして「Adobe Reader」をクリック

インストール



チェック

「C:¥DRV¥AdobeReader¥AdbeRdr11007_ja_JP.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。

Adobe Readerのインストール

アプリケーションディスクをご利用になる場合は、次の手順でインストールしてください。

1

Windowsを起動する

2

光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3

「D:¥AdobeReader」フォルダをハードディスクの任意の場所にコピーする



メモ

ここでは「C:¥TEMP」にコピーした場合の手順を説明します。
必要に応じて読み替えてください。

4

光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

5

アプリ画面 (P. 11)を表示する

6

アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

7

「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥TEMP¥AdobeReader¥AdbeRdr11007_ja_JP.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

8 インストールが完了したら、Windowsを再起動する



メモ

手順3でコピーしたフォルダは自動的に削除されません。
Adobe Readerのインストールが終了したら削除することをおすすめします。

以上でAdobe Readerのインストールは終了です。

アンインストール

Adobe Readerのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Adobe Reader XI (11.0.07) - Japanese」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でAdobe Readerのアンインストールは終了です。

ECOモード設定ツール

[061400-28]

概要

ECOボタン、または設定したホットキーで簡単にモード（電源プラン）を切り替えることができます。
機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。



チェック

本機では、ECOモード設定ツールはインストールされています。
追加の必要はありません。



参照

機能の詳細、操作方法について

「本機の機能」の「省電力機能」 - 「ECOモード機能 (P. 53)」

設定方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「ECOモード設定ツール」をクリック

ECOモード設定ツールの設定画面が表示されます。

ピークシフト設定ツール

[061500-28]

概要	276
インストール	276
アンインストール	277

概要

電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を、他の時間帯に移行することをピークシフトといいます。本機は、「ピークシフト設定ツール」で設定を行うことで「ピークシフト機能」を使用できます。機能の詳細や使用上の注意、操作方法については、以下をご覧ください。



参照

機能の詳細や使用上の注意、操作方法について

「本機の機能」の「省電力機能」 - 「[ピークシフト機能 \(P. 57\)](#)」

インストール

ピークシフト設定ツールのインストール

- 1 Windowsを起動する
- 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 3 アプリ画面 (P. 11)を表示する
- 4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
D:¥Nxsetup.exe
- 6 「ピークシフト設定ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 7 「ピークシフト設定ツール セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

9 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」 ボタンをクリック

10 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でピークシフト設定ツールのインストールは終了です。

■ アンインストール

ピークシフト設定ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「ピークシフト設定ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「ピークシフト設定ツール をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」 ボタンをクリック

6 「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」と表示された場合は、「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択し、「OK」 ボタンをクリック

7 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」 ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でピークシフト設定ツールのアンインストールは終了です。

画面表示設定切替ツール

[062100-28]

概要	278
使用上の注意	279
インストール	279
アンインストール	280

概要

画面表示設定切替ツールは、タッチパネルモデルご利用時のタッチパネル操作や高解像度モデルご利用時の操作・閲覧を快適にするために、Windowsの表示設定を切り替える設定ツールです。
利用シーンに応じて設定を3種類まで保存し、表示設定をかんたんに切り替えることができます。

機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

画面表示設定切替ツールのヘルプ（[アプリ画面 \(P. 11\)](#)）→「画面表示設定切替ツール」→「画面表示設定切替ツール ヘルプ」)



チェック

画面表示設定切替ツールは、工場出荷状態でインストールされています。

モードの切り替え方法



チェック

- モードの切り替えを行った後、Windowsのサインアウトが必要な場合があります。
- モードの切り替えを行う前にデータを保存し、アプリケーションを終了させてください。
- なお、サインアウト確認画面が表示されなかった場合には、Windowsのサインアウトは必要ありません。

1

デスクトップの「画面表示設定切替ツール」をダブルクリック

画面表示設定切替ツール画面が表示されます。

2

切り替えたい設定をクリック

3

サインアウトを促すメッセージが表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

■ 使用上の注意

- 画面表示設定切替ツールは、表示の切り替えを行うたびに以下の項目に対してWindowsの設定を変更します。
このため、お客さまが「コントロール パネル」等で個々に変更された設定値は保持されず、切り替え時に画面表示設定切替ツールによって変更されてしまいますので、ご注意ください。
 - テキストやその他の項目のサイズ (DPI)
 - デスクトップのアイコンサイズ
 - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
 - ウィンドウの境界の太さ
 - スクロールバーの太さ
 - メニューのサイズ/フォントのサイズ
 - マウスのポインタ
 - 文字入力時のカーソルのサイズ
 - 文字入力時のカーソルの点滅速度
- 「コントロール パネル」等から「テキストやその他の項目の大きさの変更(DPI)」の変更を行ったり、個人設定でテーマを変更すると、画面表示設定切替ツールで変更した以下の項目はWindowsによって再設定されてしまいます。
この場合は、再度画面表示設定切替ツールにて表示の切り替えを行ってください。
 - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
 - ウィンドウの境界の太さ
 - スクロールバーの太さ
 - メニューバーのサイズ/フォントのサイズ
- 「メニューのサイズ、および メニューのフォントサイズ」や「タイトルバーのサイズとフォントサイズ、タイトルのボタンのサイズ」を「大」に設定すると、Windowsの仕様により、エクスプローラの左下に表示されるプロパティなどの文字列が途切れたり、重なったりする場合があります。

■ インストール

画面表示設定切替ツールのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 アプリ画面 (P. 11)を表示する

4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

6 「画面表示設定切替ツール(タイプVW)」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

- 7 インストールが完了したら、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windowsを再起動する**

以上で画面表示設定切替ツールのインストールは終了です。

■ アンインストール

画面表示設定切替ツールのアンインストール

- 1 Windowsを起動する**
- 2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する**
- 3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック**
- 4 「画面表示設定切替ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック**

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

- 5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する**

以上で画面表示設定切替ツールのアンインストールは終了です。

オンスクリーン表示の設定

[062600-08]

概要	281
初回設定手順	281
起動手順	281
使用上の注意	282

概要

ECOボタンを押したときに状態を通知する画面の表示／非表示を設定します。



チェック

本機では、オンスクリーン表示の設定はインストールされています。
追加の必要はありません。

初回設定手順

1

ECOボタンを押す

本機をお使いになって初めてECOボタンを押したときに、「オンスクリーン表示の設定」画面が表示されます。



参照

ECOボタンについて

「各部の機能」 - 「省電力機能」 - 「ECOモード機能 (P. 53)」

2

「表示する」または「表示しない」を選択して「OK」ボタンをクリック

次回から設定が適用されます。

また、次回以降「オンスクリーン表示の設定」画面は表示されません。



メモ

「キャンセル」ボタンをクリックするか、「表示する」「表示しない」のどちらも選択しない状態で「OK」ボタンをクリックして、通知画面の設定をしないでおくこともできます。
その場合は、設定を行うまで「オンスクリーン表示の設定」画面が表示されます。

起動手順

一度設定したあとで再度設定を変更したい場合は、次の手順で行います。

1 アプリ画面 (P. 11)を開き、「オンスクリーン表示の設定」→「オンスクリーン表示の設定」をクリック

「オンスクリーン表示の設定」画面が表示されます。

2 「表示する」または「表示しない」を選択して「OK」ボタンをクリック

次回から、設定が適用されます。

使用上の注意

「オンスクリーン表示の設定」をアンインストールした場合でも、通知画面を表示するかどうかの設定は維持されます。

Roxio Creator LJB

[061900-28]

概要	283
使用上の注意	284
インストール	285
アンインストール	286

概要

Roxio Creator LJBは、CD-Rなどの対応している媒体にデータを書き込むことができるライティングソフトです。Roxio Creator LJBは、CD-RなどへRoxio Creator LJBのウィンドウ上でコピーするデータを選択し、一括してコピーすることができますので、大量のデータを記録するのに適しています。Roxio Creator LJBは、Roxio BackOnTrackのファイルバックアップ機能を利用してファイルをバックアップすることができます。

対応している媒体は以下の通りです。

ドライブ	対応している媒体
DVDスーパーマルチドライブ	CD-R、CD-RW
	DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
	DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW
	DVD-RAM

機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。



チェック

お使いのモデルによってはRoxio Creator LJBはインストールまたは添付されていない場合があります。「[アプリケーションの種類と機能 \(P. 247\)](#)」をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

● Roxio Creator LJBのヘルプ

1

Roxio Creator LJBを起動する

2

「ヘルプ」メニューの「ヘルプ」をクリック

● Roxio BackOnTrackのファイルバックアップのヘルプ

1

Roxio Creator LJBを起動する

2

「データ - コピー」タブの「バックアップ/リストア」をクリック

Roxio BackOnTrackが起動します。



チェック

初回起動時のみ、バックアップの保存先を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

3 「ヘルプ」メニューの「ヘルプ」をクリック

●Roxio Creator LJBの最新の情報

<http://www.roxio.jp/jpn/support/>



チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「Roxio」→「Roxio Creator LJB」をクリック

Roxio Creator LJB の画面が表示されます。



チェック

Roxio Creator LJBを初めて起動する場合、「製品の登録」の画面が表示されます。
ユーザー登録を行う場合は、画面の指示に従って手続きを完了させてください。ユーザー登録を中止した場合は、以下の手順で、ユーザー登録を行うことができます。
なお、「製品の登録」を行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。

1

Roxio Creator LJBを起動する

2

「ヘルプ」メニューをクリック

3

「今すぐ登録」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

■ 使用上の注意

- マルチランゲージには対応していません。
- Roxio Creator LJBはCD TEXT情報をサポートしていますが、Windows Media Player上ではCD TEXT情報は反映されません。

書き込みに失敗した媒体は使用できなくなります。書き込みの失敗による媒体の補償はできません。

- 媒体に傷が付いていたり、誤ってデータを削除してしまうと、データの復旧ができません。重要なデータは必ずバックアップを取るようにしてください。
- 書き込みまたはフォーマットを行っている際、スリープ、休止、またはシャットダウンを行うとメディアが破損する場合があります。
- 「データ - コピー」の「ディスクイメージを作成」を実行する際、ISOイメージファイル、またはグローバルイメージファイル（以下、giファイル）で作成することができます。
giファイルでイメージを作成する際、データの容量が大きい場合はイメージファイルが複数に分割されることがあります。
その場合、giファイルのファイル名を変更するとDVDおよびCDへのイメージの書き込みができなくなりますので、giファイルのファイル名は変更しないでください。
- 媒体へのデータ書き込み中に他のアプリケーションを使用したり、自動的に省電力機能が働いたり、一定時間が経過すると動作するスクリーンセーバーやメールの自動受信プログラムなどが常駐していると、書き込みエラー（バッファアンダーラン）が発生する場合があります。
書き込みエラーの発生を抑えるため、データ書き込みの際は他の動作プログラムを終了し、省電力機能や常駐するプログラムを無効（オフ）にすることをおすすめします。
- 本機や、外付けドライブに振動や衝撃をあたえないでください。書き込みエラーの原因となります。
- 媒体をコピーする場合、ハードディスク内（1つのパーティション）にコピーするデータ分の空き容量が必要になります。
必要な容量を確保できないと媒体をコピーすることができませんので、大量のデータが入っている媒体をコピーする場合は、ハードディスクに十分な空き容量があることを事前に確認してください。
- バッテリーの残量がなくなると、書き込みエラーの原因になります。書き込みを行う場合は、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。
- オプション製品の光学ドライブなどをご利用の場合は、オプション製品に添付のアプリケーションを使用してください。
- 書き込みまたはフォーマットを行っている際に表示される進捗状況バー、および推定残り時間は、実際の処理と合わない場合がありますが動作に影響はありません。
- ファイルバックアップを実行中に「<ファイル名>は他のプログラムで排他的に開かれています。再試行しますか?」と表示された場合は、そのファイルを開いているプログラムを終了してから「はい」ボタンをクリックしてください。ファイルを開いているプログラムが分からない場合や終了できない場合はバックアップすることはできませんので、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

DeviceLockと同時に使用する場合の注意

DeviceLockにより光学ドライブに対して書き込みを制限している状態で、媒体へのデータの書き込みを行うと、「プロジェクトは正常に完了しました。」と表示されますが、書き込みはできていません。DeviceLockの書き込み制限を解除した状態で書き込みを実行してください。

インストール

Roxio Creator LJBのインストール



チェック

Roxio Creator LJBをインストールすると、Roxio BackOnTrackのファイルバックアップ機能が同時にインストールされます。

1

Windowsを起動する

2 光学ドライブに「Roxio Creator LJB ディスク」をセットする

3 アプリ画面 (P. 11)を表示する

4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥RC¥setup.exe△DisableProducts=MSXMLMSI_40SP3△DISABLE_XML4=1

※△は半角スペースを意味しています。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

7 光学ドライブから「Roxio Creator LJB ディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でRoxio Creator LJBのインストールは終了です。

アンインストール

Roxio Creator LJBのアンインストール



チェック

Roxio Creator LJBをアンインストールすると、Roxio BackOnTrackのファイルバックアップ機能が同時にアンインストールされます。

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Roxio Creator LJB」を選択し、「アンインストールと変更」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でRoxio Creator LJBのアンインストールは終了です。

概要	287
使用上の注意	287
インストール	289
アンインストール	290

概要

DVDを再生することができます。
機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

「CyberLink PowerDVD」のヘルプ（画面右上の「？」ボタンをクリックすることで開くことができます）



チェック

- CyberLink PowerDVDでは音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Audioの再生はサポートしていません。
- 本機では、リージョンコード（国別地域番号）が「ALL」または「2」が含まれているDVDのみ再生することができます。
- お使いのモデルによってはCyberLink PowerDVDは添付されていない場合があります。「[アプリケーションの種類と機能 \(P. 247\)](#)」をご覧ください。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「CyberLink PowerDVD」→「CyberLink PowerDVD」をクリック

CyberLink PowerDVD画面が表示されます。

使用上の注意

- CyberLink PowerDVDの起動中は、次のことに注意してください。
 - 他のソフトを起動しないでください。コマ落ちが発生する場合があります。
 - ソフトによっては（同じように映像を表示するタイプのソフトなど）、他のソフトが起動できないことがあります。
 - 再生中は省電力状態（スリープや休止状態）へ移行しないようになっています。電源スイッチやスタートメニューなどを使って強制的にスリープや休止状態にしないでください。
- CyberLink PowerDVDを起動中に解像度/表示色/表示するディスプレイ/デュアルディスプレイ環境時のモニタ位置の変更など、おこなわないでください。
- デュアルディスプレイ機能を使っているときにディスクを再生すると、プライマリに設定されているデバイスのみに表示される場合があります。

- HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない外部ディスプレイでは、著作権保護された映像をデジタル出力できません。
- Intel® WiDi機能を使用して、HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない外部ディスプレイに接続した場合は再生できません。
- 画面回転機能使用時、画面の向きが90度と270度での再生はサポートしていません。
- スナップ機能をご利用の場合、デスクトップ画面のサイズによっては、PowerDVDの一部の機能が使用できない場合があります。PowerDVDをご使用になる場合は、デスクトップを全画面表示にしてください。
- 電源プランを「ECO」にすると、CyberLink PowerDVDは正常に動作しない可能性があります。その場合は電源プランを「標準」に変更してください。
- お使いの外部ディスプレイによっては、PowerDVDのフルスクリーン表示時に再生画面が画面サイズに収まりきらなかったり、画面サイズより小さく表示される場合があります。このような場合は、次の手順でディスプレイの設定を変更してください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「デスクトップのカスタマイズ」→「ディスプレイ」をクリック

3 「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する」にチェックを付けて、「適用」ボタンをクリック

4 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります」と表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

Windowsからサインアウトします。

サインイン画面が表示されたら、サインインしなおしてください。

- DVD再生開始時やDVDディスク内タイトルの切り替え時に時間がかかることがあります。
- ビットレートの高い映像では、スムーズな再生品質を得られない場合があります。
- DVDコンテンツの作り方により、メニュー等でマウス選択できない場合があります。
- DVDタイトルの中には、DVD再生用アプリケーションを含んだものがありますが、インストールする必要はありません。
- ディスク再生時にACアダプタを接続した状態で使用することをおすすめします。
- CyberLink PowerDVD でディスクが認識しない場合は、次のような原因が考えられます。

<ディスクの確認>

- 記録面に傷や指紋などの汚れがついている
ディスクに傷が付いていると、使用できない場合があります。
また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かって拭いてから使用してください。
- ディスクが光学ドライブに正しくセットされていない
セットされているディスクの表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイの中心に、きちんとセットしてください。
- 書き込みに失敗したディスク
書き込みに失敗したディスクは読み込めない場合があります。

- ■ ファイナライズされていないディスク
デジタルビデオカメラや、ライティングソフトで作成した場合、ファイナライズを行わないと、光学ドライブで読めない場合があります。
- 映像データファイルを記録したディスク
CyberLink PowerDVDはファイル再生には対応しておりません。
他の映像再生アプリケーション（Windows Media Playerなど）をご利用ください（その場合には、他社・コミュニティなどが用意するコーデックが必要になることがあります）。
- ディスクの劣化
記録ディスクの品質により、経年劣化、光劣化などを起こすことがあります。
ディスクを交換して試してみてください。

<ディスクの規格の確認>

AVCREC、AVCHD、ブルーレイディスクを再生させようとした可能性があります。
本機で利用できるディスクの規格を確認してください。

- AVCREC規格で記録されたDVD
著作権保護付きで、DVD媒体にハイビジョン画質のデータを記録するための規格
- AVCHD規格で記録されたDVD
ハイビジョン映像を撮影・録画するデジタルビデオカメラの規格



参照

本機で利用できるディスク

電子マニュアルビューアでお使いの機種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

<光学ドライブの確認>

- 光学ドライブの読み取りレンズが汚れているため読み取り不良になる。
ほこりや油膜などによりレンズが汚れていると、読み込みに失敗したり、読み込み時間が長くなったりすることがあります。
レンズクリーナーでレンズをクリーニングしてください。
- 光学ドライブが、使用可能ハードウェアとして認識されていない。
BIOSセットアップユーティリティのI/O制限、DeviceLockは周辺機器の使用を制限することができます。
光学ドライブを使用不可に設定していないか確認してください。
- VGA変換アダプタを使用して外部ディスプレイに接続した環境では、著作権保護されたコンテンツの再生はサポートしていません。

インストール

CyberLink PowerDVDのインストール

1

Windowsを起動する

2 光学ドライブに「CyberLink PowerDVD ディスク」をセットする

3 アプリ画面 (P. 11)を表示する

4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥POWERDVD¥setup.exe

「CyberLink PowerDVD の InstallShield Wizard へようこそ」画面が表示されます。
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

7 光学ドライブから「CyberLink PowerDVD ディスク」を取り出し、Windowsを再起動する

以上でCyberLink PowerDVDのインストールは終了です。

■ アンインストール

CyberLink PowerDVDのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「CyberLink PowerDVD」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「これにより、CyberLink PowerDVD はコンピューターから削除されます。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「CyberLink PowerDVD の個人設定を保持しますか？」と表示されたら、「いいえ」をクリック

7 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上でCyberLink PowerDVDのアンインストールは終了です。

フリック入力補助ツール

[062800-28]

概要	291
使用上の注意	
インストール	292
アンインストール	292

概要

フリック入力補助ツールは、フリック機能を使ってコントロールキーやWindowsキーを使ったショートカットキーイベントを操作するツールです。

また、「フリック入力補助ツール設定」で設定変更することによって、組み合わせ操作するキーを並び替えることができます。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

フリック入力補助ツールのヘルプ（「フリック入力補助ツール設定」を起動し、「ショートカットの割り当て」右にある「？」ボタンをクリック）

起動方法

●フリック入力補助ツールの起動

1 タスクバーにあるアイコンをクリック

- フリック入力補助ツールをインストールしたユーザでサインインしている場合、インストールすると、タスクバーにアイコンが表示されるようになります。
- インストールユーザ以外のアカウントでは、ログインすると、タスクバーにアイコンが表示されるようになります。

●「フリック入力補助ツール設定」の起動



チェック

「フリック入力補助ツール」をお使いになった上で、設定キーの変更が必要な場合に起動してください。設定キーはユーザアカウントごとに登録することができます。

1 アプリ画面 (P. 11)を表示する

2 アプリの一覧で「フリック入力補助ツール」→「フリック入力補助ツール設定」をクリック

「フリック入力補助ツール設定」の画面が表示されます。

■ インストール

フリック入力補助ツールのインストール

- 1 Windowsを起動する
- 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 3 アプリ画面 (P. 11)を表示する
- 4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
D:¥Nxsetup.exe
- 6 「フリック入力補助ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。
- 7 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 8 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でフリック入力補助ツールのインストールは終了です。

■ アンインストール

フリック入力補助ツールのアンインストール

- 1 Windowsを起動する
- 2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック
- 4 「フリック入力補助ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「フリック入力補助ツール をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」 ボタンをクリック

6 「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」 ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でフリック入力補助ツールのアンインストールは終了です。

拡張ディスプレイ操作ツール

[062900-28]

概要.....	294
使用上の注意.....	294
インストール.....	294
アンインストール.....	295

概要

拡張ディスプレイ操作ツールは、アプリケーションを外部ディスプレイ側へ移動したり、操作したりできるツールです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

デスクトップやエクスプローラから、外部ディスプレイへ移動したいアプリケーションやファイルのアイコンを、「拡張ディスプレイ操作ツール」のウィンドウへドラッグ&ドロップします。

アプリケーションが、外部ディスプレイ側に表示されます。

起動方法

1 アプリ画面 (P. 11)を表示する

2 アプリの一覧で「拡張ディスプレイ操作ツール」をクリック

使用上の注意

- 本ツールは、デスクトップ画面上で動作するアプリケーションです。OfficeやInternet Explorer、Windows Media Player、Adobe Readerなどが対象です。使用するアプリケーションによっては正常に移動、操作できないものがあります。
- 評価版、試用期間の情報ダイアログが表示されるようなアプリケーションを外部ディスプレイに表示しようとする、操作しているパソコンのディスプレイにダイアログ表示されます。このため、アプリケーションが外部ディスプレイに表示できないことがあります。あらかじめご注意ください。
- 本ツールを管理者として実行すると、ドラッグ&ドロップが動作しなくなるためランチャー機能は使えません。
- ツール内に表示される疑似タッチパッドを使うと、外部ディスプレイに移動したアプリケーション上でタッチ機能が利用できます。ただし、一部の操作は利用できないことがあります。
- 操作中は外部ディスプレイに表示されているマウスカーソルが点滅します。

インストール

拡張ディスプレイ操作ツールのインストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 アプリ画面 (P. 11)を表示する

4 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

5 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

6 「拡張ディスプレイ操作ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

8 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上で拡張ディスプレイ操作ツールのインストールは終了です。

アンインストール

拡張ディスプレイ操作ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「拡張ディスプレイ操作ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「拡張ディスプレイ操作ツール をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で拡張ディスプレイ操作ツールのアンインストールは終了です。

マカフィー リブセーフ

[063000-28]

➤ 概要.....	297
➤ 使用上の注意.....	298
➤ インストール.....	301
➤ アンインストール.....	301

概要

マカフィー リブセーフは、リアルタイムのウイルス対策とマルウェア対策、迷惑メール対策、双方向ファイアウォールの脆弱性対策、保護者機能などを搭載した包括的なセキュリティソフトウェアです。
機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

定期的にウイルスを検索するスケジュール スキャン、ネットワークや外付けドライブを経由したウイルスの侵入を常に見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。



チェック

マカフィー リブセーフのヘルプやサポート情報などを確認するには、インターネットに接続して行います。

●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてマカフィー リブセーフをセットアップした時点から60日間になります。60日間は無料で試用することができますが、試用期間が終了するとウイルス定義ファイル(DAT)、ウイルス検索エンジンを含む製品のアップデートを行なうことができなくなります。

マカフィー リブセーフのすべての機能を引き続きご利用になる場合は、マカフィー リブセーフを購入する必要があります。

購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mcafee.com>



チェック

試用期間の終了後もウイルス定義ファイル・ウイルス検索エンジンによる本体でのウイルス検索は、引き続き行なうことができます。ただし、試用期間の終了後に発見されたウイルスに対して検出・駆除が実施されませんのでご注意ください。

●マカフィー リブセーフの最新の情報

<http://www.mcafee.com>



チェック

- マカフィー リブセーフに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、マカフィーのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」をクリック

マカフィー リブセーフの画面が表示されます。

使用上の注意

マカフィー リブセーフについて

パソコンのデータとWeb閲覧を保護するために、マカフィーセキュリティ対策の最新の更新をインストールしてください。

新しいウイルス、ハッカーの攻撃など、パソコンやデータはオンライン脅威に常にさらされています。セキュリティ対策の更新により、新しいウイルス、スパイウェアなどの脅威を阻止するだけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールすることができます。



チェック

- マカフィー リブセーフの更新やクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネットに接続して行います。インターネットに接続のために必要なインターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

アップデートについて

新たに発生する脅威からパソコンを保護するために、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしてください。



チェック

- マカフィーソフトウェアを購入して登録すると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
- マカフィー リブセーフの更新は、インターネットに接続して行います。

◆更新の確認

自動更新が有効になっている場合でも、更新を確認することができます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の確認」をクリック



メモ

通知領域にあるマカフィーのアイコンを右クリックして「更新の確認」を選択しても、更新を確認することができます。

◆更新オプションの選択

自動更新では、新しいウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する保護機能だけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールされます。また、更新の方法を手動で変更することができます。更新オプションを選択するときは、次の手順で行います。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の設定」をクリック

3 自動更新を受信するオプションを選択する

- 「更新を自動的にダウンロードしてインストールする。」
- 「更新をダウンロードするが、インストール前に通知する。」
- 「更新が使用可能になったら通知する。」

4 「適用」をクリック

◆自動更新の有効/無効の設定

自動更新は、次の手順で有効または無効にすることができます。



チェック

更新を受信することで、新たに発生する脅威からパソコンを保護することができるため、自動更新を無効にしないことをおすすめします。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の設定」をクリック

3 「有効にする」または「無効にする」をクリック

スケジュール スキャンについて

スケジュール スキャンを設定すると、パソコンを定期的にスキャンし、ウイルス、スパイウェアなどの脅威を確認することができます。

次の手順で、スケジュール スキャンを設定してください。

1 「ホーム」にある「ウイルスおよびスパイウェア対策」をクリック

2 「スケジュール スキャン」をクリック

3 「スケジュール スキャン」で、ステータスが「無効」の場合は「有効にする」をクリック

4 「スキャン スケジュールの設定」をクリックし、スキャンのスケジュールを選択する



チェック

独自のスキャンスケジュールを設定する場合は、「独自のスキャンスケジュールを作成」にチェックをつけ、スキャンを開始する時刻と、月/週/日のいずれかを設定してください。

5 スキャン中のパソコンのリソース消費を最小限にするには、「最小限のコンピューターリソースを使用してスキャンを実行する」を選択する

6 パソコンのバッテリー消費を最小限にするには、「電源プラグ使用時にのみスキャンを開始する」を選択する

7 「適用」をクリック

以上でスケジュール スキャンの設定は終了です。

ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーションが安全なものであることを確認した上で、マカフィー リブセーフのヘルプをご覧ください。

ボリューム削除時のウィンドウについて

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合がありますが動作に影響はありません。

警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」 ボタンをクリックしてください。

インストール



チェック

- デスクトップにある「LiveSafe」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「LiveSafe」アイコンは表示されません。

マカフィー リブセーフのインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってマカフィー リブセーフをインストールしてください。

1

Windowsを起動する

2

光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3

アプリ画面 (P. 11)を表示する

4

アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

5

「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

6

「マカフィー リブセーフ」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

7

「インストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

8

Windowsを再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でマカフィー リブセーフのインストールは終了です。

アンインストール

マカフィー リブセーフのアンインストール

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3

「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」を選択し、「アンインストールと変更」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「ソフトウェアが削除されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でマカフィー リブセーフのアンインストールは終了です。

概要.....	303
使用上の注意.....	304
インストール.....	304
アンインストール.....	305

概要

ファイルの圧縮、保護、共有を行うことができるユーティリティです。



チェック

画面に表示されている「WinZip XX」は各バージョン名が表示されます。

機能の詳細および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や最新情報

ヘルプ（WinZip の試用版を起動し、「ヘルプ」→「ホームページ」をクリック）



チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてWinZipをセットアップした時点から45日間になります。引き続きご利用になる場合は、WinZipを購入する必要があります。試用期間が終了する前に、WinZipのアクティベーションを実行することをおすすめします。



チェック

ご購入いただいたバージョンと異なるバージョンの体験版がインストールされている場合は、アクティベーションができません。必ず、バージョンをご確認の上アクティベーションを行ってください。バージョンが異なる場合には、アンインストールの上、ご購入されたプログラムをインストールしなおしてください。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 11)を表示する

2

アプリの一覧で「WinZip」をクリック

WinZipの画面が表示されます。

■ 使用上の注意

● 更新の確認

更新を確認するときは、次の手順で行います。

1 画面にある「ヘルプ」をクリック

2 「アップデートをチェックする」をクリック



チェック

WinZipの更新は、インターネットに接続して行います。

● WinZip Express アドオンについて

WinZip Express アドオンは以下のソフトウェアに対応しています。本機能を使用することにより、圧縮、暗号化、共有化の設定を指定することができます。

- Windows Explorer
- Microsoft Office
- Microsoft Outlook
- Microsoft SharePoint
- フォト管理



チェック

アドオンには、登録済みのWinZip インストール版が必要です。

■ インストール



チェック

- デスクトップにある「WinZip」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「WinZip」アイコンは表示されません。

WinZip のインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってWinZipをインストールしてください。

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「D:¥WinZip」フォルダをハードディスクの任意の場所にコピーする



メモ

ここでは「C:¥TEMP」にコピーした場合の手順を説明します。
必要に応じて読み替えてください。

4 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

5 アプリ画面 (P. 11)を表示する

6 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

7 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥TEMP¥WinZip¥winzip.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

8 インストールが完了したら、Windowsを再起動する



メモ

手順3でコピーしたフォルダは自動的に削除されません。
WinZipのインストールが終了したら削除することをおすすめします。

以上でWinZip のインストールは終了です。

アンインストール

WinZip のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「WinZip XX」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でWinZip のアンインストールは終了です。

トラブル解決Q&A

[100000-28]

➤ 電源.....	308
➤ バッテリ.....	329
➤ タッチパッド.....	331
➤ タッチパネル.....	339
➤ マウス.....	341
➤ 表示.....	345
➤ 文字入力.....	363
➤ ファイル保存.....	369
➤ LAN機能.....	373
➤ 無線LAN機能.....	380
➤ サウンド.....	388
➤ 印刷.....	396
➤ ハードディスク.....	400
➤ 光学ドライブ.....	409
➤ 周辺機器.....	427
➤ Bluetooth機能.....	434
➤ アプリケーション.....	437
➤ 再セットアップ.....	449
➤ その他.....	451

[100100-28]

➤ はじめに確認してください.	309
➤ 電源が入らない.	310
➤ ディスプレイに何も表示されない.	311
➤ Windowsが起動しない.	313
➤ 「自動修復」画面が表示された.	314
➤ 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された.	315
➤ パスワードを忘れてしまった.	316
➤ 電源が切れない.	318
➤ 自動的にスリープ状態にならない.	319
➤ スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのサインイン画面が表示された.	320
➤ スリープ状態にできない.	321
➤ スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した.	322
➤ 休止状態にできない.	323
➤ チャーム バーの「電源」から休止状態にできない.	324
➤ 休止状態から復帰できない、復帰に失敗した.	325
➤ Windowsの電源設定ができない.	326
➤ 本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう.	327
➤ USBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい.	328

はじめに確認してください

[100102-28]

本機とACアダプタやバッテリー、電源コード、ACコンセントなど、周辺機器の接続を確認してください。

電源が入らない、画面が表示されない、などの場合、本機とACアダプタ、バッテリー、周辺機器などの接続が正しく行われていない可能性があります。

本機や使用している周辺機器のマニュアルをご覧ください、一度接続をやりなおしてみてください。

使用しているアプリケーションや周辺機器が、スリープ状態や休止状態に対応しているか確認してください。

アプリケーションや周辺機器によっては、使用しているとスリープ状態や休止状態にならないものや、正常に動作しないものがあります。

正常に動作しなくなった場合は、一度本機の電源を切って、電源を入れなおしてください。



チェック

本機の電源を切った場合、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。作業中だったデータは失われます。

Q : 電源が入らない

[100101-28]



チェック

次のことをチェックしても電源が入らない、起動しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定 & 修理に関するご案内』

A : バッテリーが切れている可能性があります。

本機をバッテリーのみで使用している場合、バッテリーが切れている可能性があります。

本機にACアダプタを接続し、ACコンセントに接続して充電を行ってください。バッテリーを充電しながら、本機を使用することもできます。



参照

バッテリーの充電について

「本機の機能」の「バッテリー」 - 「バッテリーの充電 (P. 64)」

A : 購入後、最初に電源を入れるときは、必ずACアダプタを使用します。

ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。バッテリーを使用するには、充電が必要になります。

Q : ディスプレイに何も表示されない

[100603-28]

A : 電源ランプを確認してください。



参照

電源ランプについて

「本機の機能」の「各部の名称」 - 「表示ランプ (P. 35)」

●電源ランプが点灯していない場合

本機の電源が入っていないか、休止状態になっています。電源スイッチを押して、本機を起動するか、休止状態から復帰させてください。

●電源ランプが点滅している場合

本機はスリープ状態になっています。本機をスリープ状態から復帰させてください。



参照

スリープ状態からの復帰について

「本機の機能」の「電源」 - 「スリープ状態 (P. 42)」

●電源ランプが点灯している場合

本機の電源は入っています。次のことを試して、ディスプレイが表示されないか確認してください。

● 外部ディスプレイのみに画面を出力する設定になっていないか確認してください

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイのみにしている場合、本機の液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を確認してください。



参照

画面の出力先の切り替えについて

「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 113)」

● タッチパッドなどのポインティングデバイス进行操作してみてください

電源プランの設定などにより、ディスプレイが省電力状態になっている可能性があります。タッチパッドなどのポインティングデバイス进行操作して、ディスプレイの省電力状態が解除されないか確認してください。

● 液晶ディスプレイの輝度が適切か確認してください

液晶ディスプレイの輝度が、画面が見えにくい値になっている可能性があります。液晶ディスプレイの輝度を調整してみてください。



参照

液晶ディスプレイの輝度の調整について

「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「画面表示の調整 (P. 106)」

- **DirectXを使用するアプリケーションを使用している場合は、アプリケーションの設定を確認してください**
DirectXを使用するアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。



メモ

本機では、320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。



チェック

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されない場合は、故障が考えられます。ご購入元、またはNECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q : Windowsが起動しない

[100103-28]

A : DVD、CDがドライブにセットされている場合は、それらを取り出してください。

DVD、CDがセットされたままで本機の電源を入れると、セットされた媒体から本機を起動しようとしてWindowsが起動しない場合があります。媒体を取り出して本機を再起動してください。

A : USBメモリや外付けのディスクドライブなどを使用している場合は、それらを取り外してください。

起動ディスクとして使用可能な周辺機器が取り付けられていると、それらの機器から起動しようとしてWindowsが起動しない場合があります。

A : BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。

BIOSセットアップユーティリティの設定が不正になっている可能性があります。

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」 - 「工場出荷時の設定値に戻す (P. 235)」をご覧ください。また、BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してみてください。



チェック

上記のことをすべてチェックしても、Windowsが起動できない場合は、ハードディスクがフォーマット（初期化）されてしまったか、システムが壊れている可能性があります。『再セットアップガイド』をご覧ください。また、本機のシステムを復旧、または再セットアップしてください。



参照

システムの復旧、再セットアップについて
『再セットアップガイド』

Q : 「自動修復」画面が表示された

[100104-08]

A : Windowsが正常に起動できなかった場合に表示されます。

「復元」ボタンをクリックしシステムの復元を行ってください。

PCを修復できなかった場合は、画面の指示に従い「PCのリフレッシュ」等を行ってください。

Q : 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」 と表示された

[100106-28]

A : キャップスロックやニューメリックロックの状態を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックやニューメリックロックの状態によって、入力される文字が異なり、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックやニューメリックロックのオン／オフを切り替えて、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックのオン／オフは【Shift】 + 【Caps Lock】 で切り替えることができます。

ニューメリックロックのオン／オフは【Num Lock】 を押すことで切り替えることができます。

A : ユーザー名を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

選択したユーザー名を確認し、選択したユーザーのパスワードをもう一度正しく入力してください。

Q : パスワードを忘れてしまった

[100107-28]

Windowsのパスワードを忘れてしまった場合

A : 忘れてしまったパスワードを復元することはできません。次のいずれかの方法で対処してください。

- サインインに失敗した場合、再度表示されるWindowsのサインイン画面にパスワードのヒントが表示されるので、そのヒントを確認しパスワードを思い出す
- 別のユーザーでサインインする
- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインして、パスワードを変更する
- 「パスワード リセット ディスク」を使って新しいパスワードを作成する



メモ

「パスワード リセット ディスク」について

「コントロール パネル (P. 11)」を表示し、「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」→「ユーザー アカウント」の「パスワード リセット ディスクの作成」で作成してください。



チェック

お使いのコンピュータの管理者（Administrator）権限を持つユーザーすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

スーパバイザパスワードを忘れてしまった場合

A : NECにお問い合わせください。



チェック

- パスワード解除処置は、保証期限内でも有償です。
- パスワード解除処置は、NECでの対応となります。
- パスワード解除処置は、原則として修理対応となりますので、121コンタクトセンターへお問い合わせください。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定&修理に関するご案内』

■ ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合

A : パスワードの解除はできません。ハードディスクおよびハードディスク内のデータの利用ができなくなります。



チェック

この場合、ハードディスクは有償交換となり、ハードディスクに保存したデータは、お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。

Q：電源が切れない

[100112-28]

A：アプリケーションに異常が起きていないか確認してください。

「電源の入れ方と切り方」の手順で電源が切れない場合、アプリケーションがフリーズ（ハングアップ）するなどの異常を起こしていることが考えられます。

異常を起こしているアプリケーションがないか確認し、あった場合は「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 444\)](#)」の手順で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、もう一度、電源を切る操作を行ってください。



チェック

アプリケーションを強制的に終了させると、保存していないデータの変更が反映されない場合や、データが消えてしまう場合があります。



参照

正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「[電源の入れ方と切り方 \(P. 37\)](#)」

この方法でも正常に電源を切ることができない場合は、次の手順で本機を強制的に終了させてください。

●強制的に電源を切る



チェック

- 強制的に電源を切って終了させた場合、保存していないデータは消えてしまいます。また、直前に保存したデータが破損、または消えてしまう場合があります。
- ハードディスクへアクセス中に電源スイッチを押すと、パソコンが故障する原因となることがあります。
- 電源スイッチでスリープ状態や休止状態になるように設定されている場合、以下の操作をすると、電源が切れずに省電力状態になることがあります。そのようなときは、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを4秒以上押し続けて本機を強制的に終了させてください。なお、工場出荷時の状態では、電源スイッチでスリープ状態になるように設定されています。

本機の電源を強制的に切る場合は、4秒以上電源スイッチを押し続けてください。

●電源を強制OFFできない場合

4秒以上電源スイッチを押し続けても電源が切れない場合には、もう一度4秒以上電源スイッチを押し続けてください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元、またはNECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q：自動的にスリープ状態にならない

[100201-28]

A：使用中の電源プランの設定を確認してください。

電源プランの設定で、自動でスリープ状態にならない設定にしているか確認してください。



参照

電源プランの設定

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の設定 (P. 46)」

A：一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を使用していないか確認してください。

双方向通信をするプリンタなど、一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を接続している場合、自動的にスリープ状態にならない場合があります。

A：実行中のアプリケーションがある場合は終了してみてください。

Q : スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのサインイン画面が表示された

[100203-08]

A : サインインするユーザーを選択し、パスワードを入力してWindowsにサインインしてください。

スリープ状態または休止状態から復帰するときに、サインイン画面が表示されないようにするには、次の手順を行ってください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[「ユーザー アカウント制御」について \(P. 10\)](#)」

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「スリープ解除時のパスワードの要求」をクリック
- 3 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック
- 4 「スリープ解除時のパスワード保護」欄で「パスワードを必要としない」を選択し、「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

Q : スリープ状態にできない

[100204-08]

A : USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用していないか確認してください。

USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用している場合は、スリープ状態にできない場合があります。

ファイルを開いている場合はファイルを閉じ、プログラムを実行している場合はプログラムを終了してください。

A : USB接続の機器が接続されているかどうか確認してください。

パワーオフUSB充電機能をご使用の場合、接続している機器によってはスリープ状態にできない場合があります。

パワーオフUSB充電ポートから接続機器を取り外し、スリープ状態に移行できたことを確認した後、機器を再接続してください。

Q : スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した

[100205-28]

A : 電源ランプの状態とバッテリー残量を確認してください。

●電源ランプが点滅しているが、バッテリー残量が少ない場合

ACアダプタを取り付けACコンセントに接続し、液晶ディスプレイを開いた状態で本機の電源を入れると、データが復帰できる場合があります。

●電源ランプが消灯している場合

スリープ状態中に電源が切れてしまったか、バッテリー残量が少なくなり休止状態に移行した（工場出荷時の設定）可能性があります。

ACアダプタを取り付けACコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。休止状態に移行している場合は、休止状態から復帰し、スリープ状態になる前の状態に復帰できます。



チェック

休止状態に移行せずに電源が切れた場合は、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。
作業中だったデータは失われます。

A : スリープ状態への移行処理中に、次の操作を行わなかったか確認してください。

● ディスプレイを閉じる

このような操作を行うと、スリープ状態から復帰できなくなる場合があります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。



チェック

この場合、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。保存していなかったデータは失われます。

Q：休止状態にできない

[100207-08]

A：工場出荷時はチャーム バーの「電源」に「休止状態」は表示されません。

詳しくは、「チャーム バーの「電源」から休止状態にできない (P. 324)」をご覧ください。

A：ハードディスクの空き領域が不足している可能性があります。

休止状態はハードディスクに本機のメモリなどの状態を記録するため、ハードディスクに一定の空き領域が必要です。ハードディスクの空き領域が十分にあるか確認してください。

A：USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用していないか確認してください。

USB接続の光学ドライブにセットされたディスクにあるファイルやプログラムを使用している場合は、休止状態にできない場合があります。

ファイルを開いている場合はファイルを閉じ、プログラムを実行している場合はプログラムを終了してください。

Q：チャームバーの「電源」から休止状態にできない

[100208-28]

A：工場出荷時は「電源」のメニューに「休止状態」は表示されません。

「休止状態」を表示するには、「電源の設定」の「電源メニューに休止状態を表示させる」の手順で設定を変更してください。



参照

電源メニューに休止状態を表示させる

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の設定」 - 「電源メニューに休止状態を表示させる (P. 48)」

Q：休止状態から復帰できない、復帰に失敗した

[100209-08]

A：休止状態の間に、周辺機器の取り外しなど機器構成の変更をしなかったか確認してください。

休止状態の間に、周辺機器の取り外しなど機器構成の変更をすると、休止状態からの復帰ができなくなり、作業中のデータが失われる場合があります。

機器構成を変更する場合は、一度休止状態から復帰し、本機の電源を切ってから行ってください。

Q : Windowsの電源設定ができない

[100210-08]

A : 権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインして省電力の設定を行う必要があります。

Q : 本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう

[100211-28]

A : 工場出荷時は、省電力のため自動でスリープ状態になるように設定してあります。

自動でスリープ状態になるのを無効にしたい場合は、Windowsの電源プランの設定を変更してください。



参照

電源プランの設定

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の設定 (P. 46)」

Q : USBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい

[100212-28]



チェック

機種によって「電源の管理」タブが表示されない場合があります。その場合は他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

A : 次の手順で設定を行ってください。

1

「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2

「マウスとそのほかのポインティング デバイス」をダブルクリック

3

設定を変更するUSBマウスをダブルクリック

4

「電源の管理」タブをクリック

5

次のように設定する

- スリープ状態から復帰するように設定する場合
「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを付ける
- スリープ状態から復帰しないように設定する場合
「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックを外す

6

「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。



チェック

USBマウスでスリープ状態から復帰する設定にしても、USBマウス操作でスリープ状態から復帰できない場合があります。その場合は他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

[100300-28]

- タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない. 330

Q : タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない

[100302-08]

A : 次の手順で設定してください。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「タスク バーとナビゲーション」をクリック
- 3 「タスク バー」タブをクリックし、「通知領域」の「カスタマイズ」ボタンをクリック
- 4 「電源」の動作欄で「アイコンと通知を表示」を選択する
- 5 「OK」ボタンをクリック
- 6 「OK」ボタンをクリック

Q&A : タッチパッド

[100400-28]

- タッチパッドが動作しない. 332
- タッチパッドの反応が鈍い. 335
- タッチパッドの拡張機能を使用したい. 336
- 文字入力中に、タッチパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう. 337
- 一時的にタッチパッドを無効にしたい. 338

Q：タッチパッドが動作しない

[100401-28]

A：タッチパッドや操作する指が汚れていないか確認してください。

タッチパッドや操作する指に水分や脂分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

A：タッチパッドを操作する際は次の点に注意してください。

- **指先で操作する**
指先以外で操作すると、正常に動作しない場合があります。
- **力をかけすぎない**
必要以上に力をかけると、正常に動作しない場合があります。

A：タッチパッドの2カ所以上に同時に触れていないか確認してください。

本機のタッチパッドはマルチタッチに対応しています。タッチパッドの2カ所以上に同時に触れていると、別の操作となる場合があります。

A：タッチパッド上のスクロール領域で操作していないか、確認してください。

タッチパッドドライバ使用時、タッチパッドドライバでタッチパッドのスクロール機能を有効に設定していると、パッドのスクロール領域（右端、下端）でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。右端や下端でも操作したい場合は、スクロール機能を無効にするか操作領域を変更してください。



参照

スクロール機能の有効／無効、領域の設定方法

「本機の機能」の「タッチパッド」 - 「タッチパッドの設定 (P. 87)」

A：マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、タッチパッドなどのポインティングデバイスをクリックしても操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。

しばらく待ってもタッチパッドなどのポインティングデバイスの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。



参照

アプリケーションの強制終了

「アプリケーション」の「アプリケーションを強制的に終了させたい (P. 444)」

A : マウสดライバの変更などで一時的にタッチパッドが使用できなくなっている可能性があります。

マウスポインタが動かない場合は、次の手順で、キーボードを使用して本機を再起動してください。

1 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】を押す

2 【Tab】を使用して  を選択し、【Enter】を押す

3 【↑】【↓】で表示されたメニューから「再起動」を選択し、【Enter】を押す

A : 【Fn】 + スペースキーを押し、タッチパッドがオンになるか確認してください。

タッチパッドドライバ使用時は、【Fn】 + スペースキーを押すことで、タッチパッドのオン／オフを切り替えることができます。

【Fn】 + スペースキーを押して、タッチパッドがオンになるか確認してください。



参照

【Fn】について

「本機の機能」の「キーボード」 - 「キーの使い方 (P. 82)」

A : タッチパッドドライバで、USBマウス接続時にタッチパッドを使用しない設定になっているか確認してください。

次の手順で設定を確認してください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック
「マウスのプロパティ」が表示されます。

3 「Touch Pad」タブをクリック

「マウスが接続されたときタッチパッドを自動的に無効にします。(この機能を有効にしてマウスを接続した場合、Fn+Spaceを押してもタッチパッドは有効になりません)」にチェックが付いている場合、USBマウスを接続しているとタッチパッドでの操作が行えません。

USBマウスと同時にタッチパッドを使用する場合は、チェックを外してください。



チェック

本機では、「タッチパッド」のことを「NXパッド」「Touch Pad」と表示することがあります。

4 「OK」ボタンをクリック

A : BIOSセットアップユーティリティでタッチパッドを使用しない設定になっていないか確認してください。



参照

- **BIOSセットアップユーティリティについて**
「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」
- **BIOSセットアップユーティリティの設定項目**
「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「[「Config」メニュー \(P. 238\)](#)」

Q：タッチパッドの反応が鈍い

[100402-28]

A：タッチパッドや操作する指が汚れていないか確認してください。

タッチパッドや操作する指に水分や脂分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

A：タッチパッドを操作する際は次の点に注意してください。

- **指先で操作する**
指先以外で操作すると、正常に動作しない場合があります。
- **力をかけすぎない**
必要以上に力かけると、正常に動作しない場合があります。

A：マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、タッチパッドなどのポインティングデバイスをクリックしても反応が鈍くなる場合があります。処理が終わるまでお待ちください。しばらく待っても処理が終了しない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。



参照

アプリケーションの強制終了

「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 444\)](#)」

A：ポインタの移動速度が遅く設定されていないか確認してください。

次の手順でポインタの移動速度の設定を確認し、必要に応じて設定しなおしてください。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する**
- 2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック**
- 3 「ポインター オプション」タブをクリックし、「速度」欄でポインタの速度を確認し、必要に応じて設定しなおす**
- 4 「OK」ボタンをクリック**

Q : タッチパッドの拡張機能を使用したい

[100403-28]

A : 次の手順で、タッチパッドドライバの設定画面を表示し設定を行ってください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック



チェック

- タッチパッドのドライバを「PS/2 互換マウス」に変更した場合、タッチパッドの拡張機能を使用するには、ドライバをタッチパッドドライバへ戻す必要があります。
- 本機では、「タッチパッド」のことを「NXパッド」「Touch Pad」と表示することがあります。



参照

- **タッチパッドドライバへ戻す**
「本機の機能」の「タッチパッド」 - 「タッチパッドドライバへ戻す (P. 94)」
- **タッチパッドの拡張機能を使用する**
「本機の機能」の「タッチパッド」 - 「タッチパッドの設定 (P. 87)」

Q : 文字入力中に、タッチパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう

[100704-28]

A : 文字入力中にタッチパッドに手が触れたり、タッチパッドの近くに手が行ったりしたためです。

タッチパッドに手が触れたり、タッチパッドの近くに手が行ったりすると、手が触れていなくてもタッチパッドで使用している静電容量式という仕組みのためにタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう場合があります。

タッチパッドドライバを使用している場合、パッドの感度を調整したり、【Fn】+スペースキーを押して、タッチパッドのオン/オフを切り替えることができます。



参照

- **パッドの感度の調整**
「本機の機能」の「タッチパッド」 - 「[タッチパッドの設定 \(P. 87\)](#)」
- **【Fn】について**
「キーボード」の「[キーの使い方 \(P. 82\)](#)」

BIOSセットアップユーティリティの「Config」メニュー-「Keyboard/Mouse」の「Trackpad」を「Disabled」に設定することで、タッチパッドを無効にできます。



参照

- **タッチパッドを無効にする**
「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」および「[設定項目一覧 \(P. 236\)](#)」

Q：一時的にタッチパッドを無効にしたい

[100405-28]

A：【Fn】 + スペースキーを押すごとにタッチパッドのオン／オフが切り替わります。



参照

【Fn】について

「本機の機能」の「キーボード」 - 「キーの使い方 (P. 82)」

Q&A：タッチパネル

[102800-28]

- タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある..... 340

Q：タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある

[102802-28]

A：タッチパネルの設定をリセットしてみてください。

タッチパネルの設定をリセットし、ご購入時の状態に戻してみてください。

タッチパネルの設定をリセットしても、問題が解決しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。



参照

- **タッチパネルの設定のリセットについて**
「本機の機能」の「タッチパネル」 - 「タッチパネルの設定」 - 「[タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする \(P. 77\)](#)」
- **NECのお問い合わせ先について**
『保証規定 & 修理に関するご案内』

[100500-28]

- はじめに確認してください. 342
- マウスを動かしても、何も反応しない. 343
- マウスの動きが悪い. 344

はじめに確認してください

[100503-28]

マウスと本機が正しく接続されていることを確認してください。

マウスが反応しない、動きが悪い場合は、マウスと本機との接続が緩んだり外れたりしていないか確認してください。

Q : マウスを動かしても、何も反応しない

[100501-28]

A : マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、マウスをクリックしても操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。

しばらく待ってもマウスからの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。



参照

アプリケーションの強制終了

「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 444\)](#)」

A : マウスの設定が正しく行われているか確認してください。

他社製USBマウスを使用している場合は、ドライバなどの設定が必要になる場合があります。設定が正しく行われているか確認してください。



参照

マウスの設定について

「本機の機能」の「マウス」 - 「[マウスを接続するための設定方法 \(P. 99\)](#)」

Q : マウスの動きが悪い

[100502-00]

A : マウスのセンサー周辺が汚れていないか確認し、汚れている場合は掃除してください。

レーザー式や光学式マウスをお使いの場合、底面のセンサーにほこりなどが付着して、マウスの移動を正しく読み取ることができなくなる場合があります。センサーの周辺の汚れやほこりを軽く払ってください。



チェック

マウスのお手入れについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

A : レーザー式や光学式マウスをお使いの場合は、光沢のない無地の紙の上で動作するか確認してください。

レーザー式や光学式マウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光学式マウスの場合、光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢がない無地の印刷用紙やそれぞれのマウス（レーザー式または光学式）に対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

[100600-28]

➤ はじめに確認してください.	346
➤ 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる.	347
➤ 表示できるはずの高解像度を選択できない.	348
➤ ディスプレイに何も表示されない.	349
➤ ディスプレイが突然明るくなる、暗くなる.	351
➤ 画面が回転しない.	352
➤ 画面の色調を調整したい.	353
➤ 再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない.	354
➤ 動画の再生中に画面が消えてしまう.	355
➤ CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない.	356
➤ CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない.	357
➤ 画面の表示位置やサイズがおかしい.	358
➤ 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される.	359
➤ HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない.	360
➤ HDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある.	361
➤ デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう.	362

はじめに確認してください

[100618-28]

本機や外部ディスプレイの電源の状態を確認してください。

画面が表示されない、途中で消えるなどの場合は、本機がスリープ状態や休止状態になっていたり、外部ディスプレイ使用時は外部ディスプレイの省電力機能が動作したり、電源が切れていないか確認してください。

外部ディスプレイ使用時は、本機と外部ディスプレイの接続を確認してください。

外部ディスプレイを使用している場合は、本機と外部ディスプレイが正しく接続されているか、また正しいケーブルを使用しているか確認してください。

Q：電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

[100601-28]

A：液晶ディスプレイの電源が切れている可能性があります。

使用中の電源プランで「ディスプレイの電源を切る」が設定されている場合、液晶ディスプレイの電源が切れている可能性があります。タッチパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作することで、液晶ディスプレイの電源が入り、画面が表示されます。元に戻らない場合は、本機がスリープ状態になっている可能性があります。

A：本機がスリープ状態になっている可能性があります。

電源ランプで本機の状態を確認し、本機がスリープ状態になっている場合は復帰させてください。
一定時間経過後にスリープ状態にならないように設定したい場合は、Windowsの電源プランの設定を変更してください。



参照

- **電源ランプについて**
「本機の機能」の「各部の名称」 - 「表示ランプ (P. 35)」
- **スリープ状態からの復帰方法について**
「本機の機能」の「電源」 - 「スリープ状態 (P. 42)」
- **電源プランの設定**
「本機の機能」の「電源」 - 「電源の設定 (P. 46)」

Q：表示できるはずの高解像度を選択できない

[100602-28]

A：外部ディスプレイを使用している場合、プラグアンドプレイ（DDC）対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度などサポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

「本機の機能」の「外部ディスプレイ」 - 「ディスプレイに合わせた設定 (P. 131)」をご覧ください、ディスプレイの種類を指定してください。

Q : ディスプレイに何も表示されない

[100603-28]

A : 電源ランプを確認してください。



参照

電源ランプについて

「本機の機能」の「各部の名称」 - 「表示ランプ (P. 35)」

●電源ランプが点灯していない場合

本機の電源が入っていないか、休止状態になっています。電源スイッチを押して、本機を起動するか、休止状態から復帰させてください。

●電源ランプが点滅している場合

本機はスリープ状態になっています。本機をスリープ状態から復帰させてください。



参照

スリープ状態からの復帰について

「本機の機能」の「電源」 - 「スリープ状態 (P. 42)」

●電源ランプが点灯している場合

本機の電源は入っています。次のことを試して、ディスプレイが表示されないか確認してください。

● 外部ディスプレイのみに画面を出力する設定になっていないか確認してください

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイのみにしている場合、本機の液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を確認してください。



参照

画面の出力先の切り替えについて

「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 113)」

● タッチパッドなどのポインティングデバイス进行操作してみてください

電源プランの設定などにより、ディスプレイが省電力状態になっている可能性があります。タッチパッドなどのポインティングデバイス进行操作して、ディスプレイの省電力状態が解除されないか確認してください。

● 液晶ディスプレイの輝度が適切か確認してください

液晶ディスプレイの輝度が、画面が見えにくい値になっている可能性があります。液晶ディスプレイの輝度を調整してみてください。



参照

液晶ディスプレイの輝度の調整について

「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「画面表示の調整 (P. 106)」

- **DirectXを使用するアプリケーションを使用している場合は、アプリケーションの設定を確認してください**
DirectXを使用するアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。



メモ

本機では、320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。



チェック

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されない場合は、故障が考えられます。ご購入元、またはNECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q : ディ스플레이が突然明るくなる、暗くなる

[100622-28]

A : ディ스플레이の明るさは、周りの明るさに応じて変わります。

本機には、周辺の明るさを検知するための輝度センサが搭載されています。そのため、周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさが変わります。



チェック

ディスプレイの明るさを自動調整する機能が有効になっている場合は、起動時やスリープ、休止状態からの復帰時にディスプレイが一瞬明るくなったり暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。



参照

輝度センサの位置について

「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 29\)](#)」

ディスプレイの明るさを固定したい場合は、次の手順で「画面の明るさを自動的に調整する」を無効にしてください。

1

チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2

「PC設定の変更」をクリック

3

「PCとデバイス」をクリック

4

「電源とスリープ」をクリック

5

「明るさ」の「画面の明るさを自動的に調整する」をオフにする

Q：画面が回転しない

[100620-28]

画面が自動回転しない場合

A：画面の自動回転が一時的に停止（ロック）されていないか確認してください。

画面の自動回転がロックされていると、自動回転しません。

画面の自動回転のロック／ロック解除は、画面回転ロックボタンを押すことで切り替えることができます。画面回転ロックボタンを押し、自動回転の設定を確認してください。

Q：画面の色調を調整したい

[100606-28]

A：次の手順で調整してください。

- 1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2** 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3** 「詳細設定」をクリック
- 4** 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリック
- 5** 「グラフィックス・プロパティー」ボタンをクリック
- 6** 「ディスプレイ」をクリック
- 7** 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック
- 8** 「色設定」タブをクリック

表示される画面で色調の調整を行ってください。

Q：再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

[100607-28]

A：動画の再生を行うアプリケーション以外のアプリケーションを終了してください。

動画の再生には処理能力を多く必要とするものもあり、複数のアプリケーションを使用中に動画の再生を行うと、再生がとぎれる場合や、なめらかに再生ができない場合があります。

A：再生中はウィンドウの大きさや位置を変更しないでください。

動画の再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変更すると、音飛びや画像の乱れの原因になる場合があります。

A：Intel® WiDiで接続した外部ディスプレイやテレビに表示している場合は、解像度を低くしてください。

Intel® WiDiで接続した外部ディスプレイやテレビに表示している映像が乱れやすい場合は、解像度を1,280×720に設定してください。

画質は低下しますが、転送するデータ量が減るため映像が安定する場合があります。

Q：動画の再生中に画面が消えてしまう

[100608-08]

A：電源の設定を確認してください。

MPEG形式の動画を再生中にスリープ状態や休止状態に移行した場合や、ディスプレイの省電力機能やパワーマネジメント機能が働いた場合、再生画面が消えてしまいます。

動画を再生するときは、スリープ状態や休止状態およびディスプレイの省電力機能やパワーマネジメント機能をオフにしてください。

Q : CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない

[101914-00]

A : CPRM (Content Protection for Recordable Media) 方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

インターネット経由でのアクティベーションにより、CPRMの著作権保護機能に対応することができます。



チェック

外部ディスプレイ使用時、接続しているディスプレイが、HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない場合は、著作権保護された映像をデジタル出力できません。



メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q : CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない

[101906-08]

A : CyberLink PowerDVDで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで利用できるディスクであっても、本機やCyberLink PowerDVDで使えない規格で記録されていると認識ができない場合があります。

また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。



参照

CyberLink PowerDVDで利用できるディスクの規格、ディスクや光学ドライブの確認について
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD」 - 「[使用上の注意 \(P. 287\)](#)」

Q : 画面の表示位置やサイズがおかしい

[100610-28]

A : ディスプレイストレッチ機能の設定を確認してください。

ディスプレイストレッチ機能が無効の状態、デスクトップの解像度を液晶ディスプレイの解像度よりも小さい解像度に設定した場合、画面は液晶ディスプレイ中央に表示され、周辺には黒い枠が表示されます。

画面を液晶ディスプレイ全体に拡大表示したい場合は、ディスプレイストレッチ機能を有効にしてください。



参照

ディスプレイストレッチ機能について

「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「ディスプレイストレッチ機能 (P. 112)」

A : 外部ディスプレイを使用している場合は、ディスプレイ側で表示位置やサイズを調整してください。



参照

表示位置やサイズの調整について

ディスプレイに添付のマニュアル

Q：外部ディスプレイで画面が流れるように表示される

[100611-28]

A：お使いのディスプレイのディスプレイ情報ファイルを最新のものに更新してください。

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイルがないためにディスプレイの同期がとれず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイルを入手し、セットアップしてください。

Q : HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない

[100616-28]

A : 出力先がHDMIコネクタに設定されているか確認してください。



参照

画面の出力先の切り替えについて

「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 113)」

A : 接続しているテレビや外部ディスプレイの設定を確認してください。

接続しているテレビや外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください、次のことを確認してください。

- 入力信号の設定はあっているか
- 複数の入力に対応している場合、本機と接続したHDMIコネクタからの信号を表示する設定になっているか

Q : HDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある

[100617-28]

A : テレビの設定をアンダースキャンに変更してください。

テレビのオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。テレビの設定をアンダースキャンに変更してください。
設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

A : 表示の大きさを調節してください。

次の手順で表示の大きさを調節してください。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリック
- 5 「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック
- 6 「ディスプレイ」をクリック
- 7 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック
- 8 「ディスプレイの選択」欄で「デジタルテレビ」をクリック
- 9 「スケーリング」の項目で任意の設定に変更する

Q : デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう

[100621-08]

A : 「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

画面の解像度やアイコンサイズを変更した場合、デスクトップ上のアイコンの名前が一部隠れてしまうことがあります。そのような場合は、次の手順で「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

1 デスクトップの何もない場所を右クリック

2 「表示」の「アイコンの自動整列」を有効にする

[100700-28]

- はじめに確認してください. 364
- キーボードのキーを押しても、何も反応しない. 365
- 記号などで入力できない文字がある. 366
- 別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある. 367
- 文字入力中に、タッチパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう. 368

はじめに確認してください

[100701-28]

キャップスロックの状態を確認してください。

キャップスロックの状態により、大文字／小文字の入力が変わります。

- **キャップスロックがオン**

【Shift】を押していないときは大文字が、押しているときは小文字が入力されます。

- **キャップスロックがオフ**

【Shift】を押していないときは小文字が、押しているときは大文字が入力されます。

タッチキーボードの場合、キャップスロックのオン／オフは  または  をクリックすることで切り替えることができます。

キーボードの場合、キャップスロックのオン／オフは【Shift】 + 【Caps Lock】で切り替えることができます。

ニューメリックロックの状態を確認してください。

ニューメリックロックの状態により、キーボードの一部で入力できる文字が変わります。

- **ニューメリックロックがオン**

キーボードのテンキー部分で数字などの入力が行えます。

- **ニューメリックロックがオフ**

テンキーの一部がカーソルキーなどのキーとして機能します。

ニューメリックロックのオン／オフは【Num Lock】を押すことで切り替えることができます。

日本語入力の入力モードを確認してください。

日本語入力が入力したいモードになっているか確認し、必要に応じてモードを切り替えてください。

タッチキーボードの場合、日本語入力と英字入力を切り替えるときは、スペースキーの隣にある  または  を押します。

工場出荷時の状態で日本語入力と英字入力を切り替えるには、【半角/全角】または【Caps Lock】を押します。

日本語入力モードのときに、かな入力とローマ字入力を切り替えるには、次の手順で行います。

1 【Alt】 + 【カタカナ ひらがな ローマ字】を押す

2 確認のメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

Q : キーボードのキーを押しても、何も反応しない

[100706-28]

A : マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。

しばらく待ってもキーボードからの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。



参照

アプリケーションの強制終了

「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 444\)](#)」

A : 別売のキーボードを使用している場合は、本機との接続を確認してください。

Q：記号などで入力できない文字がある

[100702-08]

A：日本語入力システムを使用しても入力できない文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は次の手順で表示します。

1 アプリ画面 (P. 11)を開く

2 「文字コード表」をクリック



参照

文字コード表の使い方

Windowsのヘルプ

Q：別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある

[100703-08]

A：キーボードの設定を行ってください。

使用しているキーボードにマニュアルやドライバが添付されている場合は、キーボードのマニュアルに従って設定やドライバのインストールを行ってください。

マニュアルやドライバが添付されていない場合は、次の手順でキーボードの設定を行ってみてください。



チェック

この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーボードによっては、一部のキーが使えなくなることがあります。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 表示されたキーボードから設定するキーボード名をダブルクリック
- 4 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック
- 5 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
- 6 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック

以後は、接続したキーボードの種類などを参考に画面の指示に従って設定してください。

Q : 文字入力中に、タッチパッドのタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう

[100704-28]

A : 文字入力中にタッチパッドに手が触れたり、タッチパッドの近くに手が行ったりしたためです。

タッチパッドに手が触れたり、タッチパッドの近くに手が行ったりすると、手が触れていなくてもタッチパッドで使用している静電容量式という仕組みのためにタップ機能が動作したり、マウスカーソルが移動してしまう場合があります。

タッチパッドドライバを使用している場合、パッドの感度を調整したり、【Fn】+スペースキーを押して、タッチパッドのオン/オフを切り替えることができます。



参照

- **パッドの感度の調整**
「本機の機能」の「タッチパッド」 - 「[タッチパッドの設定 \(P. 87\)](#)」
- **【Fn】について**
「キーボード」の「[キーの使い方 \(P. 82\)](#)」

BIOSセットアップユーティリティの「Config」メニュー-「Keyboard/Mouse」の「Trackpad」を「Disabled」に設定することで、タッチパッドを無効にできます。



参照

タッチパッドを無効にする

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」および「[設定項目一覧 \(P. 236\)](#)」

Q&A : ファイル保存

[100800-28]

- はじめに確認してください. 370
- ハードディスクに保存できない. 371
- DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）. 372

はじめに確認してください

[100801-28]

DeviceLockで光学ドライブの機能を制限していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。

DeviceLockをインストールしている場合は、DeviceLock管理コンソールを表示し、設定を確認してください。



参照

DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite \(P. 270\)](#)」

Q : ハードディスクに保存できない

[101503-28]

A : ハードディスクの空き領域を確認してください。

ハードディスクの空き領域を確認してください。足りない場合は「[ハードディスクの空き領域が足りない \(P. 404\)](#)」に従って空き領域を増やしてください。ハードディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

Q : DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）

[101711-08]

A : 「光学ドライブ」の「はじめに確認してください (P. 410)」の内容をご確認ください。

[100900-28]

➤ はじめに確認してください.	374
➤ ネットワークに接続できない.	375
➤ ドライブやフォルダが共有できない.	376
➤ 動作が不安定になった.	379

はじめに確認してください

[100905-28]

本機とLANケーブル、ハブなどのネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。

ネットワークに接続できない、ネットワークを利用した機能が使えない場合は、本機とLANケーブル、ハブなどのネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。

Q : ネットワークに接続できない

[100901-00]

A : プロトコルやドメイン、ワークグループの設定を間違えていないか確認してください。

詳しくはネットワークの管理者にご相談ください。

Q：ドライブやフォルダが共有できない

[100902-08]

A：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」を使用する設定になっているか確認してください。

次の手順で確認してください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[ユーザー アカウント制御](#)について (P. 10)」

1

「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2

「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

3

左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック

4

LAN接続のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

5

「ネットワーク」タブの「この接続は次の項目を使用します」欄に「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が表示され、チェックが付いていることを確認する

チェックが付いていない場合は、チェックを付けてください。



チェック

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれていない場合は、共有ドライブやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」をインストールすると使えるようになります。

6

「OK」ボタンをクリック

7



をクリック

8



をクリック

A : 「共有の詳細設定」で設定を確認してください。

次の手順で確認してください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「ユーザー アカウント制御」について (P. 10)

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

3 左のメニューから「共有の詳細設定の変更」をクリック

4 ネットワーク プロファイルごとに、設定を確認し必要に応じて設定を変更する



メモ

ネットワーク プロファイルの設定項目が表示されていない場合は、をクリックしてください。

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
ネットワーク探索	他のネットワーク コンピュータやデバイスを参照できるかどうか、また、本機が他のネットワーク コンピュータから参照できるかどうかを設定します。
ファイルとプリンターの共有	本機で共有しているファイルとプリンタをネットワーク上のユーザーからアクセスできるようにするかどうかを設定します。
パブリック フォルダーの共有	ネットワーク上のユーザーが、本機のパブリックフォルダ内のファイルにアクセスできるようにするかどうかを設定します。
メディア ストリーミング	ネットワーク上のユーザーやデバイスが、本機のピクチャ、ミュージック、ビデオにアクセスできるかどうか、また、本機でネットワーク上のメディアを検出できるようにするかどうかを設定します。
ファイル共有の接続	ファイル共有の接続で使用する暗号化のビット数を設定します。
パスワード保護共有	共有ファイルや、本機に接続しているプリンタ、パブリックフォルダへのアクセスを、本機のユーザー アカウントとパスワードを持つ人のみに制限するかどうかを設定できます。
ホームグループ接続※	ホームグループ接続の管理を、Windowsが行うか、ユーザー アカウントとパスワードで行うかを設定します。

※ ネットワーク プロファイル「パブリック」では設定できません。

5 「変更の保存」 ボタンをクリック

A : ドライブやフォルダを共有する設定にしているか確認してください。

ネットワークに接続された他のコンピュータから本機のドライブやフォルダを参照するには、共有したいドライブやフォルダを共有するように設定する必要があります。

共有したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの「共有」から設定を行ってください。

A : 共有するドライブやフォルダのアクセス許可の設定を確認してください。

共有するドライブやフォルダは、共有するユーザーごとにアクセス許可の設定を行うことができます。アクセス許可の設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。

Q：動作が不安定になった

[100904-08]

A：LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。

LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスリープ状態や休止状態にしないでください。

Windowsの電源プランで自動的にスリープ状態になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

Q&A：無線LAN機能

[101000-28]

➤ はじめに確認してください.	381
➤ 通信ができない.	382
➤ 通信がとぎれる、または通信速度が遅い.	383
➤ 「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない.	385
➤ 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない.	386
➤ 接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう.	387

はじめに確認してください

[101006-28]

無線LAN機能がオンになっていることを確認してください。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「本機の機能」の「無線LAN機能」 - 「無線LAN機能のオン／オフ (P. 175)」

接続先の機器の電源が入っているか確認してください。



参照

接続先の機器に添付のマニュアル

ネットワーク名（SSID）が正しく設定されているか確認してください。

- 無線LANアクセスポイントと接続する場合は、ネットワーク名（SSID）の設定を無線LANアクセスポイントと同じ設定にする必要があります。
- 複数の無線LANアクセスポイントが存在する環境で、接続する無線LANアクセスポイントを限定したい場合は、無線LANアクセスポイントごとに異なるネットワーク名（SSID）を設定してください。

接続しようとしている機器が、無線LAN対応機器か確認してください。

無線LAN対応機器以外は使用できません。

Q：通信ができない

[101001-28]

次の項目を確認してください。また、「通信がとぎれる、または通信速度が遅い (P. 383)」もあわせてご覧ください。

A：データ暗号化の設定を行っている場合、ネットワーク セキュリティ キーが正しく設定されているか確認してください。

接続先の無線LANアクセスポイントやコンピュータには、すべて同じネットワーク セキュリティ キーを設定する必要があります。

A：使用するチャンネルは正しく設定されているか確認してください。

本機が対応しているチャンネルは、次の通りです。

無線LANアクセスポイントのチャンネルを本機が使用できるチャンネル範囲に設定してください。

- **IEEE802.11b (2.4GHz) 対応機器、またはIEEE802.11g (2.4GHz) 対応機器と通信する場合**
1～13chまでのチャンネル
- **IEEE802.11a (5GHz) 対応機器、またはIEEE802.11ac (5GHz) 対応機器と通信する場合**
36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chのいずれか
- **IEEE802.11n (2.4/5GHz) 対応機器と通信する場合**
1～13chまでのチャンネル
36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chのいずれか



チェック

以下のチャンネルは、無線LANアクセスポイントからの電波を受信してから通信を開始するため、接続するまでに時間がかかる場合があります。

- 12、13、36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch

A：本機や接続したい無線LAN対応機器の環境設定が、正しく設定されているか確認してください。

設定を確認し、必要に応じてもう一度設定してください。

Q：通信がとぎれる、または通信速度が遅い

[101002-28]

A：接続したい無線LAN対応機器との距離が遠すぎないか確認してください。

電波環境を確認し、電波環境が悪い場合は、無線LAN対応機器までの距離を近づけてみてください。
無線LAN対応機器間の距離は、機器の仕様により異なります。

A：接続先のIEEE802.11g対応無線LANアクセスポイントの電波到達範囲内に、IEEE802.11bのみに対応した他の無線機器が存在する場合、IEEE802.11gでの通信速度が低下します。



チェック

IEEE802.11bのみに対応した無線機器が別の無線LANアクセスポイントに接続していても、電波が到達するだけで速度に影響があります。

A：周囲で2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を使用していると、2.4GHz無線LAN対応機器の通信が不安定になる場合があります。

2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。

A：2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など同じ周波数帯を利用する機器を同時に通信をした場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。

2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器のいずれか一方をオフにするか離して使用することをおすすめします。

A：1つの無線LANアクセスポイントに接続する機器の台数が増えると、1台あたりの転送速度が低下する場合があります。

A：大きなサイズのファイルを転送すると、途中で通信が切断される場合があります。

大きなサイズ（約100MB以上）のファイルを転送すると、途中で通信が切断される場合があります。無線LANで接続するときは、転送するファイルのサイズに注意してください。

A：IEEE802.11n（2.4/5GHz）に対応した無線LAN機器と接続する際に、データ転送レートが54Mbps以下になる場合があります。

次の設定を確認してください。

- 無線LANアクセスポイントと本機の暗号化方式がAESとなっていること
- 無線LANアクセスポイントのWMM（Wi-Fi Multimedia）の機能が有効になっていること



参照

接続先の機器に添付のマニュアル

A : Intel® WiDiと、無線LAN機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。

Q : 「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない

[101003-20]

A : ネットワークに接続されているコンピュータに、同一のコンピュータ名が使用されている可能性があります。

コンピュータ名を確認し、他のコンピュータの名前とは異なるコンピュータ名を設定してください。

A : 相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれているか確認してください。

相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれていないと、「ネットワーク」で相手のコンピュータは表示されません。相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」を組み込んでください。

A : TCP/IPが組み込まれているか確認してください。

TCP/IPが組み込まれているかを確認し、接続するネットワークにあわせてIPアドレスを正しく設定してください。

A : 周囲の電波状況は適切な状態か確認してください。

電波状態が悪い場合、接続する相手との距離を短くする、または本機と相手との間に障害物があるときは障害物をなくしてから再度接続してください。

A : 相手のコンピュータが起動した直後で、ネットワークへの接続が完了していない可能性があります。

相手のコンピュータが起動した直後の場合は、数分たってからもう一度接続状況を確認してください。

Q : 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない

[101004-20]

A : 相手のコンピュータに共有しているフォルダやプリンタなどがない可能性があります。

相手のコンピュータ上で共有化したいフォルダやプリンタを共有する設定にしてください。

Q：接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう

[101005-20]

A：周囲に複数の無線LANアクセスポイントが存在する場合、無線LANアクセスポイントの設定によっては電波の状況に応じて自動的に他の無線LANアクセスポイントに接続が切り替わることがあります。

Q&A : サウンド

[101200-28]

➤ はじめに確認してください.	389
➤ 音が出ない.	390
➤ HDMI接続した機器から音声が出力されない.	391
➤ 音楽CDの再生音を調節したい.	393
➤ 音楽CDが再生されない.	394
➤ 音楽CDの再生中に音飛びする.	395

はじめに確認してください

[101205-28]

本機の音量が適切に設定されているか確認してください。

適切な音量に設定されているか確認し、必要に応じて調節してください。



参照

音量の調節について

「本機の機能」の「サウンド機能」 - 「[音量の調節 \(P. 153\)](#)」

外部の機器に接続している場合は、接続している機器の音量、本機と外部の機器との接続を確認してください。

Q：音が出ない

[101201-28]

A：HDMI接続で音声出力する設定にしていらないか確認してください。

HDMI接続で音声出力する設定にしている場合、本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから音声は出力されません。

本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから音声出力する場合は、次の手順で設定を変更してください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

4 「再生」タブをクリック

5 「スピーカー / ヘッドフォン」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

6 「スピーカー / ヘッドフォン」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

Q : HDMI接続した機器から音声出力されない

[101209-28]

A : HDMIの映像が正しく表示されているか確認してください。

映像が正しく表示されていない場合は、「表示」の「HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない (P. 360)」を参照し、テレビや外部ディスプレイとの接続、設定を確認してください。

A : 接続している機器が、HDMIの音声出力のサンプリングレートに対応しているか確認してください。

次の手順で確認してください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。



チェック

「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けて「既定値に設定」をクリックしてください。

4 「再生」タブをクリック

5 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」をクリックし、「プロパティ」をクリック

6 「詳細」タブをクリック

7 「既定の形式」欄の設定が接続先の機器に対応していることを確認する



参照

対応しているサンプリングレートについて
接続している機器のマニュアル

A : 音声の出力設定を確認してください。

音声を、本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから出力する設定になっている場合、HDMI接続で音声は出力されません。

HDMI接続で音声を出力するには、次の手順で出力先を設定してください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

4 「再生」タブをクリック

5 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

6 手順5で選択した項目にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

A : I/O制限で、HDMIコネクタの接続を使用不可に設定していないか確認してください。



参照

I/O制限について

「本機の機能」の「セキュリティ機能」 - 「I/O制限 (P. 223)」

Q：音楽CDの再生音を調節したい

[101202-08]

A：次の手順で音量を調節してください。



チェック

- 工場出荷時の状態で、Windows Media Playerで再生した場合を例にして説明します。その他の再生用アプリケーションを使用する場合は、それぞれのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。再生音量を調整してください。
- お使いの機種によって表示が異なることがあります。

1

Windows Media Playerを表示する



チェック

Windows Media Playerを表示していないと、「音量ミキサー」に「Windows Media Player」が表示されません。

2

タスク バーの通知領域のをクリック

3

表示されたウィンドウから「ミキサー」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

4

「デバイス」欄の「スピーカー」、または「アプリケーション」欄の「Windows Media Player」の音量つまみをドラッグして音量を調節する

Q : 音楽CDが再生されない

[101203-00]

A : コピーコントロールCDなど、一部のCompact Discの規格外の音楽ディスクは再生できない場合があります。

Q：音楽CDの再生中に音飛びする

[101204-00]

A：音楽CDに傷や汚れがないか確認してください。

音楽CDに傷が付いていると、使用できない場合があります。

また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かってふいてから使用してください。

A：音楽CDを再生中の光学ドライブや本機に何らかの振動を与えた場合、音飛びや故障の原因になる場合があります。

音楽CDを再生中は光学ドライブや本機に振動を与えないでください。

[101300-28]

- はじめに確認してください. 397
- プリンタから印刷が正しくできない. 398
- PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない. 399

はじめに確認してください

[101303-28]

プリンタの接続や状態を確認してください。

プリンタのマニュアルをご覧ください。プリンタが正しく接続されているか、プリンタの状態は正常か確認してください。

プリンタのケーブルが指定または推奨のものか確認してください。

プリンタによっては、プリンタの製造元が指定または推奨するケーブルを使用しないと、印刷がうまくいかないものがあります。使用しているプリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。

使用するプリンタ用のドライバがインストールされているか、またドライバは正しく設定されているか確認してください。

新しくプリンタを使用する場合は、プリンタドライバのセットアップが必要です。また、プリンタドライバの設定によっては正しく印刷されない場合があります。



参照

プリンタドライバのセットアップ、プリンタドライバの設定
プリンタに添付のマニュアル

使用したいプリンタが「通常使うプリンター」に設定されているか確認してください。

使用したいプリンタが「通常使うプリンター」に設定されていないと、アプリケーションで印刷先を指定しない限り、印刷されない場合や、別のプリンタから印刷される場合があります。
「通常使うプリンター」の設定をする場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリック

3 「プリンター」欄で、使用したいプリンタのアイコンにチェックが付いているか確認する

チェックが付いていない場合には、使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンターに設定」をクリックしてください。

Q : プリンタから印刷が正しくできない

[101301-20]

A : プリントサーバに接続されているプリンタの場合、プリントサーバを確認してください。

プリンタがプリントサーバに接続されている場合は、プリントサーバでエラーが表示されていないか確認してください。

A : ネットワークに接続されているプリンタの場合、ネットワークの機器を確認してください。

ネットワークに接続しているプリンタの場合、本機からプリンタまでの経路にあるネットワーク機器にエラーが発生したり、電源が切れていたりしないか確認してください。

A : プリンタのテスト印字を実行してみてください。

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタのテスト印字を行ってください。テスト印字ができない場合は、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

Q : PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない

[101302-00]

A : 白抜きの文字やグラデーション、図形などがうまく印刷できない場合は次の対処方法を試してみてください。

- Adobe Readerの「印刷」ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリックして、「画像として印刷」にチェックを付けるか、プリンタのプロパティの中から「きれい」、「高品位」などを選択する
- プリンタドライバを最新のものにする
- プリンタが複数ある場合は、印刷先を別のプリンタに切り替え、同様に試してみる

Q&A : ハードディスク

[101500-28]

➤ ハードディスクの動作速度が遅い.	401
➤ ハードディスクに障害が起きた.	402
➤ ハードディスクに保存できない.	403
➤ ハードディスクの空き領域が足りない.	404
➤ 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない.	405
➤ 複数のパーティションを利用したい.	406
➤ ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい.	408

Q : ハードディスクの動作速度が遅い

[101501-08]

A : ハードディスクの最適化をしてください。

ハードディスクを長い間使用していると、1つのファイルがディスクの空いている場所に分散して保存されるようになります。ファイルが連続していないと、ファイルを読み書きする時間が長くなります。
このようなばらばらになったファイルを最適な場所に整理するには、「ディスク デフラグ ツール」で最適化を実行してください。



参照

ディスク デフラグ ツールについて

『メンテナンスとアフターケアについて』

Q : ハードディスクに障害が起きた

[101502-08]

A : エラーチェックプログラムで、ハードディスクの障害を確認してください。

軽い障害であれば、ディスクのエラーチェックプログラムを使って障害を修復することができます。



参照

ハードディスクのエラーチェックプログラムについて
『メンテナンスとアフターケアについて』

Q : ハードディスクに保存できない

[101503-28]

A : ハードディスクの空き領域を確認してください。

ハードディスクの空き領域を確認してください。足りない場合は「[ハードディスクの空き領域が足りない \(P. 404\)](#)」に従って空き領域を増やしてください。ハードディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

Q : ハードディスクの空き領域が足りない

[101505-08]

A : ディスク クリーンアップを実行し、不要なファイルを削除してください。

次の手順でディスク クリーンアップを表示し、不要なファイルを削除してください。

- 1 「**コントロール パネル (P. 11)**」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」をクリックし、「ディスク クリーンアップ」をダブルクリック

「ディスク クリーンアップ」が表示されます。

以後は画面の指示に従って操作してください。



参照

ディスク クリーンアップについて
Windowsのヘルプ

A : 使用しないアプリケーションをアンインストールしてください。

使用しないアプリケーションをハードディスクからアンインストールすると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。



参照

- 添付アプリケーションのアンインストール
「[便利な機能とアプリケーション \(P. 246\)](#)」
- 別売のアプリケーションのアンインストール
アプリケーションに添付のマニュアル

Q：領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

[101506-08]

A：計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、 $1\text{MB}=1,000,000$ バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、 $1\text{MB}=1,024\times 1,024=1,048,576$ バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

GB（ギガバイト）についても、同様の記述となっています。

A：ハードディスクに、システム復旧時に必要なデータなどを格納する領域があるためです。

本機のハードディスクには、Windowsの起動や復旧に必要なファイルを格納するため、約16GBの容量が確保されています。そのため、使用可能な容量がその領域の分だけ少なくなります。

この領域にあるデータは削除しないでください。

Q：複数のパーティションを利用したい

[101507-28]

A：「ディスクの管理」でドライブ構成を変更することができます。

工場出荷時において1台目の内蔵ハードディスクでお客様が利用可能な領域はCドライブのみの1パーティション（ボリューム）です。

Cドライブを分割して、複数のパーティションを利用することもできます。

工場出荷時の構成から、Cドライブを縮小して作成された未割り当ての領域に1つのパーティションを作成する場合は、次の手順で行います。



チェック

Cドライブの容量は60GB以上に設定してください。Cドライブの容量を60GB未満に設定した状態では、「Cドライブのみ再セットアップ」を行うことができません。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「管理ツール」をクリック
- 3 「コンピューターの管理」をダブルクリック
- 4 左側のツリーの「記憶域」→「ディスクの管理」をクリック
- 5 (C:)と表示されているボリュームを選択し、右クリック
- 6 「ボリュームの縮小」をクリック
- 7 「縮小する領域のサイズ (MB)」欄に任意のサイズを入力する
ここで入力するサイズが、新たに作成するパーティションの最大値になります。
- 8 「縮小」ボタンをクリック
- 9 ボリュームの縮小後に確保された未割り当て領域を選択し、右クリック
- 10 「新しいシンプル ボリューム」をクリック
- 11 「次へ」ボタンをクリック

12 「シンプル ボリューム サイズ (MB)」欄に任意のボリュームサイズを入力し、「次へ」ボタンをクリック

13 「次のドライブ文字を割り当てる」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

14 「このボリュームを次の設定でフォーマットする」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

15 「完了」ボタンをクリック



チェック

- 作成したパーティションに対して「パーティションをアクティブとしてマーク」を選択しないでください。
- 「回復パーティション」は、縮小することはできません。



メモ

- 必要に応じて、ドライブ文字を変更することもできます。
- 「ボリュームの縮小」は、環境によっては実施できない場合があります。



参照

- 「ボリュームの縮小」について
「コンピューターの管理」のヘルプ
- ディスクの管理の使用方法
「ディスクの管理」のヘルプ
- ハードディスクについて
「本機の機能」の「ハードディスク (P. 135)」

Q : ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい

[101508-08]

A : ハードディスクのメンテナンスについては以下をご覧ください。

ハードディスクを長時間使用している間に、まれにハードディスク自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大するおそれがあります。これを防ぐために、こまめにハードディスクをメンテナンスしてください。



参照

ハードディスクのメンテナンスについて
『メンテナンスとアフターケアについて』

メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

◆エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。



参照

ハードディスクのエラーチェックプログラムについて
Windowsのヘルプ

◆不良セクタ、スキップセクタについて

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。

エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。

Q&A：光学ドライブ

[101700-28]

➤ はじめに確認してください.	410
➤ 「コンピューター」に光学ドライブが表示されない.	411
➤ 光学ドライブのディスクトレイを出し入れできない.	412
➤ DVD、CDをセットしても自動再生しない.	413
➤ DVD、CDからデータを読み出せない.	414
➤ DVD、CDの読み取りエラーメッセージが表示された.	415
➤ DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）.	416
➤ DVD、CDへの書き込み中にエラーになった.	417
➤ Roxio Creator LJBでデータディスクを作成できない.	418
➤ ドライブ文字がおかしい.	419
➤ 光学ドライブから異常な音がする.	420
➤ 添付されていたDVD、CDが使えなくなった、壊れた.	422
➤ CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない.	423
➤ CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない.	424
➤ 音楽CDの再生中に音飛びする.	425
➤ 音楽CDが再生されない.	426

はじめに確認してください

[101718-28]

光学ドライブの接続を確認してください。

USB接続の光学ドライブを使用するモデルをお使いの場合、光学ドライブが正しく取り付けられているかどうか確認してください。

DeviceLockで光学ドライブを制限していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。
DeviceLockをインストールしている場合は、設定を確認してください。



参照

DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite \(P. 270\)](#)」

ディスクが正しくセットされているか確認してください。

セットされているDVD、CDの表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイ中心の軸に、きちんとセットしてください。



参照

光学ドライブ使用上の注意

「本機の機能」の「[光学ドライブ \(P. 138\)](#)」

本機のドライブで利用できるディスクを確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。利用できるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

Q : 「コンピューター」に光学ドライブが表示されない

[101701-28]

A : BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で使用不可に設定していないか確認してください。

BIOSセットアップユーティリティのI/O制限は、本機と各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限する機能です。BIOSセットアップユーティリティでUSB接続の光学ドライブを使用するモデルの場合は、USBコネクタを使用不可に設定していないか確認してください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」

Q：光学ドライブのディスクトレイを出し入れできない

[101702-28]

A：本機の電源が入っているか確認してください。

本機の電源が入っていない場合は、電源を入れてからディスクトレイを取り出してください。

本機の電源が入っているのにディスクトレイが出てこない場合は、非常時ディスク取り出し穴を使って、手動でディスクを取り出すことができます。



参照

非常時のディスクの取り出し方について

「本機の機能」の「光学ドライブ」 - 「[非常時のディスクの取り出し方 \(P. 146\)](#)」

Q : DVD、CDをセットしても自動再生しない

[101708-08]

A : ディスクが自動再生に対応しているかどうか確認してください。

自動再生に対応したディスクでなければ、自動再生は行われません。

そのようなディスクの場合は、ディスクのマニュアルがある場合は使用方法を確認するか、マニュアルがない場合は「コンピューター」から手動で開いてください。

A : 自動再生の設定を確認してください。

自動再生の設定、設定の確認は次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
 - 2 「ハードウェアとサウンド」をクリック
 - 3 「自動再生」をクリック
 - 4 それぞれのメディアやデバイスの自動再生の設定、設定の確認を行う
 - 5 「保存」ボタンをクリック
-

Q : DVD、CDからデータを読み出せない

[101709-08]

A : DVD、CDに傷や汚れがないか確認してください。

DVD、CDに傷が付いていると、使用できない場合があります。

また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かってふいてから使用してください。

A : DVD、CDをセットした光学ドライブや本機に何らかの振動を与えた場合、エラーや故障の原因になる場合があります。

DVD、CD使用中は光学ドライブや本機に振動を与えないでください。

Q : DVD、CDの読み取りエラーメッセージが表示された

[101710-08]

A : DVD、CDを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。

取り出したディスクをセットしなおして、【Enter】を押してください。

Q : DVD、CDにデータを書き込めない（保存できない）

[101711-08]

A : 「光学ドライブ」の「はじめに確認してください (P. 410)」の内容をご確認ください。

Q : DVD、CDへの書き込み中にエラーになった

[101712-28]

A : DVD、CDへのデータの書き込み中に、他のアプリケーションが表示されていたり、電源状態の変更や省電力機能が働いたりすると書き込みエラーになることがあります。

DVD、CDへのデータの書き込みを行う場合には、次の操作をおすすめします。

- スクリーンセーバーを表示させないようにする
- スリープ状態に移行させないようにする
- 他のアプリケーションを終了する
- 常駐プログラムをオフにする

A : DVD、CDへのデータの書き込み中にバッテリーの残量がなくなると、データの書き込みに失敗します。

データを書き込むときには、必ず本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続してお使いください。

Q : Roxio Creator LJBでデータディスクを作成できない

[101713-08]

A : DVD、CD内のファイルをコピー元として、データディスクの作成を行おうとしていないか確認してください。

DVD、CD内のファイルを書き込む場合は、ファイルを一度ハードディスクにコピーしてから書き込みを行ってください。



参照

Roxio Creator LJB使用上の注意

「便利な機能とアプリケーション」の「Roxio Creator LJB」 - 「[使用上の注意 \(P. 284\)](#)」

Q：ドライブ文字がおかしい

[101715-08]

A：周辺機器を接続したままスリープ状態や休止状態にすると、光学ドライブのドライブ文字が変更される場合があります。

このような場合は、Windowsを再起動してください。

Q：光学ドライブから異常な音がする

[101716-00]

A：重心バランスの悪いディスクを使用していないか確認してください。

特殊な形状のディスクや、ラベルがはってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。

A：ディスクは高速で回転するために風切音や振動が発生する場合があります。

風切音や振動は、ディスクの種類や、読み書きの位置によっても変化します。
異常ではありませんが、気になる場合は121コンタクトセンター等にご相談ください。

A：ディスクに汚れや傷が付いている場合、読み込みを繰り返すことがあります。

ディスクに汚れがある場合、傷を付けないように拭き取ってください。
ディスクに傷が付いている場合、傷のないディスクで確認してください。

A：ディスクを正しくセットしているか確認してください。

ディスクトレイに、ディスクを正しく置いてください。
ディスクの穴をディスクトレイの軸に固定するタイプの光学ドライブをお使いの場合、カチッと音がするまで、ディスクの穴をディスクトレイの軸にはめ込んでください。

A：ディスクにラベルが貼られていないか確認してください。

ディスクの回転が不安定になったり、ラベルが剥がれドライブ故障の原因となりますので、ディスクにラベルは貼らないでください。

A：ディスクが変形、または反っていないか確認してください。

変形している、あるいは反っているディスクは使用しないでください。
ディスク自体に問題がある場合は、中身のデータを別のディスクにコピーし、コピー後のディスクを使用することをおすすめします。

A：ディスクの読み書きをしているときに本機を移動させると、異音の原因になる場合があります。

ディスクの動作中は本機を移動させないでください。

A : 休止状態、またはスリープ状態から復帰するときに、ドライブが初期化の動作を行うため音がする場合があります。

ドライブ内の読み書きをする部分が、位置合わせの初期化動作を行うため、音がする場合があります。また、DVDなどの媒体を入れたままにしておくと、休止状態、またはスリープ状態から復帰するときに回転することがあります。どちらも異常ではありません。

Q：添付されていたDVD、CDが使えなくなった、壊れた

[101717-00]

A：本機に添付されているDVD、CDに傷が付いて使えなくなったときなどは、有償で交換いたします。



参照

DVD、CDの交換のお問い合わせ先

『保証規定＆修理に関するご案内』

Q : CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない

[101914-00]

A : CPRM (Content Protection for Recordable Media) 方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

インターネット経由でのアクティベーションにより、CPRMの著作権保護機能に対応することができます。



チェック

外部ディスプレイ使用時、接続しているディスプレイが、HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない場合は、著作権保護された映像をデジタル出力できません。



メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q : CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない

[101906-08]

A : CyberLink PowerDVDで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで利用できるディスクであっても、本機やCyberLink PowerDVDで使えない規格で記録されていると認識ができない場合があります。

また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。



参照

CyberLink PowerDVDで利用できるディスクの規格、ディスクや光学ドライブの確認について
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD」 - 「[使用上の注意 \(P. 287\)](#)」

Q：音楽CDの再生中に音飛びする

[101204-00]

A：音楽CDに傷や汚れがないか確認してください。

音楽CDに傷が付いていると、使用できない場合があります。

また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かってふいてから使用してください。

A：音楽CDを再生中の光学ドライブや本機に何らかの振動を与えた場合、音飛びや故障の原因になる場合があります。

音楽CDを再生中は光学ドライブや本機に振動を与えないでください。

Q：音楽CDが再生されない

[101203-00]

A：コピーコントロールCDなど、一部のCompact Discの規格外の音楽ディスクは再生できない場合があります。

[101800-28]

- はじめに確認してください. 428
- 別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった. 429
- 周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない. 433

はじめに確認してください

[101803-28]

お使いの周辺機器が、本機やWindows 8.1に対応しているか確認してください。

周辺機器によっては、本機やWindows 8.1で動作しないものや、別途Windows 8.1に対応したドライバが必要なものがあります。

また、32ビット版と64ビット版では、使用するドライバが異なります。周辺機器のマニュアルで確認してください。

周辺機器が正しく接続されているか確認してください。

コネクタやネジが緩んだり外れたりしていないか、接続が正しく行われているか確認してください。



参照

周辺機器の接続について

周辺機器に添付のマニュアル

周辺機器の取り付け／取り外し時には、「高速スタートアップ」の機能を無効にしてください。

周辺機器によっては、周辺機器の取り付け／取り外し時に「高速スタートアップ」の機能を無効にする必要があります。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。



参照

「高速スタートアップ」の機能を無効にする

「本機の機能」の「電源の入れ方と切り方」 - 「[高速スタートアップ](#)」について (P. 38)」

DeviceLockで無効に設定していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。

DeviceLockをインストールしている場合は、DeviceLock管理コンソールを表示し、該当する周辺機器を無効に設定していないか確認してください。



参照

DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite](#) (P. 270)」

Q：別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった

[101801-28]

A：周辺機器の取り付け／取り外し時には、「高速スタートアップ」の機能を無効にしてください。

周辺機器によっては、周辺機器の取り付け／取り外し時に「高速スタートアップ」の機能を無効にする必要があります。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。



参照

「高速スタートアップ」の機能を無効にする

「本機の機能」の「電源の入れ方と切り方」 - 「高速スタートアップ」について (P. 38)」

A：周辺機器の設定を確認してください。

周辺機器によっては、設定の変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。



参照

周辺機器の設定やドライバのインストールについて

周辺機器に添付のマニュアル

周辺機器のドライバのインストールによりトラブルが発生し、Windowsの通常起動ができなくなった場合など、次の手順に従って、セーフモードでWindowsを起動し、トラブルを起こしたドライバのアンインストールを行うことができます。

I. セーフモードでWindowsを起動する

- 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
- 2 「PC設定の変更」をクリック
- 3 「保守と管理」→「回復」をクリックし、「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリック
「オプションの選択」画面が表示されます。

- 4 「トラブルシューティング」→「詳細オプション」→「スタートアップ設定」をクリック

5 「再起動」をクリック

本機が再起動します。

6 「スタートアップ設定」画面が表示されたら、【F4】を押す

本機がセーフモードで起動します。

7 サインイン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択し、パスワードを入力する

II. 取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリック

3 「ドライバー」タブをクリックして「無効」ボタンをクリック

4 「はい」ボタンをクリック

5 「OK」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動し、通常モードで起動する

III. 周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリック

3 「ドライバー」タブをクリックして「ドライバーの更新」ボタンをクリック

以降は画面の指示に従ってください。



メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどからダウンロードしてください。また、Windows® Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。

A : リソースの設定を確認してください。

古い周辺機器などには、リソースが競合していると動作しない場合や、リソースの競合により本機の動作が不安定になる場合があります。次の手順でリソースの設定を確認してください。



チェック

- 使用中のアプリケーションがある場合は、すべて終了しておいてください。
- 次の手順を行う場合は、管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 設定を確認するデバイスの種類をダブルクリック

3 設定を確認するデバイスをダブルクリック

4 「リソース」タブをクリック



チェック

「リソース」タブが表示されていない場合は、そのデバイスのリソースの確認、変更はできません。

5 「競合するデバイス」欄を確認する

- 競合しているデバイスがない場合
「競合なし」と表示されます。
- 競合しているデバイスがある場合
競合しているデバイスの名前が表示されます。

6 「OK」ボタンをクリック

競合しているデバイスがあった場合、リソースの設定を変更することで正常に動作するようになる場合があります。リソースの設定変更の方法については、次の手順で表示される「Microsoft 管理コンソール」のヘルプをご覧ください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 「ヘルプ」メニュー→「トピックの検索」をクリック

A : BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、周辺機器を取り付けたインターフェイスを使用不可に設定していないか確認してください。

BIOSセットアップユーティリティのI/O制限は、本機と各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限する機能です。BIOSセットアップユーティリティで、USBなど周辺機器を取り付けたインターフェイスを使用不可に設定していないか確認してください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 231\)](#)」

Q：周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない

[101802-08]

A：権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインしてドライバのインストールや更新を行う必要があります。

Q&A : Bluetooth機能

[102600-28]

- はじめに確認してください. 435

はじめに確認してください

[102601-28]

Bluetooth機能がオンになっていることを確認してください。



参照

Bluetooth機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「Bluetooth機能」 - 「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 217)」

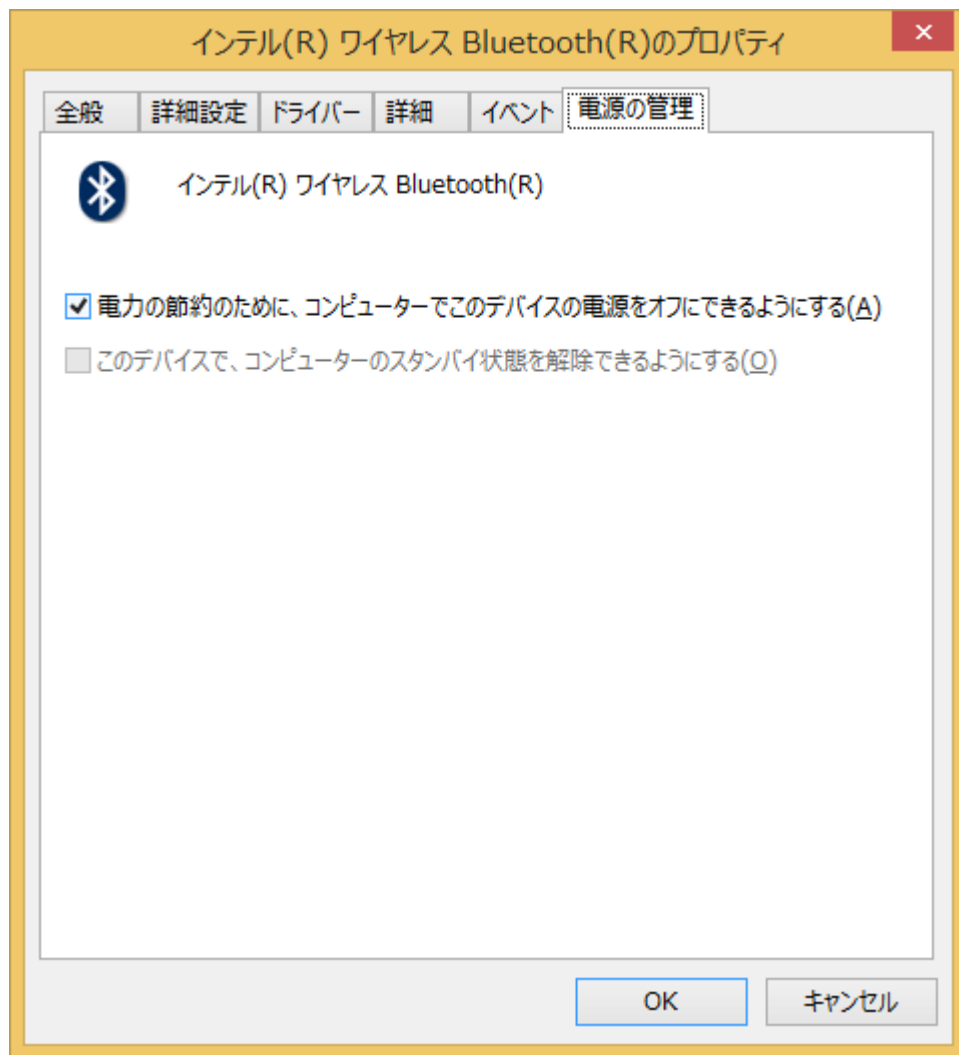
Bluetooth機能を「デバイス マネージャー」でオンにしているにも関わらず、Bluetooth機能が使用できない場合（「デバイス マネージャー」でBluetoothに「！」が付くなど）は、ワイヤレススイッチでBluetooth機能をオフにして、再度オンにしてみてください。

Bluetooth機能を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、「電源の管理」の設定を変更してください。

Bluetooth機器を一定時間使用していない場合、通信が切れて動作しなくなることがあります。

Bluetooth機器を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、次の手順に従って「電源の管理」の設定を変更してください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
- 2 「Bluetooth」をダブルクリック
- 3 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」をダブルクリック
- 4 「電源の管理」タブをクリック
- 5 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外す



メモ

画面はモデルによって異なります。

6

「OK」ボタンをクリック

Q&A : アプリケーション

[101900-28]

➤ はじめに確認してください.	438
➤ 表示されなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある.	439
➤ CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない.	441
➤ CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない.	442
➤ アプリケーションをインストールできない.	443
➤ アプリケーションを強制的に終了させたい.	444
➤ アプリケーションが本機で利用できるか知りたい.	445
➤ 使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい.	446
➤ Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい.	447
➤ Internet Explorerが起動しない.	448

はじめに確認してください

[101902-28]

お使いのアプリケーションが、本機やWindows 8.1に対応しているか確認してください。

アプリケーションによっては、本機やWindows 8.1で動作しないものや、別売の周辺機器が必要な場合があります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

お使いのアプリケーションが、使用しているWindows 8.1に対応しているか確認してください。

32ビット版のアプリケーションも使用可能ですが、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。アプリケーションのマニュアルで確認してください。

本機のドライブで利用できるディスクを確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。利用できるディスクについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

Q：表示されなくなった、動作が遅い、動かなくなることもある

[101901-28]

A：スリープ状態／休止状態に対応したアプリケーションを確認してください。

対応していないアプリケーションを使用中にスリープ状態／休止状態になると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スリープ状態／休止状態にしないでください。電源を切ることができなくなった場合には、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。



参照

強制的に電源を切る方法

「電源」の「電源が切れない」 - 「強制的に電源を切る (P. 318)」

A：アプリケーションのアンインストールを中断した場合は、Windowsを再起動してください。

アプリケーションのアンインストールを中断した後に、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、Windowsを再起動してください。

それでも動作しない場合は、アプリケーションの再インストールが必要です。

A：ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積されたため空き領域が減っていないか確認してください。

ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積され、空き領域が減ると、Windowsの動作が遅くなる可能性があります。ハードディスクに十分な空き領域があるか確認してください。

必要のないデータを削除したり、アプリケーションをCドライブ以外のドライブにインストールして、Cドライブからアンインストールしてください。詳しくは、「ハードディスク」の「ハードディスクの空き領域が足りない (P. 404)」をご覧ください。

A：メモリやシステムリソースが不足している可能性があります。

複数のアプリケーションを同時に表示したり、多くのメモリを使うアプリケーションを使用していると、メモリやシステムリソースが不足し、新たにアプリケーションが表示できなくなったり、動作が遅くなる、動かなくなることがあります。

他のアプリケーションを表示しているときは、それらを終了してから使用してください。それでも起動できなかったり、動作が遅いときは本機を再起動してください。

メモリやシステムリソースが不足しがちな場合、メモリを増設できるモデルでは、メモリを増設することによって動作が改善することがあります。



参照

メモリを増設するには

「本機の機能」の「[メモリ \(P. 192\)](#)」

A : ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

Q : CyberLink PowerDVDでDVDが再生できない

[101914-00]

A : CPRM (Content Protection for Recordable Media) 方式で著作権保護されているタイトルを再生しようとしていないか確認してください。

インターネット経由でのアクティベーションにより、CPRMの著作権保護機能に対応することができます。



チェック

外部ディスプレイ使用時、接続しているディスプレイが、HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない場合は、著作権保護された映像をデジタル出力できません。



メモ

CPRM方式による著作権保護は、デジタルテレビ放送番組をDVDに記録するためなどに用いられています。

Q : CyberLink PowerDVDでディスクが認識されない

[101906-08]

A : CyberLink PowerDVDで使用可能な規格のディスクか、また使用しているディスクや光学ドライブの状態に問題はないか確認してください。

本機の光学ドライブで利用できるディスクであっても、本機やCyberLink PowerDVDで使用できない規格で記録されていると認識ができない場合があります。

また、使用しているディスクや光学ドライブの状態によってはディスクの認識ができない場合があります。使用しているディスクや光学ドライブの確認を行ってください。



参照

CyberLink PowerDVDで利用できるディスクの規格、ディスクや光学ドライブの確認について
「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD」 - 「[使用上の注意 \(P. 287\)](#)」

Q : アプリケーションをインストールできない

[101908-08]

A : 権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらるか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインしてアプリケーションのインストールを行う必要があります。

A : ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

A : アプリケーションのインストール先がハードディスク以外のドライブになっていないか確認してください。

ハードディスクにインストールして使用するアプリケーションのインストール先がハードディスク以外のドライブになっていた場合は、インストール先をハードディスクに変えて、インストールしなおしてください。

A : アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。

ハードディスクの空き領域が足りない場合は、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。



メモ

アプリケーションによっては、必要最低限の機能だけをインストールしたり、使用する機能だけを選択してインストールすることで、必要な空き容量を減らせる場合があります。



参照

ハードディスクの空き領域を増やすには

「ハードディスク」の「[ハードディスクの空き領域が足りない \(P. 404\)](#)」

Q : アプリケーションを強制的に終了させたい

[101909-28]

A : アプリケーションがフリーズするなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してください。



チェック

この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまうことがあります。

1

【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 を1回押す

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方」の手順で電源を切ってください。



参照

正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「[電源の入れ方と切り方 \(P. 37\)](#)」

Q : アプリケーションが本機で利用できるか知りたい

[101910-00]

A : アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境を確認するか、製造元に確認してください。

アプリケーションが必要とする動作環境は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境について確認するか、アプリケーションの製造元に確認してください。

Q : 使用しているWindowsへの対応が明記されていない
Windows用アプリケーションを使用したい

[101911-08]

A : アプリケーションの製造元に確認してください。

Windows 8.1への対応が明記されていない、Windows用アプリケーションが使用できるかどうかは、アプリケーションによって異なります。

アプリケーションの製造元に確認してください。アプリケーションの使用についての情報や、使用に必要なアップデートプログラムなどが入手できる場合があります。

Q : Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

[101913-08]

A : Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の手順で調べることができます。

1 インターネットに接続する

2 Internet Explorerを表示し、【Alt】 を押し、「ヘルプ」 → 「Internet Explorer ヘルプ」 をクリック

Microsoft社のサポートページが表示されます。この後は、そのページの説明に従って操作してください。

Q : Internet Explorerが起動しない

[101915-08]

A : セキュリティポリシーを設定していないか、確認してください。

セキュリティポリシーを設定すると、Internet Explorerが起動しない場合があります。このような場合は、Internet Explorerの拡張保護モードを無効にする必要があります。下記の手順で、Internet Explorerの拡張保護モードを無効にしてください。

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネット オプション」をクリック

3 「詳細設定」タブを開き、「拡張保護モードを有効にする」のチェックを外す

Q&A：再セットアップ

[102000-28]

- 「再セットアップをすることはできません。」と表示される..... 450

Q : 「再セットアップをすることはできません。」 と表示される

[102001-08]

A : 本機の機種情報が書き換わっている可能性があります。

ご購入元、またはNECにお問い合わせください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

[102100-28]

- 日付や時刻が正しく表示されない. 452
- クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった. 453
- 本機が動かなくなった（フリーズした）. 454
- マニュアルをなくしてしまった. 455

Q：日付や時刻が正しく表示されない

[102101-28]

A：日付や時刻を設定しなおしてください。

日付や時刻がずれた場合は、次の手順に従って日付と時刻を設定しなおしてください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[ユーザー アカウント制御](#)」について (P. 10)」

1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

2 「時計、言語、および地域」をクリックし、「日付と時刻」をクリック

3 「日付と時刻の変更」をクリック

4 日付と時刻を設定する

5 「OK」ボタンをクリック

6 「OK」ボタンをクリック

以上で日付と時刻の設定は完了です。

A：内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていない可能性があります。

本機の内蔵時計はカレンダー用電池で動いています。内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。

本機購入後すぐや、本機を電源に接続せずに2カ月以上使用しないでいた後などには、本機にACアダプタを取り付け、約40時間以上、ACコンセントに接続したままにして、カレンダー用電池を充電してから、日付と時刻を設定しなおしてください。

Q：クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった

[102102-20]

A：異物が入り込んでしまった場合は、すぐに電源を切ってACアダプタを取り外し、ご購入元にお問い合わせください。



チェック

そのままお使いになると、発煙、発火や故障の原因になります。

Q：本機が動かなくなった（フリーズした）

[102105-28]

A：Windowsの起動中やデータの処理中でないことを確認し、強制的に電源を切ってください。

本機が反応していないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。

何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、そのままお使いください。



参照

強制的に電源を切る方法

「電源」の「電源が切れない」 - 「強制的に電源を切る (P. 318)」

システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、システムの復旧、または再セットアップが必要になります。詳しくは、『再セットアップガイド』をご覧ください。

Q : マニュアルをなくしてしまった

[102108-00]

A : NEC「ビジネスPC」サイトの「電子マニュアルビューア」では、本機のマニュアル
をご覧ください。

仕様一覧（タイプ別仕様詳細）

[130000-00]

▶ 仕様一覧（タイプ別仕様詳細）	457
------------------------	-----

仕様一覧（タイプ別仕様詳細）

[130100-00]

本機の仕様に関する詳細情報は、タイプ別仕様詳細に記載しております。



メモ

タイプ別仕様詳細をご覧になるには、インターネットへの接続環境が必要です。

電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

活用ガイド

タイプVW

初2版 2016年3月

©NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
